

令和六年度使用小学校教科用図書選定会議

総括部会

議事録

第2回総括部会議事録

記録者(橋本)

【令和5年7月3日(月) 小倉北区役所 教育委員会会議室】

出席者…飯田教授、落野PTA協議会監事、松中校長、小田口教頭、東校長、内村教頭、宮崎校長、江藤教頭、針尾校長、泉教頭、奥校長、加藤教頭、南里校長、豊田教頭、新森校長、春野教頭、酒井校長、井上教頭、外山校長、伊東教頭、中尾校長、白井教頭、三原校長、森田教頭、緒方校長、山田教頭、西村校長、島教頭、前田校長、山崎教頭、若松校長、山本校長、諸藤校長、林校長、井上校長、赤瀬校長、古閑校長、善家校長、小西校長、成任教頭、高松学校教育部長、松山学校教育課長、小西特別支援教育課長、木蜜指導主事、小林指導主事、新開指導主事、片山指導主事、伊藤指導主事、岩田指導主事、福山指導主事、平山指導主事、太田指導主事、湯浅指導主事、鋪田指導主事、渡辺指導主事、竹治指導主事、高城指導主事、橋本指導主事、松川指導主事

◆進行 木蜜・小林

- 13:20～ 教育委員会あいさつ(高松学校教育部長)
- 13:25～ 総括部会の進め方の説明(小林)
- 13:30～ 種目ごとに報告書案・発行者別概要説明書案の確認
市民の意見と各学校からの調査報告書(事前配布済)の確認
市民の意見等を加えた報告書案作成
- 14:45～ 休憩・印刷・配布

◆進行 飯田・木蜜

- 15:00～ 報告書案・発行者別概要説明書案の回覧方法等の確認【木蜜】
- 15:05～ 種目ごとにまとめた報告書・発行者別概要説明書案の回覧
- 16:00～ 協議【飯田】

・みなさまに回覧していただいて、修正いただいたものを今、指導主事が直しておりますが、全体で共有して協議するべきものをこれから行っていきたいと思います。ここより進行は飯田教授にお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

・それでは、これより協議に入ります。特定の教科・領域ということではなく、まず、全体的なところで、ご意見、ご質問等出していただければと思います。その際に、文言の訂正とかは指導主事の先生との各教科のやりとりで修正できたらと思いますので、全体を通しての大きなところでのご質問、ご意見等がありましたらよろしくお願いします。

・発行者別概要説明の道德のところはフォントと行間等が他教科と若干違うので、共通すべきではないかと考えます。

・具体的には、どの辺ですか。

・後ろから6枚目、道德の発行者別概要説明書です。各教科等のトップに概要説明書が載っていると思うんですが、道德はフォントが違うのかなと思います。

・道德の先生いかがですか？

・最初の資料はみなさんと同じなんですけど、パソコンの影響かなと思います。

・コンピューターのソフト上の問題であれば、委員会の方でお願いします。

・はい。

- ・その他いかがでしょうか。
- ・もう一つ、パソコンの問題でうまくいっていないところがあるのですが、外国語の47番のところを見ていただきたいのですが、<別紙様式2>とNoのところは、一番上にあると思うのですが、47番は一番下に数字が書いてあるようでした。切れているところとかがあると思いますので、最後整えるときに、修正していただけたらと思います。47番や50番は今の印刷の状態では整っていないように思います。
- ・今、言われたことを修正お願いします。
- ・その他いかがでしょうか。
- ・概要説明書で、各教科斜め読みしかしていないのですけれども、あまりよろしくないのではないかとこの部分の最初に「一方で、一方では」でだいたい始まっている教科が多いですけど、それが全然無い教科とか、改行してプラスとマイナスのマイナス面が記述している場合があるんですけど、その統一性は必要ないと考えてよろしいでしょうか。
- ・ぼくが気づいたところでは、英語の概要説明がそうだったのですが。
- ・統一性がなければ、問題ないと思います。
- ・私の方からお答えします。当時、「一方で」と「しかし」とがありました。「しかし」はきついなということを取りました。「一方で」の方は残しております。そこは、統一性がなくてもいいのかなと指導主事には伝えております。「一方で」でじゃなく否定しているものは、そのままにしております。
- ・分かりました。
- ・その他いかがでしょうか。
- ・一点確認いいですか。私の教科でもそうでしたし、その他の教科でもあったのですが、「資質・能力」のところの表記です。資質・能力でいけば、「知識及び技能」になって、思考力のところは「思考力、表現力、判断力等」になる。これが、資質能力。評価の観点でいえば、「思考・判断・表現」となっていくんですけど、そこが全部そろっているといいなあと思っています。音楽科のところを見せていただくと、「児童の思考・判断・表現のよりどころにすることができると」という言葉があって、これは、評価の観点で書いているのかなというふうに思いましたが、そういうところを最後統一できたらいいなあと思っています。これは、評価としてはいいと思いますが、資質・能力であれば、そういうところの表記を再度確認していきたいなと思ったところです。それも検討したところです。
- ・宮崎先生、ご意見としてですね。
- ・はい。整っているなと思いましたが、最後仕上げのところ、印鑑打つ前に再度確認したいと思いました。
- ・別のことなんですけど、QRコードという表記がたくさんされていますが、QRコードは、商品名だと思うので、二次元コードに統一した方がよろしいのではないかなと思うのですがいかがでしょうか。
- ・おっしゃるとおりで、新聞の記述を見ても二次元コードと書かれていたので、二次元コードで統一したいと思います。ありがとうございます。
- ・他にはありませんか。
- ・概要説明書のところに全教科ではありませんけど、「本市の児童にとってやや難易度が高いと思われる。」とか書かれていますが、地図の方も書きました。地図の方は、全体を通して児童にとってどうなのかということを書いていますけど、教科によっては、例えば、「音楽づく

り」ではとか、ごく一部のところでの表記になっていますけれども、そこは統一しなくていいのかなということ。それとも書くときに、全体を通して本市の児童に合っているかどうかということ表現していくのかどうかということなのです。

・関連して、「本市の児童の実態に対して」というこの説明書を今日見せていただいたときに、指導主事から、説明の中で本市のこどもにとってどうなのかという意図があって、この説明がより伝わるようにと聞いています。ただ、その後につながるのが、難易度がやや高いと思われるとか、国語とかはどうしてもしがちになってしまう。その時に、本当にそういえるのかなと難しいなと思ってしまったのが一点。だったら、難易度を歯ごたえがある方にした方が良いのではないかという考えに繋がっていくことをどう書き表したらいいのかと感じたところです。先ほどご意見にあったことを文言に残すか、それとも口頭説明でいくのかは全教科でそろえておいた方が、説明のときにより伝わりやすいと感じたところです。それから、2点目は、その発行者の教科書を見てというところで捉えていくんですけども、他社と意識の中で比べてしまうのですが、できるだけ、そこは排除するようにしていくことが大事だと思うので、「他社より若干大きい。」とかいう文言が入っている場合には、削除する方がいいと思うのですが、いかがでしょうか？

・まず、本市の児童と学力についてのネガティブな表現になっていることについてはいかがでしょうか。個人的には、「本市の児童」とする必要があるかな。これは、北九州市の先生方が学力について委縮しているのではないかという気がしないわけでもない。北九州市の子どもに限らず、北海道から沖縄までどの子どもにもという客観性の方がいいのではないかと思います。「児童の実態から使いづらい面がある。」でいいのではないか。先生方が審議された中で、北九州市ということは関係なく、様々な地域の子どもたちにとってとした方が、客観性がでませんか？

・おっしゃることはそうだと思いますが、これは、北九州市の教科書の選定なので、ここははっきり本市の子どもたちに合うかどうかということがあってもいいのかなと思います。

・ネガティブなところは、少し検討する必要があるのかなと思うのですが、一方でポジティブなところもたくさんありまして、様々な教科書がある中で、学校の先生方や我々が研究させていただく中で、本市の子どもたちにとってどうかということも十分検討してまいりました。例えば、社会科では、私たちの県、福岡県について学習するんですね。ある教科書は、なんと福岡県をそのまま取り上げているものもありました。もしくは、北九州市のエコタウンのことを書いている教科書もありました。そういうような教科書の分析をする際に、本市の子ども達にとって、地域に対する誇りや愛情を育むということにつながるということが考えられるということは是非入れたいなあと思いましたので、どこの児童というよりも本市の児童ということはある程度ポジティブな特色としては書いてもいいのかなあと考えております。意見です。

・社会科でいうと北九州市の子どもたちに地域への誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚をさせることができるということですね。

・まず選んでいくうえで、前提としては、本市の子どもたちに合った教科書になるということ考えていくことは、みなさん一緒だと思います。そのうえで今のご意見聞いてですね、ネガティブなものについては、このあと教育委員会会議で、説明するときに指導主事の口から「本市の児童にとっては、難易度が高い。」というようなかたちで表現しますが、その中で、文面の中では、「児童によっては、難易度が高い。」とそういう書きぶりに統一していこうかなと思っています。以上です。

- ・他社と比べた表現があるところは、検討していただけるのでしょうか。
- ・生活科ですけど、「QRコードが他社より若干大きく」と教育出版のところに書いているのですが、この「他社より」を除いても文脈は通じるので、のけたいと思います。
- ・もしもその他教科でもそういうところがあったら統一した方がいいのではないかと思います。
- ・先生が言われているのは、全般的に他社との比較のところですね。
- ・もう一度、そういう目で、もちろん作られているとは思いますが、もう一度確認をしていただきたいと思います。
- ・その他全体に渡ってご意見ありませんか。この後、教科ごとの説明書の最終確認は教科ごとにやっていくのですが。
- ・私の方から1点いいですか。ありがとうございます。今日、学校の意見、市民の意見を読みながら入れていただきました。ありがとうございます。その位置なんですけども、それがちょっとバラバラ感がある気がしたので、専門調査部会で上がったものは、最初の上の方に書いていただいて、学校のはその下、市民は一番下というような並びにしていきたいんですけど、よろしいでしょうか。よろしく申し上げます。

- ・それでは、続いて、次は種目ごとに、報告書案、発行者別概要説明書案の最終確認をしていきたいと思います。国語から順番に進んでいきます。まずは、国語はいかがでしょうか。報告書案、発行者別概要説明書案に問題はございませんでしょうか。
- ・国語です。ご指摘いただいた部分につきましては、表記等、全角半角のところ等につきましては、修正をしていきます。
- ・続いて書写
- ・書写は、「本市の実態から」という表記がありますので、「発達段階から考えると」というふうに変えていきます。
- ・続いて、社会科
- ・社会科につきましては、まず、「地域教材が多く盛り込まれており、本市の児童の地域社会に対する誇りと愛情」というところは、プラスのところに入れさせていただこうと思います。「一方で、文字数が非常に多い傾向が見られ、本市の児童の実態から負担が大きいと思われる。」というような記述にしていたので、皆様のご意見等を取り入れて「一方、文字数が多い傾向が見られ、児童によっては負担が大きいと感じる子どもも想定できる。」等に変更していきたいと考えています。
- ・続いて、地図です。
- ・地図は、大きな変更はありません。全角、半角の変更をお願いします。内容につきましては、「見方・考え方を身に着けられる」ではなく、「見方・考え方を働かせる」というふうに修正してくださいとありましたので、そのように修正していきます。
- ・次は、算数です。
- ・今、協議会で出ました観点等については、今一度確認して、修正してまいりたいと思います。
- ・続いて、理科
- ・先ほどから出されています、QRコード、文言等がいくつかありますので、修正していきたいと思います。
- ・続いて、生活科
- ・先ほどご指摘のありました、QRコードを二次元コードに、「他社より」の表現は外して、後

は全角、半角のところの修正をしまいたいと思います。

・続いて、音楽

・先ほどご指摘いただきました、思考・判断・表現のところは混乱いたしますので、通常の点に変えたいと考えております。また、「本市の児童にとって、やや難易度が高い」というところは、「児童によっては」という文言に置き換えていきたいと考えております。「音楽づくり」の一部分についてのご指摘がありましたが、表現の中の「音楽づくり」という内容については、本市は音楽専科が入っていないという実態も踏まえて、その部分の指導が難しいということでもありますので、その一点だけ「難易度が高い」というふうに、そのまま残していきたいと考えております。

・続いて、図画工作

・大きな特徴の方を書いていたけど、今回書き直しをして、まず、それぞれの会社の特長を書いて、その中でも、例えば、開隆堂であったら幼児期のつながりのところ、そして、日本文教出版でありましたら、3、4年の下の教科書がとてもよくできているので、そういうところを書くということで表記の仕方を変えていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。

・続いて、家庭科です

・「本市の児童の実態からすると」という部分については、「児童によっては」という表記の方が、よりふさわしくなる部分がありますので、もう一度確認したいと思います。また、意図していたことは、表記上の工夫をすればもっと伝わるかなという部分も見つかりましたので、改善をしていきたいと思います。

・続いて、保健

・いろいろ見ていただいて、ご指導・ご指摘をいただきました点は、まだこのペーパーには反映できていなかったのので、確認したいと思います。「本市の実態から」という表記の仕方、QRコードにつきましても、他教科と同じように訂正をして、最後に整えていきます。よろしくお願いいたします。

・続いて、英語、外国語です。

・ご指摘いただいた、「本市の実態から」という表記や、QRコードのところの文面は訂正してまいりたいと思います。ありがとうございました。

・続いて、道徳

・先ほど出ておりました「他社に比べ」とかQRコード等、表記の部分を修正します。それ以外は問題ありません。

・これで、全部終わりました。では、これをもちまして、令和6年度需要教科用図書選定委員会の報告書とさせていただきますが、ご異議ございませんか。それでは、報告書に選定委員の皆様それぞれの署名、押印をしていただきます。指導主事の先生方が席を回られますので、よろしくお願いいたします。

・各担当指導主事は、部長、副部長の先生方のところで、画面上で修正の確認をお願いします。そして、松川指導主事の方が署名、捺印をする書類を持って回りますので、確認が終わった教科からご連絡いただいて、署名、捺印をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

17:05 会長まとめ、報告

木蜜 署名・捺印が終わりましたので、北九州市教育委員会に副会長の飯田先生から、高松部長に渡していただきます。

高松 ただいま、報告書を教育委員会事務局にご提出いただきました。今後この報告書を7月6日に行われる次回の教育委員会会議に議案として提出し、教育委員会による審議を経て採択を行うこととなります。皆様のこれまでのご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

17:10 閉会、諸連絡

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（国語）

議事録

【令和5年6月 2日(金) 教育センター202室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター301室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 各自、出版社ごとにまとめる
- 10:00～ 出版社ごとの協議
- 12:00～ 休憩
- 13:00～ 項目ごとの協議

○出版社ごとの協議

- ・協議の観点を確認します。
- ・1つ目は、みなさんが打ち込んだものに、誤字・脱字はないかを見ていきます。
- ・2つ目は、各者のよさや課題はどんなものなのか明らかにしていきます。その中で、共通点はまとめ、相違点については、ご意見いただきたいと思います。
- ・3つめは、曖昧で分かりにくいところは、ご質問いただき、その上でご意見をいただきたいと思っています。

〈東京書籍〉

(1)内容の範囲及び程度についてご意見をお願いします。

- ・ひらがなに入る前に文が多いというのは、1年生ですか。
- ・1年生です。
- ・それでは、「1年入門期導入において」という言葉をつけ足した方が分かりやすいですね。
- ・全体的に難易度が高く、分量が多くて重たいというのが、東京書籍の課題であるように感じました。
- ・内容が多いというご意見は、分量のところにも書かれてあるので、そちらに入れましょう。

(2)内容に関する配慮事項についてご意見をお願いします。

- ・QRコードがあって、音声付きで分かりやすいと感じました。
- ・早い段階で学習用語が使用されているとありますが、具体的な説明をお願いします。
- ・「場面」という言葉が、1年生から出てきています。低学年の段階から意識して、学習用語を使わせるようになっていきます。
- ・これについて、いいか悪いかは、使う人の感覚によるような気がします。早すぎるという人もいるかもしれません。
- ・ちょっと先取りしすぎているような印象を受けます。
- ・4年生で「山場」という言葉が出てきています。これは、高学年の教材で取り扱う感じがします。ただ、学習用語をきちんと徹底して入れていこうという意図は感じられます。

・学習用語を徹底して入れているという視点はよいと思います。しかし、出す時期については、発達段階や内容に応じて考える必要があると思います。この両面に入れるというのはいかがでしょうか。

・では、よきとして、学習指導要領に応じて学習用語をきちんと載せている。課題として、早い段階で学習用語が出てきているため、発達段階にそぐわない場合がある。ということで、よろしいですか。

・全員(合意)

(3)分量についてのご意見をお願いします。

・分量については、低学年しかないのですが、他の学年はいかがでしょう。

・文の量が多い気がします。

・全体的に、情報量が多い感じがしますね。

(4)指導上の便宜についてご意見をお願いします。

・単元の導入が見開きになっていて、挿絵があって学習の流れも書いてあります。インパクトがあって分かりやすくなっていると思います。

・導入のところは、東京書籍のよきであると思います。挿絵が大きく、児童の興味を高めると思います。

・同じような意見があるので、まとめましょう。

・導入が見開きになっているのは、見やすくよきでもあるけれど、流れが固定されてしまう懸念もあります。若年の先生方には、単元の流れもあり分かりやすくなっていますが、工夫がしにくくなっていると感じます。

・最初に流れがでてきているので、この通りにいかなければならないと捉えてしまうかもしれません。子どもに力を使わせて考えさせたいときには、やりにくさを感じるころがあります。

・この流れがあると、子どもも若年教師も安心して読めるとは思います。

・「言葉の力」も明示されていて、ねらいも捉えやすくなっています。

・若年教師が増えていることを考えればよきではあるけれど、授業づくりをしていく上で、「このようにすればいい」というふうの流れが固定されてしまうかもしれませんね。

・では、見通しをもって学習に臨むことができ、若年次教師等には使いやすい。逆に授業づくりを行っていく上では、学習の流れが固定される懸念があるということでもよろしいでしょうか。

・全員(合意)

(5)印刷・製本等についてご意見をお願いします。

・全体的に緑色っぽくて落ち着いていて、目に優しい感じがします。

・他にご意見はないでしょうか。

・はい。

2 教科ごとの選定の観点についてご意見をお願いします。

・国語ノートの作り方について、意見が分かれているようなのですが、5年生は罫線のノートが載っています。私は、方眼ノートを使っていますし、そのような学校もあると思います。罫線を使っていない学校は、指導しにくいと思います。他学年はどうなっているのでしょうか。

・4年生も罫線が載っています。

・1年生は下巻にあり、2年生にはないようです。

・3年生は、マスになっています。

・5、6年生は、これを使わなければならない感じがしますね。

・全体的に形が決められていて、幅が狭められている作りになっている気がします。

・意見をどのようにまとめましょうか。

- ・ノートにめあてを書いて、考えを書くというように示してあるのはよいと思います。これを基に学級でよりよいノートを作ろうとしていくのがいいと思います。基本的なノート指導には、役立てることができると感じます。
- ・それでは、指導上の便宜のところにある「学習の流れが固定される懸念がある」にかっこで、(学習指導、ノート指導)と入れて整理し、「指導内容が示されているのはよい」というのを残すというのはどうでしょうか。
- ・よいです。
- ・活用できるよさはあるけれど、その反面、固定されるという課題もあるということが見えてきたということですね。
- ・他にありませんか。
- ・ありません。

〈教育出版〉

(1)内容の範囲及び程度についてご意見をお願いします。

- ・レベルが高いという言葉より、難易度が高いという言葉の方がよいと思います。
- ・では、全体的に難易度が高いという言葉に変えてよいでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・発達の段階に対して、内容が難しいというのはどういうことでしょうか。もう少し具体的に教えてほしいです。
- ・1年生に載っている「お手紙」や「スイミー」は、今、2年生で教えています。実際に自分のクラスで考えたときに、登場人物などの関係や心情を捉えたりすることは、1年生の段階では、難しいのではないかと感じます。
- ・ここでいう内容というのは、指導内容ではなく、お話の中身ということですね。
- ・はい。
- ・低学年は難しいということでしたが、高学年は、内容が易しい気がします。
- ・歯ごたえがない感じですかね。
- ・教材が分かりやすいと捉えることもできますが、実態によるかもしれませんね。
- ・取り組みやすいということですかね。
- ・説明文でも、筆者の主張を捉えるというよりも説明されていることに対してどう思うかという感

じなので、あまり深く捉えなくてもよくなっています。取り組みやすいとは思いますが。

- ・役立つ資料がたくさん載っています。7つもあり、形態もすべて違うから、みんなで資料を集め

なくても、教科書で十分、自分の興味に沿った資料が得られると思いました。

- ・とっつきやすくなっていると感じます。
- ・低学年のつくりと高学年とでは、ずいぶん違う気がします。
- ・全体的に難易度のバランスが悪いということかもしれません。
- ・系統で見たときに、難易度に偏りがあるということですか。
- ・そうですね。
- ・ただ、今までの慣れというものもあるかもしれませんので、発達の段階に対して、全体的に難易度が高いと感じられるということ。また、内容については、難しい学年とそうでない学年と偏りがあるということでもよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

- ・資料に関しては、種類も豊富で使いやすくなっています。
- ・それでは、使用上の便宜のところ、資料が豊富、使いやすいを入れてはどうでしょうか。
- ・全員(合意)

(2)内容に関する配慮事項についてのご意見をお願いします。

- ・社会科など、他教科との関連を考えたつくりになっていると感じました。
- ・3年生で虫を扱った教材などがあり、関連を図れるようになっていきます。
- ・説明文で、1つ目が練習、2つ目がその力を生かして読むという流れになっていました。
- ・漢字学習ノートのところで示されていることが、分かりやすいと思います。
- ・では、これは、先ほど同様に活用できるということで、よきとして、まとめてもよろしいですか。
- ・全員(合意)

(3)分量についてご意見をお願いします。

- ・分量について、適当とやや多いという2つのご意見がありますが、どうでしょうか。
- ・1年生の下がやや多く感じます。
- ・基本的には適当であるが、多い学年があるということでよろしいですか。
- ・学年によって、ばらつきがあるということでよいと思います。

(4)指導上の便宜についてご意見をお願いします。

- ・先ほどの、資料が豊富で使いやすいというご意見は、ここに入ります。
- ・QRコードの読み込みが難しいと感じました。
- ・種類や項目は分かりやすいけれど、読み込みに時間がかかりました。
- ・これを入れるということでもいいですか。
- ・全員(合意)
- ・「読むこと」については、読みのポイントが分かりやすくなっています。
- ・「ここが大事」という言葉で示されていて、子どもたちにも若年の先生方にも分かりやすいと思います。
- ・びっくりマークがアイコンみたいに出てきて、子どもたちに分かりやすくなっています。
- ・読みのポイントが分かりやすいで、まとめてよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・でも、読み手順や内容が指定され、子どもの選択できるところが少なくなっているとも感じました。(1)(2)のように数字がついているので、読みの順番までこの通りにしなければいけない気がしました。子どもに選択権が残されていないような気がします。
- ・「～しよう」ではなく、「～する」という感じで言い切っているので、同じような印象を受けました。
- ・先ほども拳がっていたので、項目ごとに見ていくときに検討するということがよろしいですか。
- ・全員(合意)

(5)印刷・製本等についてご意見をお願いします。

- ・ページがめくりやすいとありますが、どうですか。
- ・つるつるでないから、確かにめくりやすいと思います。
- ・紙がうすく感じました。
- ・上下巻になっていることについては、どうでしょうか。
- ・ご意見が分かれるところだと思えますが。
- ・高学年は、見通しをもつために、合本の方がよいと思います。
- ・持ち帰りについて考えると重くなるという問題がありますよね。
- ・中学校も現行の教科書は1冊になっているようです。
- ・高学年は、やはり見通しがもてる方がよいと思います。

- ・賛否両論分かれるところではあるが、最初に見通せるのがいいと思います。
- ・これは、使用上の便宜の方ではないでしょうか。
- ・では、5・6年では見通しをもたせるため、合本の方がよいというのを使用上の便宜に入れてよろしいですか。
- ・全員(合意)

2 教科ごとの選定の観点についてご意見ををお願いします。

- ・4年生に電子メールの書き方が出ています。これは、今までにはなかったので斬新だと思いました。
- ・普通の手紙と電子メールを目的や意図に応じて活用できるようになっているのはいいですね。
- ・文学的文章の内容がよく、面白い話がたくさんできています。
- ・よさに入れますか。
- ・全員(合意)
- ・「読むこと」の単元は、「見通しをもとう」があり、同じ学習過程になっていて分かりやすいと思います。「言葉」「言葉をふやそう」があるのも語彙力を育てるのにいいと思います。
- ・「書くこと」は独自の過程になっています。
- ・「書くこと」と「話すこと・聞くこと」は統一されていますが、「読むこと」だけは独立しています。その点ではばらつきがあると感じました。
- ・しっかり読ませたいという意図は感じますね。
- ・見通しをもたせたいけれど、ページがまたがるので見にくく感じます。
- ・高・中学年は、見開き、低学年は、見開きとまたがっているところがありました。
- ・単元の見通しが示されているところはよいが、単元の見通しがまたがっているところがあるとまとめてよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

〈光村図書出版〉

(1) 内容の範囲及び程度についてご意見ををお願いします。

- ・児童の発達段階に合う内容になっています。
- ・ご意見の付け加え等はございませんでしょうか。
- ・書かれている内容を見ると、子どもが飛びつきたくするような教材や子どもの身近なものを多く取り入れているということが書かれてありますので、そこが光村図書出版の特徴であるということでもよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

(2) 内容に関する配慮事項についてご意見ををお願いします。

- ・振り返りが、知識と思考力と主体的な学びの3観点に分かれていて、これは、光村だけだったので、特徴であると言えます。
- ・振り返りで、児童がどんな力がついたか学びの自覚にもつながります。また、若年教師にとっても振り返りの視点にもなり、分かりやすくなっていると思います。
- ・1年生の初めから、車椅子の子が挿絵に出てきています。特別支援の配慮が感じられます。
- ・ユニバーサルデザインやSDGsについても考えられていて、他者も考えられていますが、一番充実していると感じました。
- ・1年生の初めの挿絵で、紙飛行機に乗って想像しながら話すところがありました。子どもたちが、いろんな方向を見ていて、自由に学んでいける感じが出ていました。今の世の中が示されていて、個別最適な学びを意識している感じがしました。

・現行とかわったところとしては、「書くこと」の小単元がよくなっていて、最初に「楽しく書こう」が入っていて、半ばぐらいに、「推敲しよう」などテーマに沿った内容が取り上げられていて、テーマに沿った力がつく内容になっています。

・高学年となっていますが、今の視点から、他の学年はいかがでしょうか。

・どの学年もありますね。

・今までもあったかもしれませんが、小単元が取り組みやすくなっています。

・「推敲」の小単元があるのがいいですね。焦点化されていてやりやすくなっています。子どもたちに力を付けることができそうですね。

・授業で推敲だけを取り上げるのは難しかったけれど、小単元で、推敲ポイントを話し合っていくように作られていてやりやすいですね。

・日常の具体的な場面から言葉に対する問いをもって考える場が設定されているのがいいと思います。

・状況に応じた言葉の使い方を考える工夫がされているので、子どもたちの主体性が発揮しやすくなっていると思います。

・これらのご意見を入れるということではよろしいですか。

・全員(合意)

(3)分量についてご意見をお願いします。

・全体の分量については、適切であるということではよろしいですか。

・全員(合意)

(4)指導上の便宜についてご意見をお願いします。

・学び方については、どの教科書会社でも工夫されています。光村図書のよさとして挙げるとしたら、どんな点が挙げられるのか、具体的にご意見を言っていたきたいです。

・「国語のまなびを見渡そう」で、どの学年も同じ学び方が示されているのはよいと思います。

・単元ごとに「見通しをもとう」があり、全領域で共通の学び方が示されているのもよい点だと思います。

・「問いをもとう」が低学年から出てきており、問いをもつことを大事にしていることが分かります。

・子どもの問いを大事にしているところが使いやすいと感じました。

・光村図書のよいところとしては、共通の学び方が示されていること「問い」を大事にしているところが使いやすく、考えやすいということではよろしいでしょうか。

・そうですね。

・学びの方向性を示すところと実態に応じて選択できるようになっています。そのバランスが一番よいと思いました。

・学び方が示されているけれど、子どもの学びが固定されているわけでもない。実態に応じて活用しやすい流れになっています。若年の先生の授業づくりの手助けにもなるのではないのでしょうか。

・ぱっと見て、子どもも見通しがもてるし、若年の先生にも分かりやすいと思います。

・では、指導上の便宜のところ、この内容を入れるということではよろしいですか。

・全員(合意)

(5)印刷・製本等についてご意見をお願いします。

・「国語の学びを見渡そう」では、ページのサイズを縮小して、見やすく工夫されている点がよいと思いました。サイズも違うので、探さなくてすみます。

- ・他のページと区別してあるので、見付けやすいですし、いつでも見ることができます。
- ・では、このご意見を入れるということでもよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

2 教科ごとの選定の観点についてご意見ををお願いします。

- ・【書くこと】【話すこと・聞くこと】の教材の選定と学習課題に児童が興味・関心をもって、学習を継続し、楽しく書く力を育てられるような内容が多いというところで、高学年とありますが、他学年はどうでしょうか。
- ・中学年も低学年も同じような感じでした。
- ・では、高学年という文言をとってもよろしいですか。
- ・はい。
- ・6年で翻訳作品が出てくるとありますが、翻訳作品はこれまでもありましたよね。翻訳作品だから他の外国の作品に読むことにつながるということですか。
- ・「本を読もう」につなげていくときに、翻訳作品と言う言葉が明示されていました。これは、他者にはなかったところでした。日本に限らず、新しい考え方や価値観に出合うような作品が取り入れられているということで、子どもたちの読書の幅が広がるし、そのきっかけになるのではないかと感じました。
- ・意図的にいろいろな作品が取り入れられていると感じます。
- ・6年生の最後だからこそ、新しい価値観に出合うような作品に触れることは大切ですよ。
- ・では、このご意見を入れるということでもよろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

○項目ごとの協議

- ・では、次は選定の観点に沿って、3者を見ていきます。
- ・例えば、東京書籍に挙がっているよさが、本当に東京書籍だけのよさなのか等も含めて検討していただきたいと思います。

(1) 内容の範囲及び程度についてご意見ををお願いします。

- ・東京書籍のひらがなに入る前の単元では、最初からたくさんの方が出てくる感じがします。
- ・他者はどうでしょうか。
- ・他者は絵が中心ですが、東京書籍は、文も長いので、難しいと感じました。
- ・では、文章が長く、難しいと感じる児童がいることが想定されるということでもよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・全体的にレベルが高いは、難易度が高いに変更した方がよいと思います。
- ・6年生の単元にSNSの投稿が取り上げられているのですが、今の時代にも、発達段階にもあっているの、入れた方がよいと思います。
- ・教育出版はいかがでしょう。短歌と俳句が同時に学習するようになっているのが、教えにくく感じました。
- ・同時に教えると、じっくり取り組めないの、それぞれの魅力が伝わりにくい気がします。
- ・それぞれの魅力が理解しにくくなる可能性があるにしましょう。
- ・光村図書出版はいかがでしょう。
- ・6年の鳥獣戯画について書きましたが、分かりづらいので消してください。
- ・6年の「おすすめのパンフレットを作ろう」の方が、音楽という子どもたちが興味や関心を持ちそうな題材が取り上げられているので、そちらの方がよいと思います。

(2)内容に関する配慮事項についてご意見をお願いします。

- ・本当にその出版社だけの特徴なのか見ていただければと思います。
- ・東京書籍の1年の「さとうとしお」と2年の「あなのやくわり」は、事例が身近でないものが多く、発達段階に即していないでまとめたらいいのではないのでしょうか。
- ・3年の「日本十進分類法」のところもまとめられます。
- ・かっこで括って入れましょう。
- ・QR コードはどこもあるのですが、ローマ字のタイピング練習ができるようになっていたり、デジタルノートの作り方なども取り上げられたりしているのは特徴だと思います。
- ・ICT を活用した学習内容が取り上げられていますよね。
- ・入れてよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・教育出版はいかがでしょうか。
- ・4年生の事例がごみ処理になっているので、他教科との関連を意識している感じが強く出ていると思います。
- ・他者にはなかったですね。
- ・5年生が2つ出ているので、どっちかに絞ってはいかがでしょうか。
- ・「漢字の成り立ち」は、初めからいきなり始まる感じがします。
- ・分かりやすい象形文字から入っている会社もありました。
- ・イラストも難しい感じがします。
- ・こちらを入れるということでもよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・漢字のノートについてはいかがでしょうか。
- ・5年生にしかないのですが、3年生ぐらいであってもいい気がします。
- ・もっと早い段階で入れてほしいです。
- ・では、これは入れないということでもよろしいのでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・1年生の声の大きさ・姿勢については、他者もあるので消しましょう。
- ・「情報」が巻末の付録にまとめてあるんですが、そこにしか出てこないで、使いにくく感じます。
- ・その単元のところないと確認しづらい気がします。
- ・挙げておきましょう。
- ・光村教育図書はいかかでしょうか。
- ・説明的な文章は、学年ごとにステップアップしています。
- ・系統を強く意識して設定されている感じがします。
- ・SDGs については、光村よりも教育出版の方が意図的に取り入れられている感じがしました。
- ・他社も工夫しているので、消すということでもよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・3観点でのふりかえりは、光村図書だけの特徴なので残しましょう。
- ・「発展的な」という内容は、他社との大きな違いはないので消しましょう。
- ・文学的な文章のところは、工夫はあるけれど、そこまで顕著ではないので消しましょう。
- ・6年生の最後の単元は、他社は卒業に向けて気持ちが盛り上がるように工夫されていますが、光村図書は、堅い感じで終わっている気がします。
- ・他社は取り組みやすい卒業文集、ビデオメッセージなどが挙がっており、他教科との関連は弱

い気がします。

- ・先生たちの裁量に任されていますよね。卒業文集を作らない学校は、文集を取り上げられているとやりにくいかもしれませんね。
- ・中学校生活をより意識しているのは光村図書のような気がします。
- ・卒業に向けて流れは、作りにくいかもしれませんね。
- ・これは内容に関する配慮事項ではなく、教科ごとの選定の観点のほうではないでしょうか。
- ・そちらに入れてもよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・2年生の「そだんにのってください」は、実際にやってみて、子ども同士の相談は難しいと感じました。家庭環境にもよるので、気も遣います。
- ・やり方によっては、配慮が必要であるということを入れましょう。
- ・先ほど情報についてのご意見がありましたが、それぞれの出版社ではいかがでしょうか。
- ・光村図書は、生活にどうつながかが重視されています。
- ・東京書籍は、単元を読むためのツールとして取り上げられています。
- ・情報のとびらとしてもありました。
- ・教育出版は、最後にまとめられているので、使いにくい気がします。
- ・付録の中にあるので分かりにくし、使いづらいです。意識として残りにくい気がします。
- ・東京書籍は、学んだことを活用して、単元の学習を進める感じになっています。前後の単元につながる情報の取り扱いになっています。
- ・光村図書は、単元で学んだことを生活の中に生かしていくようになっています。
- ・では、それぞれの特徴を各者に挙げるということでもよろしいですか。
- ・全員(合意)
- ・光村図書は、山場・視点・要点・推敲など言葉のキーワードが目次に挙げられています。
- ・前の学年までに学んだ言葉などがまとめられています。
- ・目次に挙がっているのは、他にはないです。言葉のキーワードが挙がっているのは光村だけです。目次にSDGsが挙がっているのが、教育出版でした。
- ・言葉の使い方を考える工夫がされているということでもまとめましょう。

(3)分量についてご意見をお願いします。

- ・分量が多く感じるのは、東京書籍でした。
- ・情報量も多く感じました。
- ・教育出版は、低学年が少しは多く感じましたが、全体の分量は適当であると思います。
- ・光村図書は、授業時数から見ても適当である気がします。
- ・では、それぞれのご意見を入れましょう。
- ・全員(合意)

(4)指導上の便宜についてご意見をお願いします。

- ・東京書籍のページ数の表記が大きいのは、観点からいくと弱い気がするので消しましょう。
- ・教育出版は、資料が豊富に用意されており、挿絵、写真も多く使いやすかったです。
- ・教育出版は、QRコードが読み込みにくい感じがしました。これは、タブレットのせいなのかデータが大きいのかかわからないのですが、開くのに時間がかかりました。
- ・光村図書も東京書籍も動画が充実していて分かりやすいです。
- ・QRコードの上に「写真」とか「動画」とかが書かれてあるのがいいです。

- ・各者の特徴として挙げましょう。
- ・字間や行間、文字の小ささなどについては、(5)に移動させましょう。
- ・感染症対策については、取り上げなくてもよいと思います。
- ・全員(合意)

(5)印刷・製本等についてご意見をお願いします。

- ・東京書籍の再生紙は、あえて取り上げなくてもよいです。
- ・文字の太さの中程度も挙げなくてよいと思います。
- ・「漢字を使おう」の文字が小さく、余白がたくさんあって印象に残りにくい感じがしました。
- ・学習がしづらく感じる場合があるというふうにしたらどうでしょうか。
- ・よいと思います。
- ・ダッシュがなく、・・・になっていましたが、あえて取り上げなくてもよいと思います。
- ・教育出版は、写真がたくさんあって分かりやすいです。
- ・迫力のある写真や挿絵がたくさんあるので、子どもたちの興味を引くと思います。
- ・ページもめくりやすいです。
- ・紙質もいい気がします。
- ・特徴として挙げましょう。
- ・光村図書は、紙全体の色が黄色で見やすいですね。
- ・目に優しい気がしますね。
- ・特徴として挙げておきましょう。

2 教科ごとの選定の観点についてご意見をお願いします。

- ・東京書籍は、学習過程が明確で統一されているのがよいと思います。
- ・付箋の使い方について、デジタルノートを意識しているのか全て横書きになっていました。横向きに置いて横書きしているので、違和感をおぼえます。
- ・言語活動例も横書きのものが多く、高学年のポスターも横書きになっています。
- ・付箋の使い方の例も横書きに偏っています。
- ・特徴として挙げておきましょう。
- ・低・中・高学年とそれぞれの特徴が挙がっているのでいいのではないのでしょうか。
- ・そうですね。
- ・教育出版は、いかがでしょうか。
- ・QRコンテンツについては、使用上の便宜にあるので消しましょう。
- ・「読むこと」の2年生で、説明的な文章が3つと文学的な文章が6つで、数が違いました。バランスがある気がしました。
- ・他者はどうでしょうか。
- ・4つと5つになっていました。確かにバランスが悪い感じがしますね。
- ・挙げておきましょう。
- ・コロナ関係は、あえて取り上げなくてもいいと思います。
- ・1年生の「したこととむすびつけてよもう」において、表情はコミュニケーションの一つとして大事にされている。ノンバーバルコミュニケーションの題材が意識されているのは特徴でしょう。
- ・単元の見通しが示されているのがよいは、同じようなところがあるので、まとめましょう。
- ・1年生の図書館については、他者にもあったので消しましょう。
- ・高学年の「書くこと」について、同じような内容が書かれてあります。「話すこと・聞くこと」も同

じょうな内容が挙がっているので、児童の興味や関心に即した教材の選定や学習課題の設定がなされているということでまとめてはどうでしょうか。

- ・全員(合意)
- ・光村図書はいかかでしょうか。
- ・2年生の「ロボット」のことが上にも取り上げられていたので、現代社会に対応した内容になっているということで、こちらにまとめましょう。
- ・振り返りにについても(2)で取り上げたので消しましょう。
- ・「国語の学びを見渡そう」も(4)にあるので消しましょう。
- ・「本は友達」についても各者工夫されているので、消しましょう。
- ・「問い」については(2)で取り上げたので、語彙力を育てるための「言葉に着目しよう」の方を上げてはどうでしょうか。
- ・全員(合意)
- ・学習過程が統一されていることや学び方を学ぶことができること、「見通しをもとう」については、(2)で挙がっているのでまとめましょう。
- ・思考方法・思考ツールのところは、特徴なので挙げましょう。
- ・他にありませんか。
- ・ありません。

- ・それぞれの項目について見ていきましたが、全体的を見ていただいて、ご意見はありませんか。
- ・ないようですので、最終的に誤字脱字等、最終的に見直しをしていただき、よければ印刷しますが、よろしいでしょうか。
- ・全員(合意)

16:00～ 休憩

16:10～ 印刷・確認

16:45～ 鑑文に押印・片付け

17:00 終了

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（書写）

議事録

専門調査研究部会(小学校 書写)議事録

記録者(片山)

【令和5年6月 2日(金) 教育センター304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター301室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 選定基準の読み合わせ(片山)
- 9:15～ 協議に向けての準備 司会(内村) 記録(片山)
 - 協議の進め方の確認
 - ① 選定の観点ごとに各教科の特徴を確認する
 - ② 出てきた特徴を教科書ごとに整理する
 - 各自の研究内容の確認・ワードへの入力

10:30～ 協議〈観点別〉 司会(内村) 記録(片山)

<(1)内容の範囲及び程度>

・内容の範囲及び程度の確認をします。具体的にどこを見ていくかを確認すると、…(再度観点の確認)…。以上の観点に沿って意見を言っていたきたいと思います。まずは、東京書籍について発言をお願いします。

・私は、目次に学年の身に着方が載っていて分かりやすいと思うのですが、どうですか。

・学年で身に着きたい力の内容が、色分けされて配列されており、確かにわかりやすいです。

・他社の目次はどうなっていますか。

・教育出版では、目次の下に他教科との関わりが書いてあるのがわかりやすいです。

・光村はどうですか。

・とてもすっきりしています。最後に系統性を書いているところが教師にとってはわかりやすいと思います。

・光村は書写体操についても目次のページで触られています。

・教育出版は3・4年生が見開きになっているのは使いづらいです。

・これは、印刷・製本の観点に記しましょう。

・目次にかかわる点についてはよろしいでしょうか。

全員 (合意)

・水書の扱い方についてはどうでしょうか

・光村はシートがあって、書きやすく、光村は親切だと思います。準備するもの枠があるのも良いと思います。

・教育出版も、なぞり書きができる用意なっていて使いやすいように思います。

全員 (合意)

・東京書籍の「おかしなプログラム」の内容についてはどうでしょうか。

・工夫はしてありますが、学年に応じていないような感じがします。

・「おかしな」という言葉にも配慮が必要だと感じました。私は、「おかしい」とは感じないので。
全員（合意）

- ・小筆の指導についてはどうですか。（6年生の教科書を比べながら）
- ・東京書籍についてですが、ここ（6年 海の命の文章一文）までする必要があるのかという疑問があります。レベルが高く、時間もかかると思うのですが。
- ・小筆でこの分量は多いですね。
- ・確かに。
- ・光村は、俳句ですね。
- ・教育出版も俳句です。
- ・6年生の発達段階を考えると、俳句ぐらいの字数が適切であると思いますが、みなさんどうですか。

全員（合意）

- ・その他、東京書籍についてはよろしいでしょうか。

全員（合意）

- ・次は、教育出版の内容の範囲を見ていきましょう。
- ・言葉自体は各学年の内容になっていますが、興味関心を高めるうえでは有効ではないでしょうか。

全員（合意）

- ・光村図書の内容の範囲を確認しましょう。
- ・鉛筆の持ち方については、内容についての配慮事項に記入しましょう。
- ・光村は、平仮名と漢字とのバランスが良いと感じました。
- ・東京書籍は、5文字の毛筆が多く、内容が難しく感じます。
- ・教育出版は、送り仮名で平仮名を書くものがあります。
- ・内容の範囲で、4年生になった最初が、部分の組み立てですが、光村だけ一文字で他は二文字になっています。系統性を考えると、二字でもよいかもしれませんが、組み立てがねらいなら、一文字のほうが分かりやすいと感じます。指導する先生の立場からしても、4年の初めなので、ねらいが焦点化してある方が指導しやすいのではないのでしょうか。
- ・内容の範囲に関して、3者を通して、これでよろしいでしょうか。

全員（合意）

<(2)内容に関する配慮事項>

- ・配慮事項について確認します。具体的にどこを見ていくかを確認すると、…（再度観点の確認）…。以上の観点に沿って意見を言っていたきたいと思います。
- ・東京書籍から見いきましょう。
- ・2年生の15ページなんですけど、連絡帳とのつながりについてはどうですか。。
- ・北九州市で活用している形式と異なるので、実態に合わないですね。
- ・教科の漢字を2年生で習っているので、それを意識したのでしょうか…
- ・連絡帳にはここまでの内容を北九州市では書かないですね。
- ・「ぼくたちと違う。」と子どもが言いそうですね。
- ・ただ、ほかの都市ではこのようなものを使っているところもあるのでしょうか。

全員（合意）

- ・6年生の点画のつながりについては、詳しく書かれすぎていて、分かりづらくなっているように感じます。

- ・特性のある児童への配慮が足りないような感じもします。
- ・その他はよろしいでしょうか。

全員（合意）

- ・教育出版を見てみましょう。
- ・めあてがはっきりしているということについて、どうですか。
- ・はい。確かに。
- ・めあてと振り返りがしっかりしています。見通しをもって1時間の学習を進められそうです。
- ・ただ、1年生は、めあてがかっちりしすぎていて、児童の思考が広がらないような感じがしました。
- ・確かに、教育出版のめあてはかっちり決まっている感じがして、それはよさでもあるけれど、逆に言うと短所と言えなくもないですね。
- ・全学年を通して考えると、目当てが焦点化されているのはいいことなのだと思います。
- ・東京書籍は子どもが導入時に考えられるような工夫がありました。
- ・教育出版は、学習の焦点化という点ではよさになりますね。
- ・光村も、ねらいが明記されてありますよ。学習の焦点化という点では、よいのではないのでしょうか。

全員（合意）

- ・6年生は、発展として、行書を紹介しています。
- ・光村にもありましたよ。
- ・東京書籍は、行書という言葉はとくには出てきません。
- ・光村と教育出版には、中学とのつながりが見えますね。

全員（合意）

- ・3年生の小筆の指導についてはどうですか。
- ・光村は、線やイラストを描いたりしていて、ていねいに指導するページがあります。
- ・残りの2者は、特段、取り上げて指導するようにはなっていないですね。

全員（合意）

- ・では光村に行きましょう。
- ・横書きの書き方を比べてみませんか。
- ・教育出版は、升目や数字の書き順などを意識しています。ただ、細かいような感じがします。東京出版は、書く内容が多い気がします。光村は生活につながるような内容になっています。
- ・「書写を広げたい」など、国語や他教科、生活とのつながりがよくわかります。
- ・教育出版にも「レッツトライ」がありますが、これは、教科の選定の観点になりますね。
- ・東京書籍も、「生活に広げよう」で、国語や他教科につながる内容が意識されていますよね。
- ・振り返りの観点は全学年でありますか。
- ・他者を見てみると、他者もあります。写真の途中経過というのもありましたが、光村1年生の16ページになりますが。他者にも振り返りはあるので、特に光村だけのよさというわけではないですね。

<(3)分量>

- ・分量を見ていきましょう。観点を確認すると…。
- ・東京書籍はどうですか。
- ・1年生に関して言えば、東京書籍は、書く文字数が多いです。また、書き込みの欄が少ないです。
- ・光村と教育出版は「くつ」の2文字ですが、東洋書籍は「くつか」と3文字です。
- ・「か」は字形を整えるうえでも難しいですよ。1年生にとっては大変です。

・その他はよいでしょうか。

全員（合意）

・教育出版はどうですか。

・どの学年でも情報量が多いですね。紙面いっぱい広がっています。

・はい。

・分量が多いので、ポイントもわかりづらいですね。

・欲張りな感じですね。

・見た感じでわっときます。説明を多くしているのが意図なのでしょうが、良さにつながっていないような気がします。

・比べてみると、光村や東京書籍はすっきりしていますよね。

・教育出版の分量は、私立の学校にはいいかもしれませんが、北九州の子どもには教育出版の教科書は、45分の授業で終わらせるのは、難しい気がしますね。書くことに追われてしまいそうです。

全員（合意）

・光村はどうですか。

・よく言えば、すっきりしていますが、悪く言うとすかすかです。低学年はちょうどよいと思うのですが、中学年、高学年ではどうですか。

・45分で書くことを考えると、高学年は手本の画数も増えますし、練習する時間の確保が必要なので、余裕があったほうがよいです。

・中学年も分量的に適切だと思います。

・先ほどもありましたが、ねらいがはっきりしているので情報が精選され、すっきりしているのだと思います。大切なことが一目で分かる紙面構成でとても良いと思います。

・補足説明は、QRコードで説明してあるところも確かにいいですね。

・全体を通して、分量についてはよろしいでしょうか。

全員（合意）

<(4)使用上の便宜>

・使用上の便宜を見ていきましょう。観点は・・・

・東京書籍から見ていきましょう。

・硬筆の手本が、上下になっているので、左利きの児童への配慮がわかります。

・たしかに。

・左利きという点でいうと、他者はどうですか。

・東京書籍も、1年生の鉛筆の持ち方が右利きと同様に写真が掲載されているのでわかりやすいです。

・光村も教育出版も書写の道具のおき方が写真で掲載されていますね。

・3者ともQRコードも対応するなど、左利きの児童への配慮が見られますね。

全員（合意）

・「書写のかぎ」についてはどうですか。

・単元の学習のページの右下に必ず載っています。巻末にもまとめられています。

・目次のところと色が統一されており、これは東京書籍のうりですね。

・高学年の導入が、分かりやすいです。番号が示してあるので、見通しを持って学習に取り組みそうですね。

・筆を使った説明も赤と黒で示されており、穂先の動きもわかりやすいです。

・ただ、巻末の漢字は使いづらいように思いますが、どうでしょうか。

・はい。たしかに。

全員（合意）

・低学年なんですけど、挿絵が分かりにくいと感じたのですが、みなさんはどうですか。

・挿絵もあまりありませんよね。

・例えば、低学年の動物の動きと文字の動きが伝わらない部分があると思います。

・意図はわかるんですが、なんとなくわかりにくいものが混在しています。

・高学年では、気になるものはないですよ。

全員（合意）

・教育出版を見ましょう。

・手本が左にあったり、右にあったりして使いづらいです。

・紙面構成に統一感がありません。ごちゃごちゃしていたり、見開きじゃなかったり。

・ページを行き来しないと、確かに、使いづらいですよ。

・5, 6年の点画の種類のパターンは、穂先の動きの表記が他者と比べると小さいです。

・縦書きと横書きが混じっているページもありました。

・やはり、情報量が多くなっているために、逆に、使いづらさが感じられるといったところでしょうか。

全員（合意）

・光村を見ていきましょう。

・レイアウトがすっきりとしていて使いやすいです。

・はい。

・QRコードが何の情報かが明記してあり、使いやすいと思います。

・QRコードの意見がいくつかあるので、まとめましょう。

・ちなみに、他者のQRコードと違いはありますか。

・光村だけが、「動画」「写真」「アニメーション」など何の情報かが明記してありますね。教育出版は、マークがついています。東京書籍は開くまでどんな情報化が分かりませんね。

・イラスト、図についてはどうですか。

・大きく、すっきりしていて、確かにわかりやすいです。

・分量のところにも、すっきりしていると書いてありましたね。

・いろいろな学年で、ちょっとした挿絵などにもSDGsを意識するような書きぶりが多いですよ。

・教科書の裏にも、SDGsの視点が明記されていますよね。

・どの者もSDGsについては触れていますが、一番力を入れているのは光村ですね。

全員（合意）

<(5)印刷、製本等>

・印刷製本について確認します。…（確認）。

・東京書籍から見てください。

・フォントはよさそうですね。

・使用色はどうですか。

・たしかに、すっきりした色合いですね。派手でもないです。

・硬筆の文字についてはどうですか。

・鉛筆感を出している感じがしますが。

・教育出版も同じような感じですよ。

- ・確かに色は薄くて、優しいか色合いですよね。
- ・教育出版を見ましょう。
- ・硬筆の字はどうでしょうか。
- ・他社と比べて、とくに気になる点はありません。
- ・3社、そんなに違いはありません。
- ・画数や部首を色分けしている点についてのご意見についてはどうですか。
- ・どの教科書でも配慮されています。
- ・その他、書かれてある意見は納得できます。

全員（合意）

- ・では、光村に行きましょう。
- ・使用色が少なくすっきりしている点についてはどうですか。
- ・オレンジと青が基本になっていますね。
- ・書写ブックの取り外しができるところはよいと思いますが。
- ・書写以外でも活用できるので、使いやすいと思います。

全員（合意）

<教科ごとの選定の観点>

- ・最後に、教科ごとの選定の観点について見ていきましょう。観点は…。
- ・東京書籍についてはどうですか。
- ・「生活に広げよう」の意見についてはどうですか。
- ・いいです。先ほども出ていましたが、教育出版は「レッツトライ」で、光村は「書写広げたい」で、同じように国語や他教科、生活とのつながりを意識した内容を取り扱っています。
- ・私は、教育出版の6年「リーフレット例」がとても魅力的だと感じました。
- ・確かに、教育出版は、見開き1ページで分かりやすいです。
- ・見開きの形なので、リーフレットの形式にもなっています。
- ・教育出版は、手順や構成例も書かれていて、活用しやすそうです。
- ・教育出版は「書いて伝え合おう」の手書きのよさを取り扱っているところもよいですよ。

全員（合意）

- ・1年生の入門期についての意見はどうですか。
- ・ほかの教科書でも同じようになっています。
- ・東京書籍だけがイラストなので、やわらい感じがして1年生には良いと思います。
- ・振り返りの硬筆については、どうですか。
- ・低学年では補助線等が入っていますが、中学年からは入っていません。
- ・内容が難しいように思います。
- ・他社と比べると、確かに書き込み欄は多いですね。
- ・教育出版の「生かそう」の硬筆の書き込み欄についてはどうですか。
- ・書き込み欄がある学年もあります。
- ・4年生以上はあまりないです。6年はないです。高学年になると、少なくなっているみたいですね。
- ・3年生は過渡期だから、書き込み欄があるのかもしれないね。
- ・光村図書は、補助線がある枠の中でなぞり書きをするようになっています。お手本の字だけでなく、ねらいにそった別の文字を練習することができるように工夫されています。
- ・毛筆の学びが硬筆の学びにつながるようになっているということですね。

全員（合意）

- ・6年の学習の「湖」の組み立てについてはどうですか。どの者も取り扱っている字ですよ。
- ・組み立てが確かにわかりやすいです。
- ・同じ内容では、光村の方がちがいがはっきりとわかりやすかったです。

全員（合意）

- ・「1年生の名前を書こう」が唐突だというご意見がありますが。
- ・光村は、初めと最後に比べられるように工夫してあります。保護者の思いも書いてもらえるようになっています。
- ・東京書籍も同じように成長が比べやすいようになっています。
- ・同じような紙面構成ですが、光村は紙面の真ん中なので少し比べにくいです。
- ・「生活に広げよう」の観点で考えると、やはり、この箇所は唐突だと思います。
- ・5年生の筆記具の特徴についてはどうですか。
- ・東京書籍は、黒のペンがありますが。
- ・教育出版は、いろいろな筆記具があっていいですね。
- ・つぎの活動につながるようになっていいるところも良いですね。
- ・光村も同じよう筆記具の特徴があります。
- ・どの者にも共通しているので、削除しても良いですか。
- ・3年生の毛筆入門期の指導についての意見はどうですか。
- ・教育出版は61ページにあります。教育出版は順序良く書かれてあります。
- ・東京書籍は、3年生にとっては情報が多くて、字も小さいです。4年生と同じような内容という点が気になりました。やはり最初なのでもう少し丁寧な指導をしたいと思うのですが…
- ・光村図書は「毛筆スタートブック」で、初めての毛筆の学習が写真を大きく使っていていいにまとめられていました。

全員（合意）

14:45～15:15 観点別協議内容整理

15:15

～16:15 教科書ごとの内容確認

- ・それでは、協議内容を発行者別にまとめたものを確認していきたいと思います。訂正があれば発言してください。
- ・東京書籍について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「書写の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

- ・では、東京書籍についてはこれで確定します。

全員（合意）

・教育出版について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「書写の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、教育出版についてはこれで確定します。

全員（合意）

・光村図書出版について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「書写の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、光村図書出版についてはこれで確定します。

全員（合意）

・以上で記載内容の確認を終わります。

16:15～16:45 印刷・最終確認

16:45～17:00 各自の調査研究用紙、メモ、採択基準及び選定資料回収
教科用図書見本回収・片付け

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会(社会)

議事録

専門調査研究部会(小学校 社会)議事録

記録者(伊藤)

【令和5年6月2日(金) 教育センター205室】

- 14:40～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認、各自資料とり等)
- 14:55～ 選定基準の読み合わせ
- 15:10～ 各自調査研究
- 16:45～ 所連絡、片付け

【令和5年6月19日(月) 教育センター301室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認)
- 9:10～ 調査研究、調査内容入力
- 12:00～ 休憩
- 13:00～ 協議 司会(江藤)、記録(伊藤)

- ・東京書籍について、調査研究結果です。
- ・(1)内容の範囲及び程度についてです。
- ・教科の目標達成に結び付く適切な内容になっています。
- ・内容の程度は学年の児童の発達段階に適応しています。
- ・学習指導要領に示す教科及び学年の内容に示す事項を不足なく取り上げられています。
- ・(2)内容に関する配慮事項についてです。
- ・前学年の「生活科で学んだこと」「3年生で学んだこと」や、「教科関連マーク」など、系統性を意識した編集となっています。
- ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」などの問題解決的な学び方を意識した掲載になっています。
- ・ドラえものの「見方・考え方」の表記について、児童がどのような視点をもてばよいか参考になります。
- ・2単元が終わってから「学習の進め方」の記載があり、1単元目で気づきにくいです。
- ・「ポスター」「図や表」「パンフレット」「4コマCM」「紙芝居」など、思考力・表現力を高めることを意識した言語活動が記載されています。
- ・5年生106ページのプレゼンテーションソフトを使ってまとめるところは、ICTの活用とも関連付けられています。
- ・各単元で「ひろげる」が設定されていて、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されています。児童の負担が過重とならないよう選択できるようになっています。
- ・(3)分量についてです。
- ・全体の分量は、授業時数から見て適切です。
- ・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されています。

・5年生と6年生が分冊になっています。6年生は2冊を交互に使うため、本市の児童にとっては、やや使いづらい心配があります。

・(4)使用上の便宜についてです。

・デジタルコンテンツとして二次元コードがついており、動画やワークシートを活用できます。

・発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されています。

・(5)印刷・製本についてです。

・文字の大きさ、字体、行間が適切です。

・イラストのタッチが他のイラストと違う部分があります。

・具体的にどのページですか。

・たとえば、3年119ページや4年94ページです。

・なるほど、分かりました。

・3年17ページや37ページでは、余白が多いです。

・4年114ページでは、土地の地図の配色が同系色で子どもによっては読みづらいと思われます。

・社会科として選定の観点についてです。

・社会的な見方・考え方を働かせるために、キャラクターの吹き出しを使い、課題を追究できる内容になっています。

・各学年ともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べる学習では、デジタルコンテンツが充実しており、詳しい資料を見ることができます。

・「まなびのポイント」として、話し合うこと調べることのポイントが明示しており、学習の見通しをもち、主体的・対話的で深い学びにつなげる工夫がされています。

・世界の国々との関りや政治の働きへの関心を高めるような内容になっています。第6学年 P24の政治のしくみについての内容が充実しています。

・第6学年「震災復興の願いを実現する政治」では、自然災害時における地方公共団体の働きについての説明や資料が充実しています。地域の人々の工夫・努力等について考えられる内容になっています。

・第5学年の「情報を生かす産業」では、コンビニエンスストアを取り上げ、身近で分かりやすいですものになっています。

・各学年において地図や地球儀、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の主な大陸と海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっています。地図帳の使い方や都道府県の位置と名称を身につけることができますように、工夫されています。具体的には、4年生8～11ページを見てください。

・たしかに、位置と名称が身に付きやすそうです。

・第5学年12ページの領土の問題の部分の説明は分かりやすいですが、地図や資料の読み取りが難しく、やや分かりにくいです。

・第3学年のはたらく人とわたしたちのくらしの事例地は福岡市、市のうつりかわりの事例地は兵庫県明石市、第4学年の県の特徴を捉える事例地は、宮城県を取り上げているため、本市の児童にとって、地域社会に対する誇りと愛情を養うことがやや難しいと思われます。

- ・少子高齢化等による地域社会の変化や情報化に伴う生活や産業の変化については、第6学年で「少子高齢化」の問題についての記載がやや不十分です。
 - ・「まとめる」のところは、ポイントがやや分かりにくいです。
 - ・具体的には何ページですか。
 - ・たとえば 39 ページの「まとめる」です。
 - ・たしかに、余白が多く学びのポイントが少ないです。
 - ・他にはよろしいですか。
- 全員(合意)

- ・教育出版について、調査研究した結果です。
- ・(1)内容の範囲及び程度についてです。
- ・教科の目標達成に結び付く適切な内容になっています。
- ・内容の程度は学年の児童の発達段階に適応しています。
- ・学習指導要領に示す教科及び学年の内容に示す事項を不足なく取り上げられています。

- ・(2)内容に関する配慮事項についてです。
- ・「リーフレット」「デジタル紙芝居」「ガイドマップ」など、思考力・表現力の育成を目指した多様な言語活動が充実しています。
- ・「つかむ・調べる・まとめる」という学習の流れの中で、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されるとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されています。
- ・性や国籍の違い、障害の有無に関わらず、多様な子どもが互いに学び合う様子が示されています。
- ・具体的にどの部分ですか。
- ・まず、全体的なことですが、現行の教科書からキャラクターが2人増えています。車いすに乗った子どもと外国籍の子どもです。
- ・そして、具体的なページとしては 6 年生に現行ではなかったページが増えています。232ページを見てください。歴史の学習の最後に、今回新設されているページです。7 行目に「性別の違いや性的少数者をめぐる差別をなくしていかなければならない」と、現代的な課題の一つとして取り上げられています。
- ・なるほど。歴史の学習の最後に現代的課題を提起し、互いに尊重し合っていくことの大切さについて考えさせることは価値あることです。
- ・他の出版者は、この部分に性的少数者についての記述はありますか。
- ・確認しましたがありません。
- ・次の説明です。「もっと知りたい」は読みもの資料として興味のある児童が進んで取り組むことのできる構成になっていて、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されています。
- ・各学年の4、5ページに前の学年とのつながりや他の教科とのつながりが紹介されています。
- ・カリキュラムマネジメントを行う情報としては、やや具体性に欠けます。

- ・(3)分量についてです。
 - ・全体の分量は、授業時数から見て適切です。
 - ・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されています。
 - ・各領域の内容に偏りがなく調和がとれています。
- ・(4)使用上の便宜についてです。
 - ・資料、イラスト、写真、図など、学習を進める上で関連をもたせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されています。
 - ・問いに合わせて、写真、図、資料等が選択したり、関連付けたりできるよう配置されていて、学習の深まりに有効にはたらく内容になっています。
- ・(5)印刷・製本についてです。
 - ・印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切です。
- ・社会科として選定の観点についてです。
 - ・各学年の5ページで社会科の見方・考え方を紹介している。また、それぞれの単元では、キャラクターがふきだして社会的な見方・考え方を働かせる例を示し、子どもたちが社会的な見方・考え方を働かせながら課題を追求できる内容になっています。
 - ・各学年に二次元コードが掲載されており、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることができる内容になっています。
 - ・各学年とも、社会的事象に関わる多様な人の工夫や努力が「〇〇の話」として多く紹介されており、先人に学びながらよりよい社会を考え、主体的に問題解決をしようとする態度を養う内容になっています。
 - ・4年生「わたしたちの県のまちづくり」の事例地では、福岡県内の特色ある地域として東峰村と太宰府市、岡垣町を取り上げています。5年生「自動車の生産にはげむ人々」の事例地では、福岡県苅田町の工場を取り上げています。これらは福岡県の子どもたちにとって、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うことができる内容になっています。
 - ・第5学年「国土の自然とともに生きる」では、多くの写真資料と web サイトにアクセスできる二次元コードが掲載されており、子ども自身が課題に沿って主体的に資料を選択しながら、自然災害時における地方公共団体の働きが分かる内容になっています。
 - ・第5学年「くらしと産業を変える情報通信技術」では、販売の仕事だけではなく、選択できる内容として、観光、運輸、医療が用意されており、情報化に伴う生活や産業の変化が、多様な視点から分かる内容になっています。
 - ・各学年において地図や地球儀、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の主な大陸と海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっています。
 - ・「学びの手びき」や「社会科ガイド」があり、学び方が学べる内容になっています。ただ、「社会科ガイド」は4～6年生にはありません。
 - ・以上です。
 - ・他にはよろしいですか。

全員(合意)

- ・日本文教出版について、調査研究した結果です。
- ・(1)内容の範囲及び程度についてです。
 - ・教科の目標達成に結び付く適切な内容になっています。
 - ・内容の程度は学年の児童の発達段階に適応しています。
 - ・学習指導要領に示す教科及び学年の内容に示す事項を不足なく取り上げられています。
- ・(2)内容に関する配慮事項についてです。
 - ・他教科との連携が図られた内容や「〇年生に向かって」が全学年に掲載されており、各教科及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されています。
 - ・具体的にどのページですか。
 - ・たとえば、3年生では16、17ページです。
 - ・交流場面の設定の例が単元末に掲載されており、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語活動の充実が配慮されています。
 - ・4年はじめの47都道府県の書き込みできるようになっています。体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されています。
 - ・児童が学習内容を確実に身に付けることができますように、個に応じた指導への配慮がされています。
 - ・まとめ方の事例が豊富です。
 - ・たとえばどのようなまとめ方がありますか。
 - ・ノートにまとめるだけでなく、デジタル新聞などもあります。
 - ・なるほど。個に応じた指導につながりそうです。
 - ・発展的な学習内容を取り上げる場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されています。
 - ・資料が複数あり、児童によっては活用しづらいことも想定されます。また、学習内容の趣旨を逸脱することも想定されます。
 - ・体験活動などは、安全面についての記述がやや少ないです。
- ・(3)分量についてです。
 - ・全体の分量は、授業時数から見て適切です。
 - ・学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されています。
 - ・各領域の内容に偏りがなく調和がとれています。
 - ・他者と比較し、文章量が多いです。
 - ・たしかに、3年生でこの量は発達段階的に難しいです。
 - ・抵抗感がある子どももいることが考えられます。
- ・(4)使用上の便宜についてです。

・学習を進める上で、ユニバーサルデザインに対応した色調や色を組み合わせた資料、イラスト、写真、図など、学習を進める上で関連をもたせて用意され、学習の深まりに有効に働くよう配置されています。

・発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されています。

・視覚的資料の一つとして、動画などの二次元コードが学習の深まりに有効に働くように配置されています。

・全学年に SDGs のシールを活用する場面が設定されています。現代的な諸課題を自分事として捉える工夫がされています。

・(5)印刷・製本についてです。

・印刷は鮮明であり、製本の様式、材料などが適切です。

・3年生の文字数が多く、本市の児童の実態から負担が大きいと思われる。

・社会科として選定の観点についてです。

・「見方・考え方」のポイントが3つの視点(時間・空間・関係)に分けて随所に掲載されており、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求できる内容になっています。

・プラスチックごみによる被害など現代社会の課題が取り上げられており、自分たちの社会生活について関心をもって調べようとする内容になっています。

・掲載資料が最新のものを多く取り上げているなど、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会へのかかわり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりできる内容になっています。

・公助・共助・自助の考え方に着目して災害時の取組について考えるなど、災害を自分事として考えることができますような話し合いの進め方が紹介されています。社会へのかかわり方を選択・判断したり、考えたことや選択・判断したことを適切に表現したりできる内容になっています。

・政治を自分事として考えるワーク(人権問題、消費税の引き上げ、選挙の投票率の低下について考えるワーク)があり、政治の働きへの関心を高めるような内容になっています。

・自然災害時における地方公共団体の働きや地域の人々の工夫・努力等が分かる内容になっています。

・各学年において地図や地球儀、統計などの各種の資料を適切に活用し、我が国の47都道府県の名称と位置、世界の主な大陸と海洋の名称と位置を身に付けることができる内容になっています。

・様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめることができる内容になっていない箇所があります。

・たとえばどのページですか。

・3年生128、129ページです。

・たしかに、資料が比較対象になっておらず、やや難しそうです。

・第3学年・第4学年において、福岡県の事例地が取り上げられていません。本市の児童にとって、使用の便宜上やや使いづらいです。

・以上です。

・他にはよろしいですか。

全員(合意)

(誤字脱字等、修正箇所をそれぞれ確認し、修正。)

・3者について再度確認等します。訂正があれば発言してください。

・東京書籍について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「3 分量」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「社会の観点」はこれでよいですか。

全員 (合意)

・では、東京書籍についてはこれで確定します。

全員 (合意)

・教育出版について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「3 分量」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「社会の観点」はこれでよいですか。

全員 (合意)

・では、教育出版についてはこれで確定します。

全員 (合意)

・日本文教出版について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「社会の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、日本文教出版についてはこれで確定します。

全員（合意）

・以上で記載内容の確認を終わります。

16:20～ 最終確認、各自記名・押印

16:50～ 諸連絡、片付け

・本日欠席の1名については、後日、押印していただきます。

17:00 終了

6月20日(火)

16:50 欠席者所属学校校長室(高見小学校校長室)にて押印

6月23日(金)

14:00 部長所属校(上津役小学校)校長室にて厳封(割印)

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究部会(地図)

議 事 録

【令和5年6月 2日(金) 教育センター304室】

- 14:20～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:30～ 選定基準の読み合わせ
- 14:40～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月 19日(月) 教育センター301室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 各自調査研究
- 11:00～ 協議(各教科等の共通の選定の観点ごとに協議)
- 12:00～ 休憩
- 13:00～ 協議(教科ごとの選定の観点)

☆協議内容の概要

【東京書籍】

〈内容の範囲及び程度〉

- ・教科書採択の観点であるア・イ・ウの3つの観点を確認しながら確認していきましょう。
- ・内容の妥当性について
- ・日本交通網の記載は、別のところだと思えます。⇒移しすしましょう。
- ・自発的な発言を促すようにの文言は、⇒一番下の教科の特性に移したほうがいいですね。
- ・系統的発展的指導内容と書いているので、配慮事項に移しましょう。
- ・ホップ・ステップ・ジャンプに関して、同じような項目があるので、2つ目の○に統合する。
- ・探検隊に関して違和感を感じるとはどのようなところですか。
⇒探検隊である必要性もないし、イラストの髪型も気になります。発言の内容の言葉遣いなど
服装や言葉遣いにも違和感を感じます。今の時代に即していないとおみます。

〈内容に関する配慮事項〉

- ・課題のことを見たら文字がおおきい、小さいなどの意見がたくさん上がっています。
→とまとめにしたらいいと思います。地図帳の特性として仕方ない部分もあると思うので、整理

してまとめてみましょう。

- ・帝国に比べたら文字も小さいし、見にくいと、指導もしにくさにつながりますね。
- ・ホップ・ステップ・ジャンプの記載のところに、「校区地図を作ってみよう」と投げかけがあるので
すが、このよう質問に対する答えは個々に対して違いますよね。内容に関する配慮事項の力に
該当するため、●で記載しました
- ・先生方も県の地図を見たときに、見にくいと感じた地図記号がある一方で、このような記載の
仕
方の良さもありますよね。先生方がどちらに重きを置くかで、報告書へのまとめ方が変わって
く
ると思います。

→P13 に子どもの興味関心がある内容を取り上げられていますが、内容のウの自主的・自発的

につながるが、アとの関連も観るといらないのではないのでしょうか。

- ・特別支援学級の生徒の情報が多いと、つかみにくいのではないのでしょうか。
- ・QR コードについては使用上の便宜にまとめましょう。
- ・キャラクターのところも複数出ているが…
- ・首都東京のところでは、その地区を象徴しているキャラクターの記載があるので、見やすいですね。イラストを見るだけでイメージをしやすいですね。
- ・農業生産額などの統計資料の一覧は、適宜まとめて記載されており分かりやすく記載されいませぬ。

〈分量〉

・情報量のところは共通する箇所が多いので内容をまとめましょう。帝国書院に比べてページ数が

少ない分、情報量が多いですね。

〈使用上の便宜〉

・QR コードについて、皆さんの記載をまとめましょう。帝国書院のほうが、圧倒的に情報量が豊富ですね。

- ・デジタルコンテンツは充実していないけれど、役立つリンクはハザードマップ重ねて見れたり、農林水産省の子どもページに飛べたりなど、関連リンクは充実していますね。
- ・光沢などに関する色合いは、印刷製本のところに入れましょう。
- ・川・山・湖まとめられておりいいですね。
- ・索引のところはどういったところが分かりにくい、P13の文字数が多すぎて、小学生には適さない

ですね。

〈印刷・製本等〉

・落ち着いた色合い目に優しいが、明暗がはっきりしていないため、わかりにくい印象ですね。

→コントラストが弱く見えずらいですね。

- ・写真資料は多いですね。料理、厳島神社など写真資料が豊富だと思います。
- ・全体的に字はどうでしょう。
→どちらかというと小さめですね。小さい字が多い(中部地方) 瀬戸内海など。
帝国書院に比べたらやはり字が多いと小さいですね。
- ・写真資料 料理、厳島神社など写真資料が豊富
- ・児童が地図帳に書き込みを行った際に、発色が鮮明か、心配がありますね。

〈教科ごとの選定の観点〉

- ・北方領土や竹島をまとめて記載されていますね。
- ・八幡製鉄所などの用語表記について 地域・地帯では歴史のことにも触れてられています。
- ・歴史的視点をまとめるうえでも良いと思います。
- ・竹島の記述に関して位置や周辺国に関連して記載されていますが、北方領土の記載がないなど、領土学習に関しては帝国書院と比べて見劣りますね。

- ・キャラクターごとに役割をされており、系統性がありますね。
- ・近年のデータが使用されておらず反映されておらず、資料の説明が少ないですね。
- ・巻末の世界地図は他社と比較的局部のひずみが大いと思います。
- ・太宰府市の記載がないですね。「私たちの福岡県」で大宰府について扱うので、記載がないのはデメリットです。
- ・アメリカ合衆国の州の一覧が東京書籍にはありませんね。
- ・帝国書院の環境に関する記載のほうが、情報量も多いし帝国書院に比べていいですね。

【帝国書院】

〈内容の範囲及び程度〉

- ・3年生の内容は充実していますね。初めて地図帳を扱う3年生にとっては扱いやすいと思います。
- ・先生スパロウのキャラクターは、小3～小6にかけて系統性がありますね。
- ・方位や地図記号、索引の使い方の説明が丁寧で、情報量を減らした広く見渡した地図を掲載するなど、ページが充実していますね。
- ・東京書籍に比べて、防災への記述内容も豊富だと思います。
→防災について空間軸・時間軸についての記載があり、町探検の地図づくりのページも豊富ですね。
- ・地図マスターのページでは、子どもの興味・関心を引き立て、自発的に学習することを促すことに配慮していますね。
- ・宝探しに挑戦など、3年生の内容と合致していて良いと思います。

〈内容に関する配慮事項〉

- ・他教科との関連では、音楽の舞台や英語のクイズ、SDGsの視点の資料があり他教科との関連が図りやすいですね。
- ・QRコードは使用上の便宜に記載しましょう。

〈分量〉

- ・分量は東京書籍に比べて、適切だと思います。

〈使用上の便宜〉

- ・QR内容が充実しており、地形・土地の使い方や交通の様子など、分野ごとにまとめられており、指導する際に活用しやすいですね。
- ・各学年で活用しやすい内容になっていますね。
- ・色合いは製本のところに記載しましょう。

〈印刷・製本等〉

- ・重要な語句が太字になっており、内容がとらえやすいですね。
- ・全体的に発色が鮮やかで見やすいですね。
- ・他者と見比べるとうすいですね。

〈教科ごとの選定〉

- ・歴史に関する記載も多いため、歴史学習でも役立つものとなっていますね。

・歴史、音楽の世界日本とつながりの深い、スポーツなどの関連が記載されており、多面的に見る

ことができますね。

・気温降水量が最新のものになっていますね。

・東京書籍はそれぞれのページに一つずつ資料があったため、分かりにくいですね。帝国書院はまとめており、分かりやすいです。

・「球儀を使おう」のページが東京書籍比べて見やすくなっている。

・ポイントとポイントを結ぶ線、無るんだものを線で考えていく考えていく

・点で見て、線をつなぎ、面広げていく、地図の見方を育成するのに適した構成になっていますね。

・等高線に関して、分かりやすい記載で、活用しやすいですね。

16:00～ Teams で共有しながら内容を確認

16:20～ 印刷・確認

16:40～ 鑑文に押印片付け

17:00～ 終了

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（算数）

議事録

専門調査研究部会(小学校 算数)議事録

記録者(福山)

【令和5年6月 2日(金) 教育センター207室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター202室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 調査研究・討議
 - ・ 各自報告書への入力
 - ・ 各社の「教科共通の選定の観点」と「教科ごとの選定の観点」をまとめる
 - ・ 各社、記録した内容を読み上げ、全員で確認する。
 - ・ 加筆・修正

<東京書籍>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

- ・ 適当である。
- 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はどうですか。

- ・ 単元末の「たしかめよう」では知識・技能、「算数の目」で「見方・考え方」(思考・判断・表現)に関する問題が出されている。
- ・ 計算問題に色が付いているところがある。
- ・ 単元導入材が設定されている。
- ・ 子どものふきだしの語尾が「・・・」になっていて、思考を促すつくりになっている。東京書籍、啓林館、日本文教はある。学校図書は吹き出しはあるが・・・はない。教育出版は言い切っている。モノははっきり言うタイプ。日本文教はない？各社多少なりともある。東京書籍は多い。
- 全員(合意)

1(3):分量についてどうですか。

- ・ 全体の分量は、授業時数から見て適切である。
- ・ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が授業時数に照らし適切である。
- ・ 基礎・基本問題及び発展的な問題が十分に設定してある。
- 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうですか。

- ・ QRコードが読み取りにくい。どこに書くかが問題。使用上の便宜でいい。
- ・ 章末問題・・・削除
- ・ 付録の充実について、高学年は？

→東京書籍が充実している。

→ 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうですか。

・D マークのところにQRコードあったらいいのに。どうですか？

→いいと思います。

・ユニバーサルデザインのこと入れていいですか。

→いいです。

・中綴じになって、ブロックが滑らないようになっており、よい。

→使用上の便宜にいれましょう。

→ 全員(合意)

<大日本図書>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

・適当である。

→ 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はどうですか。

・鍵マーク…見通し、見方・考え方、ポイントなどがある。

・「算数たまたま箱・読み取ろう 等」…実情に応じて、弾力的に実施することができる。

・授業以外などの学習としての巻末の「プラスワン」が設定されているが、解答が二次元コードを読み取って確認しないと見ることができないという手間があります。

→ 全員(合意)

1(3):分量についてどうですか。

・適当である。

→ 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうですか。

・二次元コードが小さく、読み取りにくいですが、ただ、学習のサポートは、欠席児童が家庭で授業内容を理解できるようになっています。

・各章のはじめに前学年の復習ページがあるため、内容に入りやすいです。

・その他は適当である。

→ 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうですか。

・適当である。

→ 全員(合意)

<学校図書>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

- ・考え方モンスターで数学的な見方・考え方が示されているため、言語活動の充実につなげやすいと思われます。
 - ・話し合う・比べる・説明するなどの場面があるため、言語活動の充実につながります。
 - ・各学年の各単元の導入では、単元導入材を提起するページが設定されており、そこから単元に入るように設定されている教材になっています。
 - ・単元の導入では、イラストや写真を掲載して児童の興味関心を高められているが、色や種類が多かったり、視覚的に刺激が強かったりして視点がぼやけることになりそうですね。
 - ・その他は適当である。
- 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はありますか。

- ・「話し合う・比べる・説明する～」の文言を削除しましょう。
 - ・「単元導入材」に書き換えてはありますか。
 - ・適当である。
- 全員(合意)

1(3):分量についてどうですか。

- ・適当である。
- 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はありますか。

- ・各章のはじめに前学年の復習ページがあるため、内容に入りやすいですね。
 - ・学校で使用されている GIGA 端末のカメラでは、本書に載っている二次元コードを読み取ることが難しいため、すぐに活用しづらいと思われます。
 - ・その他は、適当である。
- 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうですか。

- ・適当である。
- 全員(合意)

<教育出版>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

- ・適当である。
- 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はありますか。

- ・話合いの視点が明確になるような「はてな」や「だったら」などの吹き出しや、考えを説明・比較する場面が設定されているため、言語活動の充実につながります。
 - ・その他は、適当である。
- 全員(合意)

1(3):分量についてどうですか。

- ・適当である。

→ 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうか。

- ・各章のはじめに前学年の復習ページがあるため、内容に入りやすい。
- ・1、2年生で記載されているモデルとなるノートのマスの数がページごとに違うため、指導の際に困ることが予想されます。
- ・学校で使用されている GIGA 端末のカメラでは、本書に載っている二次元コードを読み取ることが難しいため、すぐに活用することができないですね。
- ・その他は、適当である。

→ 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうか。

- ・適当である。

→ 全員(合意)

<啓林館>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうか。

- ・適当である。

→ 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はどうか。

- ・話合いの視点が明確になるような吹き出しや考えを説明したり比較し合ったりする場面が設定されているため、言語活動の充実につながります。
- ・単元末の復習問題では、学習内容と類似した問題→振り返り(見方・考え方)→発展問題(見方・考え方)の流れに統一して場面が設定されています。
- ・その他は、適当である。

→ 全員(合意)

1(3):分量についてどうか。

- ・適当である。

→ 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうか。

- ・適当である。

→ 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうか。

- ・1年生の導入が別冊(中綴じ)になっており、書き込みやブロック操作がしやすいです。
- ・GIGA 端末の活用ができるように二次元コードと掲載されている内容が書かれており、自発的に活用しやすいです。二次元コードが大きく読み取りやすいですね。
- ・その他は、適当である。

→ 全員(合意)

<日本文教出版>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

・適当である。

→ 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はどうですか。

・適当である。

→ 全員(合意)

1(3):分量についてどうですか。

・1年生の教科書は、文字数が多いです。

・内容量や文字数が多いです。

・その他は、適当である。

→ 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうですか。

・学校で使用されている GIGA 端末のカメラでは、本書に載っている二次元コードを読み取ることが難しいため、すぐに活用することができません。

・目次や右ページの上段に、領域ごとに色を変えた表記がされ、関連が図りやすいです。

・その他は、適当である。

→ 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうですか。

・適当である。

→ 全員(合意)

2 教科ごとの選定の観点について

<東京書籍>

東京書籍についてはどうですか。

・QRコードが多い。

・「学習のしあげ」、「算数の目」・・・量が多く負担を感じる。いかがですか？

→よしあしがある。

・吹き出しのことは、ここでは外す。上で書いたので。

・教科書の内容が1単位時間ごとに区切られていないため、児童や教師が見にくく、使いにくいことが考えられる。

→全員(同意)

・GIGAスクール構想の推進に向けて、デジタルコンテンツ「D」は動画やシミュレーション、他教科との連携ができる教材が豊富であり、学習内容を理解したり、深めたりすることにつながりますね。

・単元末にある「学習のしあげ」では、数学的な見方・考え方の価値づけを行う「つなげていこう算数の目」を掲載することで自己の成長を実感させるようになっているが見開きになっており量が多く負担に感じそうですね。

・1年生は、挿絵にブロックを置くスペースがあり、思考の通りに操作がしやすい。

→ブロック操作がしやすそうですね。

・二次元コードから児童が GIGA 端末上で操作する場面が多いです。低学年に時間がかかる操作(色を塗る・線でつなぐなど)が短時間でできますね。

・教科書の内容が1単位時間ごとに区切られていない所があるため、見づらく、使いにくい点も見られます。
など

<大日本図書>

2 大日本図書についてはどうですか。

・児童が疑問や問題を見出し、主体的に学習に取り組むことができるように、単元導入のアプローチページで、問題場面をアニメーションで見られるような工夫をしています。

・単元末の「たしかめ問題」では、授業の進度や児童の習熟度に応じて柔軟な扱いができるように「しっかりチェック」など単元の中で学んだことを1ページの中で振り返ることができるようになっています。

→全員(同意)

・2年(上)で、3人の子どもが「消しゴム3個分」で長さを測ることで、児童の思考のずれを生み、普遍単位を導入する必要感が生まれる内容となっています。

→たしかによい導入です。

・4年「7. がい数」では、がい数に表す方法の示し方が、どのように処理していいのかやや分かりづらいです。

・1年生「かずしらべ」では、花の色に視点が集まり、曜日ごとに整理することがやや難しそうです。

・プログラミングが、内容的に難しかったりプログラミングを活用しなくて解決できたりするものがあり、必要感がなさそうですね。

→全員(同意)

など

<学校図書>

2 学校図書についてはどうですか。

・問題解決する上で、いろいろな「見方・考え方」を働かせていることを意識できるように、「考え方モンスター」として表している。児童が意欲的に算数を学んでいくことも期待できますね。

・算数で学んだことが社会へと広がっていく力となることを実感できるように、SDGsのマークが示されたページを掲載している。算数と社会の関りを深めたいようなページ構成になっている点がよいですね。

・GIGAスクール構想の推進に向けて、すべての学年に「プログラミングのプ」のページを掲載し、GIGA 端末などで実際に動かすことができるサイトに接続することでプログラミング的思考が身に付くように工夫しています。

→全員(同意)

・学習の終わりに「？」マークが配置されているため、次時へのつながりをもちやすいですね。

・第3学年「時こくと時間」では、時間や時刻を求める際に筆算で求めるようになっており、児童によっては必要感をもった授業展開になりにくいことが予想されます。

→全員(合意)

など

<教育出版>

2 教育出版はどうですか。

・主体的な学びに向けて、問題解決力を育てていくために、学年始めの単元1～3に、問題発見力、問題解決力、問題追究力に焦点を当てた授業モデルが掲載されています。毎時間の中でも、「はてな・なるほど・だったら」というように問いの連続を意識した構成となっている点がよいです。

・協働的な学びを実現するために、「伝え合い、学びあう学級」を目指すことを意識しています。新学期の始めに、授業開きの特設ページを掲載し、児童の知的好奇心を高め、学習の進め方を共有できるように工夫しています。

→全員(同意)

・4年生「垂直・平行と四角形」では、写真と地図を見比べさせることで、道路(線)の交わり方へと意図的に着目させることができています。

・5年生「単位量あたりの大きさ」では、1枚目と2枚目の挿絵につながりがなく、特に1枚目の挿絵では、単位量あたりの大きさに目を付けることがやや難しいですね。

・6年「対称な図形」では、線対称や点対称の性質を調べる学習の際に、図形が方眼紙上に配置されているので、長さや交わり方が本市の児童にとって分かりやすいですね。

・6年「対称な図形」では、線対称・点対称の対応する辺や角、頂点を調べる学習が1時間でまとめられているため、児童によっては理解しづらい可能性があります。

→全員(合意)

など

<啓林館>

2 啓林館はどうですか。

・『めあて』と『まとめ』を掲載して学習のねらいや展開を分かりやすく示すとともに、「数学的な見方・考え方」を明確化し、価値付けるポイントがはっきりとわかるようにしていることで、経験年数にかかわらず一定の授業の質が保たれるように工夫していますね。

→若年が多くなっているので、この点はよいですね。

・全国学力・学習状況調査等での結果や現場の指導者からの声を踏まえ、児童がつまづきやすいとされる内容にはデジタルコンテンツを配置して、確かな理解が図れるようにしていますね。

・4年生折れ線グラフでは、一日の気温の変わり方が温度計を用いて表示されており、折れ線グラフへの導入として、生活とのつながりがより感じられます。

・6年「場合を順序よく整理して」の展開が、「組み合わせ方」の後に「並べ方」を学ぶ展開になっており、日常とのつながりを意識した単元構成になっています。

・4年「面積」では、学習指導要領解説で示されている求積方法を掲載することで、考えたり説明したりする活動時間を十分確保するとともに、精選した基礎的・基本的な内容の定着を目指しています。

・10のまとまりが色分けされ視覚的に捉えやすい。10が10個で100であることを量感として捉えやすいです。

・1年「かずとすうじ」で学んだ数の量感が視覚的に統一されています。例えば、5と2で7のようなブロックの置き方がそのように表現されています。

・2年(上)で、ウサギとリスが「こぶし何個分」で長さを比べることで、児童の思考のずれを生み、普遍単位を導入する必要感が生まれる内容となっています。

・2年(上)に「直線のかき方」が記載されている部分で、打った始点から直線を書き始める際、ものさしの端ではなく、ものさしの途中の10cmの位置に設定されており、点を打ちやすい方法で示されています。

→全員(合意)

など

<日本文教出版>

2 日本文教出版はどうか。

- ・GIGAスクール構想の推進に向けてデジタルコンテンツが掲載されている。理解を深めるために見るだけでなく動かすコンテンツも充実しています。
- ・1年生では、幼児期とのつながりで就学前の活動を振り返り単元への導入を図る工夫がされています。
- ・筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、考えた過程や友達の考えなどを書き示した算数ノートのモデルを掲載していますね。

→全員(同意)

- ・つながりを大切にした単元構成を意識しており、各単元の導入前に「次の学習のために」という既習事項を確かめるページが設定されています。
- ・4年生折れ線グラフでは、一日の気温の変わり方が温度計を用いて表示されており、折れ線グラフへの導入として、生活とのつながりがより感じられますね。
- ・6年「対称な図形」では、学習問題となっている図形が複雑である点は、児童によっては難易度が高いと思われます。
- ・各学年にプログラミング的思考を育てる内容が掲載されているが、児童の身近な生活場面を題材にしているものの、単元の学習との関連があまりなく必要感がないように思います。

→全員(合意)

など

16:00～ 最終確認、各自記名・押印

16:45～ 諸連絡、片付け

16:00～16:45 印刷・確認・鑑文に押印

16:45～17:00 片付け

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（理科）

議事録

【令和5年6月 2日(金) 教育センター301室】

- 14:20～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:30～ 選定基準の読み合わせ
- 14:40～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター202室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 9:10～ 各自データ加筆・修正
- 9:55～ 選定基準の読み合わせ
協議:司会(豊田)

【東京書籍】

- ・ それでは、東京書籍について「選定の観点ごと」に発言をお願いします。

○まず、【内容の範囲及び程度】について

- ・ 「デジ間」で動画を見ながら発展問題に取り組めるようになっている。
- ・ 単元の導入で子どもの興味・関心を高める工夫が見られるものもある。
- ・ 5年生で重点的に育てたい条件制御の意識づけは強くない。
- ・ 一度に何種類かの実験を同時にしているところもあり、子どもが混乱しそうなどところもある。

○次に、【内容に関する配慮事項】について

- ・ 見開きに4つの領域を単元の内容を示しながら紹介されている。
- ・ 実験で使う道具が、チェック枠と共に示され、使いやすくなっている。
- ・ 巻末の実験器具説明や理科室諸注意はわかりやすい
- ・ 身近な道具で実験道具を作成されている。
- ・ 前学年までの内容を、振り返る QR コードがついている。
- ・ 問題解決学習の流れに沿っている。
- ・ 「問題をつかもう」→「問題」→「予想」→「計画」→「観察・実験」→「考えよう・考察しよう」→「まとめ」が視覚的に分かりやすく、児童主体の問題解決学習が進めやすくなっている。
- ・ 「レッツトライ」では、既習学習との関連性がわかりやすく、子どもの体験活動や写真資料の提示などを工夫し、興味関心を高め、問題を見出しやすくなっている。
- ・ 「全国学力学習状況調査」の表記は、教科書選定とは関連はないので消しておいたほうが良い。
- ・ レッツトライは、子どもが自ら問題を見出させるための活動として位置づけられているところがよい。写真だけでなくさまざまな工夫がされている。
- ・ 「学ぶ前に」「学んだ後に」というコーナーがあり、単元導入と単元末で同じ問いについて考えることで、児童が自分の成長を実感できる。

- ・ 単元末に「ふりかえろう」と「たしかめよう」が設定されており、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」の観点で振り返ることができるようになっていてよい。特に「たしかめよう」の中にある「考えよう」では、児童が学んだことをよりよく確かめることができるようになってい
- る。
- ・ コラムなど SDGs を意識したページがあり、配慮されている。
- ・ 「学び方」の明記によって、児童が学習の進め方を意識しやすくなっている。
- ・ 5年生の植物の発芽から成長までを、同一の植物で行っており、学習が展開しやすい。
- ・ 単元の流れが、子どもの問題意識の流れに沿って構成されている。
- ・ 単元によっては、子どもが読んで理解するには難しい記述がある
- ・ まとめの分量が多く感じられ、大切どころが分かりにくくなっている

○次に、【分量】について

- ・ 5年生の1学期の内容量が少なく、2、3学期の内容量が多くなっている。

○次に、【使用上の便宜】について

- ・ 学び方については、学年に応じた「理科の力」紹介されている。教師側の視点では、指導の仕方や授業作りの参考になり、子ども側の視点では、勉強の見通しや学習規律の振り返りに活用しやすい
- ・ 「ノートの書き方」や「発表の仕方」「話し合いの仕方」等、学習の基盤となることが記載されているので分かりやすい。
- ・ メダカの卵写真、大きく鮮明
- ・ 各単元のはじめに「理科ノート」の QR コードがあり、ノート作りの参考になる。
- ・ 人の誕生で、導入の母の変化が時系列でよくわかる
- ・ 道具の使い方、理科室の決まりがわかりやすい。
- ・ 教科書の最後に「理科の調べ方を身につけよう」というコーナーが、どの学年にもあり、当該学年で使用する実験器具の使い方や安全面への配慮、ノートの使い方などが分かりやすくまとめている。そのため、児童が学習を進めやすい。
- ・ 吹き出しの表記が子どもの思考のヒントになるものが多い。
- ・ 問題づくり 見通しをもつページにより学習へのとりかかりがよい。
- ・ 実験器具の取り扱い 注意が大きくて見やすい。
- ・ 5年生「生命単元シリーズ」→「防災(台風・流水)」となっており、学習の流れを通して指導しやすい。
- ・ 巻末の資料が多く、丁寧にまとめているので参考にしやすい。
- ・ 「人のたんじょう」が3学期と離れている
- ・ 「流れる水のはたらき」が傾斜、水の速さ、川幅、石の形を一度にまとめる展開が複雑で難しく、指導しにくい。
- ・ しかし、堆積のはたらきは区別して指導する流れは、子どもは理解しやすい
- ・ 「予想」「実験」等の見出しが大きくなりすぎていて、学習の流れがつながりにくい。また、そこが強調されすぎていて、内容が入ってきにくい。
- ・ 「理科の学び方」が最初にかかっているが、簡潔すぎてわかりにくい。

- ・ 実験結果をまとめるグラフが各単元に紹介されているが、結果が数回しか紹介されておらず、再現性としては科学的根拠が立証されないと思う。
- ・ 実験道具の説明が縦長なので、資料としてノート等に貼りにくい。
- ・ 挿絵の人物が全体的にマンガに出てくる人物のようである。

○次に、【印刷・製本等】について

- ・ 写真が見やすい
- ・ 生物などの一つ一つの写真が大きく、実物でなくても細かく見つけやすい。
- ・ 字も大きく見やすい
- ・ 写真が全体的に大きく、細部もよく分かる。
- ・ 単元の導入と実験部分が下地に色がついていてわかりやすい。
- ・ 漢字にルビがうってあり、配慮されている。
- ・ 教科書サイズが大きく、机上がいっぱいになり使いにくい。
- ・ 「もくじ」が裏面にあって分かりにくい。
- ・ 裏表紙に目次が見にくい。
- ・ 単元名が下にあって、分かりにくい。
- ・ 文章量が多い
- ・ 文字が大きいと字体が同じで見にくい
- ・ 学習の場面の見分けがつきにくい
- ・ 単元のまとめにある「ふりかえろう」に描かれている絵があまり丁寧でない。
- ・ サイズが大きくなっているが全体的に詰まった感じになっており、配慮が不足している。

○最後に、【教科ごとの選定の観点】について

- ・ QR コンテンツが、児童の問題解決を助ける役割として、使いやすく設定されている。1つの問題解決の過程において、「理科ノート」「自然事象等の動画」「話し合いの例」「実験観察のやり方の動画や資料」「考察の場面で考えるためのデジ活」「練習問題としてのつなげる学び」「学んだことを生活に広げるための理科のひろば」の7つのコンテンツがあり、児童が主体的に問題解決を行うことを助けている。
- ・ 「なんだぼんだ先生」というキャラクターが、問題解決の過程のうち、どこで、どんな「理科の見方・考え方」を使うとよいかを、児童の思考を助ける言葉で示してあるので、児童が自ら「理科の見方・考え方」をはたらかせやすい。
- ・ 「理科の世界 たんけん部」が単元末に設定されており、学んだことが生活のどこに生かされているのかが分かりやすい。生活との関連が分かりやすい。
- ・ 「広げよう 理科の発想」で、知識の活用や生活へのつながりを得ることができる。
- ・ 子供たちの話し合いの様子がマンガのように描かれていて配慮が不足している。
- ・ 単元によって、全体での話し合い(グループ含)を促すような記載が不足している
- ・ 音の性質 導入のトライアングル検証で、付箋が活用されているが、揺れ方の違いが分かりにくい。
- ・ ものの溶け方については、片栗粉使用について、溶けないものも提示しているので「溶ける」の意味が分かりやすくなっている

- ・ 植物の結実では、ヘチマで実験 アサガオは別実験であり、人やメダカと比較しやすくなっている。

11:40～ 東京書籍のように、各自で残り5者整理

12:00～ 昼食

13:00～ 東京書籍のように、各自で残り5者整理

13:30～ 選定基準の読み合わせ

協議:司会(豊田)

【大日本図書】

○まず、【内容の範囲及び程度】について

- ・ 結論に付属して、必要な用語等補足している。

○次に、【内容に関する配慮事項】について

- ・ 「理科の学び方」のページには、問題解決の過程だけでなく、各学年で重点的に指導する問題解決能力(資質・能力)を分かりやすく示しているのが、児童が自覚して学びを進めていきやすい。
- ・ すべての単元導入の「問題を見つけよう」のページには、見開きで大きく・見やすい自然事象の写真が2枚あり、比較することから問題を見いだせるように工夫されていてよい。
- ・ 4月までに必要な植物の準備が示されており、栽培計画が立てやすい。
- ・ めあてとまとめに一貫性をもたせるように配慮されている。
- ・ 「ココに注目」で実験・観察の視点が分かりやすくなっている。また、各学年の大切な考え方を理解することができるようになっている。(子どもの見通し)
- ・ 理科室や実験器具の使い方は巻末に分かりやすくまとめており、使いやすい。
- ・ 単元末の振り返るページに、導入の際の疑問に対して、説明を書く場面があり、自分が学んだことが分かりやすい。
- ・ 「中学生になったら」を活用することで理解を深め、中学校への意欲向上へとつなぐことができるようになっている。
- ・ 準備物がQRコードになっているが、文字として明記したほうがよい。

○次に、【分量】について

- ・ 見開きに書かれている文字量は適している。

○次に、【使用上の便宜】について

- ・ 考察のポイントが示されていて、分かりやすい。
- ・ 写真やイラストが子どもの関心や問題を見出す上で使いやすい。
- ・ 巻末のまとめや安全上の留意点がチェックリストになっているので使いやすい。

- ・ その学年で学んだことが最後の方に端的にまとめられている。さらに、次の学年で学習することも端的に書かれており、見通しがもてるようになっている。
- ・ 単元によっては、体験的な活動から問題を見出すことができるように配慮されている。
- ・ QR コードについては、ページごとに資料名も明記され配置されており、動画や実験器具の使い方がとても分かりやすい。また、他学年、他単元も参照しやすくなっており、使いやすい。
- ・ 実験結果の記録を子どもが実際に書いたノートのようなものを載せているので、記録のとり方をイメージしやすい。
- ・ 結論のところの文字が大きめに書かれていて強調されている。
- ・ 5年生「流れる水のはたらき」では、上流～下流の実験が例示→傾斜や水の速さ、堆積がわかりづらい。(現行と同じ流れ)

○次に、【印刷・製本等】について

- ・ 目次は巻頭。使いやすい。
- ・ 文字の大きさが、複数用意されており、視覚的な情報はすっきりしている。
- ・ 実験と結果の部分は下地に色がついていてわかりやすい。
- ・ ページ数が多い
- ・ 観察カードの見本や観察のポイントが示される→個人の学びで活用しやすくなっている(自主学習など)
- ・ 環境・自然とのかかわりの中で、より妥当な思考ができるように配慮されている。(土地のつくりと変化、防災など)
- ・ 4年「季節と生き物」の学習における植物がツルレイシなので、北九州市の気候にあっており、教材として適切である。
- ・ 重点的に育成する資質能力について、既習内容や生活経験を児童が想起しやすいように、写真等で示しているところがよい。
- ・ 単元「季節と生物」が 7つ(春のはじまり、春、夏、夏の終わり、秋、冬、春のおとずれ)に別れているので、北九州市の気候にあっている。特に、「春のはじまりと春」ではサクラ、「夏と夏の終わり」ではツルレイシが扱われており、北九州市の地域性にあっている。
- ・ 予想、計画、考察の場面で子どもたちが話し合う様子が描かれているので、問題解決の過程でそれぞれを位置付けることの必要性が伝わってくる。
- ・ 台風の学習が夏休み前にあり、現在の気象状況にあっている。
- ・ 防災の取組についても詳しく紹介されている。(地下貯水池や改正があった災害レベルの紹介など)
- ・ アサガオは自家受粉なので、実験が難しく人やメダカとの比較がしにくい。
- ・ 各学年の表紙の裏にある理科の考え方の漫画について、子どもには必要感がない。
- ・ 5年「流れる水のはたらき」では、上流～下流の実験が例示→傾斜や水の速さ、堆積がわかりづらい。(現行と同じ流れ)

○最後に、【教科ごとの選定の観点】について

- ・ 観察カードの見本や観察のポイントが示されているので、自主学習など、個人の学びで活用しやすくなっている。

- ・ 6年の学習では、環境・自然とのかかわりの中で、より妥当な思考ができるように配慮されている。
- ・ 重点的に育成する資質能力について、既習内容や生活経験を児童が想起しやすいように、写真等で示しているところがよい。
- ・ 4年生単元「季節と生物」が 7つ(春のはじまり、春、夏、夏の終わり、秋、冬、春のおとずれ)に別れているので、北九州市の気候にあっている。特に、「春のはじまりと春」ではサクラ、「夏と夏の終わり」ではツルレイシが扱われており、北九州市の地域性にあっている。
- ・ 予想、計画、考察の場面で子どもたちが話し合う様子が描かれているので、問題解決の過程を重視し、それぞれに話し合いを位置付けることの必要性が伝わってくる。
- ・ 5年生の「台風の学習」が夏休み前にあり、現在の気象状況にあっている。
- ・ 5年生の学習において、防災の取組についても詳しく紹介されている。(地下貯水池や改正があった災害レベルの紹介など)
- ・ 5年生単元「植物の結実」では、アサガオは自家受粉なので、実験が難しく人やメダカとの比較がしにくい。
- ・ 各学年の表紙の裏にある理科の考え方の漫画について、子どもには必要感がない。
- ・ 5年生単元「流れる水のはたらき」では、実験観察の視点が多すぎて理解しづらい。

【学校図書】

○まず、【内容の範囲及び程度】について

- ・ 「ふりかえろう」の内容が充実している。
- ・ 台風に関する内容が単元扱いになっていない。また、3学期の初めに「冬から春へ」というものがあり、冬の天気を扱っているが、指導要領の内容との関連性からするとその必要性を感じず、疑問に感じる。

○次に、【内容に関する配慮事項】について

- ・ 問題解決の具体が示され、教師が意識して子どもに伝えられるようになっている。
- ・ 単元の初めに身に付けたい力が明確に示されている。
- ・ 単元のはじまりに、身に付けたい力が明確に示され、既習内容も記載されている。また、単元全体に関わる実験の注意事項が始まりの部分に記載されている。
- ・ 考察の際のポイントが明記されていてわかりやすい
- ・ SDGs との関連が分かりやすく示されている。全学年の教科書の裏表紙に SDGs の目標が示されており、教科書の中のページに関連するところには目標のマークが示されている。
- ・ 言語活動の支援のために、話し合い活動の話型の例があり、参考にして話し合い活動ができるようになっている。
- ・ どの学年も教科書 P2、3「理科の世界をぼうけんしよう」において、領域ごとの見方を分かりやすい言葉で示しているところがよい。
- ・ 「やってみよう」「もっと知りたい」など、児童の興味を高める内容であり、指導上の観点に即して構成されている。
- ・ 単元末の「やってみよう」の内容が発展性が小さく関心の広がりにつながりにくい。「もっと知りたい」のコラムページが少量になっている。

- ・ 子どもの問題意識に沿った単元展開になっていない部分も見られる。
- ・ 吹き出しでの会話が長く、問題把握や考察などで視点を紹介しすぎている。
- ・ 単元によっては、2つの実験を同時に進めているところがあって、子どもの考えが混乱しそうなところもあり、配慮が不足している。
- ・ 「わかったこと」で学習がまとめられていて、複数回答になっているものもあり、「まとめ・結論」がしにくい。
- ・ 考察とわかったこと(まとめ)と一緒に扱われており、わかりにくい。
- ・ 問題・予想とわかったこと・まとめが同じページになっているところがあり、配慮が不足している。

○次に、【分量】について

- ・ 基本的にシンプルなつくりのページである。
- ・ 文字が少し小さいため、余白は多い。
- ・ ページごとの分量に差を感じる。

○次に、【使用上の便宜】について

- ・ 「ふりかえろう」を QR コードで取り組むことができるようになっている。
- ・ NHKforschool の QR コードがあり「ねらい・内容」も示されており、分かりやすい。また、実験器具のつくり方が QR コードで紹介されており、見直しながら取り組めるようになっている教科書の実験結果を QR コードで動画として見直すことができるので、家庭学習でも振り返ることができる。ワークシートもダウンロードできるようになっている。
- ・ QR コードが読み取りにくく(色)、何のものか明記されていない場合もあり、分かりにくい。
- ・ 写真や資料には、実物大の大きさも示されていて、実際の大きさを感じやすくなっている。
- ・ 理科室のルールや巻末の器具の使い方が一覧化されており、教科書にチェックできるようになっているので、分かりやすくなっている。
- ・ 「注意」がフォントを変えて強調されて分かりやすい。
- ・ 子どもによっては、理科モンスターを通して、資質・能力を意識化できるようになっている。
- ・ 反面、キャラクターの意図や特徴に関心がもてない子どもへの配慮が不足している。
- ・ 「理科の学び方」が最初にかかっているが、簡潔すぎてわかりにくい。
- ・ 「ふりかえろう」のデジタル問題は集約を教師がしにくい。
- ・ 挿絵の人物がアニメのキャラクターのようである。
- ・ 写真が鮮明さに欠けるところがある。

○次に、【印刷・製本等】について

- ・ 文字の量が多く、文字の大きさも小さい。
- ・ 目次が裏面にあり扱いにくい

○最後に、【教科ごとの選定の観点】について

- ・ 4年「雨水の流れ」でかたむきチェッカーを作っているのは分かりやすい。
- ・ 5年「流れる水のはたらき」は【傾斜】と【水量】を同じタイミングで学ぶ。
…条件制御しやすい。

- ・ 5年生の単元構成にストーリーが組みにくい。
- ① ふりこ→発芽→台風 ②植物のつくり→天気(本市の防災の取組と絡めにくい)
- ・ 3年生の「かげと太陽」の学習において、1学期に配置されているが梅雨とかぶり、やりづら
い可能性が大きい。
- ・ 3年生「チョウを育てよう」の学習が4番目の単元で、単元構成として遅い。
- ・ 4年「空気の温まり方」の学習で、空気をあたためる実験がビーカーをアルコールランプで直
接、温める実験となっているが、ビーカーが割れる危険性があるのではないか。(P171)
- ・ 年植物の発芽で、パーライトの活用がない。本教科書では肥料を含まない土で紹介されて
いる。(ペレットの活用?)
- ・ 4年「雨水の流れ」の水のしみこみ方の実験で、植木鉢を使用しているため、土の粒の大き
きと水のしみこみ方の関係が見えにくく、分かりにくい。
- ・ 5年植物の発芽の学習で、導入から実験までで植物が変わるため、展開しにくい。

【教育出版】

○まず、【内容の範囲及び程度】について

- ・ 単元によっては、学習の時期が実際の気候とずれる可能性がある。
- ・ 物の燃え方の実験方法が操作しにくい。(ガラスが熱くなる等)
- ・ 上記のように、いろいろご意見は出ましたが、特記事項なしで行きましょう。

○次に、【内容に関する配慮事項】について

- ・ 理科の見方・考え方を子どもに働かせる場面にポイントでしるしがある。
- ・ 5年生「植物の発芽」で、条件制御がしやすい構成になっている。
- ・ 単元全体に関わる実験の注意事項が始まりの部分に記載されている。
- ・ それぞれの実験に必要な器具の一覧があり、教科書にチェックできるようになっているので
準備がしやすくなっている。
- ・ 「見つけよう」→「問題」→「予想しよう」→「計画しよう」→「観察・実験」→「結果から考えよう」
→「結論」が視覚的に分かりやすく、児童主体の問題解決学習が進めやすくなっている。
- ・ 各学年で主に育てたい力が「3年のチカラ」「4年のチカラ」「5年のチカラ」「6年のチカラ」と
して分かりやすく示されているので、常にその資質・能力を意識して教師も児童も学習を進
められるようになっている。
- ・ 【比べる】や【関係付ける】などの話型を、教科書冒頭で例示。子どもの言語活動で活用しや
すく、教師も指導しやすくなっている。
- ・ 「見方のカギ」「考え方のカギ」として、児童の吹き出しの内容にピンクマーカーで示されて
いるが、吹き出しの言葉が正解のようなイメージを受けてしまい、児童が自ら理科の見方・
考え方をはたらかそうとしにくい。
- ・ 吹き出しにあるような児童のつぶやきを引き出すための手立てがあるとよい。書きすぎでい
るので、思考する前に答えとして捉えてしまうのではないか。
- ・ 子供の興味・関心を高める問題提示になっていない。
- ・ 4年生「電流のはたらき」は、問題をつかむまでに時間がかかる構成になっている。
- ・ 6年生「ものの燃え方」では、空気の入替わりに気づかせる場面が弱く理解しにくい。

○次に、【分量】について

- ・ 量は適量である。
- ・ テキストが多い
- ・ 上記のように、いろいろご意見は出ましたが、特記事項なしで行きましょう。

○次に、【使用上の便宜】について

- ・ 理科で使う言葉のページがあり、発表の仕方がノートの書き方につなげやすくなっている。
- ・ 導入に器具の制作方法をのせている。
- ・ 流れが色分けで分かりやすくなっている。キーワードに着色○
- ・ 教師にとっても、子どもにとっても、安全面に意識させやすいようになっている。(裏表紙に安全の手引き)
- ・ 巻頭に前学年で学習した内容を復習できるように端的にまとめられていたり、理科における学習の進め方やノートの取り方が描かれていたりするため問題解決の仕方がイメージしやすくなっている。
- ・ 「理科の学び方」が最初にかかっているが、文字が多くわかりにくい。
- ・ 巻末にその学年で学習したことが端的にまとめられている。
- ・ 巻末の資料に当該学年で使用する実験器具の使い方や安全面への配慮などが分かりやすくまとめられている。そのため、児童が学習を進めやすい。
- ・ 「国語で学んだことを生かそう」でノートの書き方や話し方を統一しやすくなっている。
- ・ QRコンテンツが、他社と比べて少ない。
- ・ 5年生「流れる水のはたらき」で、流れる水のはたらきを理解するのが難しい構成になっている。
- ・ 導入で教師が演示をしている単元があり、問題を見いだすことにつながらない。

○次に、【印刷・製本等】について

- ・ 裏表紙に安全背の手引きがあり、意識しやすくなっている。
- ・ 基本的にシンプルなページ内容となっており見やすい。
- ・ 教科書のサイズも小さく、字体も変化が多くとても見やすくなっている。
- ・ 結論の部分の文字が大きめに書かれているのでわかりやすくなっている。
- ・ 授乳写真の配慮がどうか。(「授乳で栄養を採っている。」という表記があれば、写真の意味も理解できる。導入で産まれた後の写真が並んでいるが、単元では出産までの成長を学習していくので、学習した後のまとめのページに載せてもいいのではないか。)
- ・ すべての単元導入の「見つけよう」のページには、比較できるように 2 枚の写真を掲載しているが、1ページに 2 枚を掲載しているため、写真が小さくやや見にくい。そのため、問題を見いだす場面で、児童が疑問や不思議を見つけにくいのではないか。
- ・ メダカ卵の写真資料が比較的不足している。
- ・ 写真と教科書の背景がかぶっており、資料が見にくい(特に気象単元)
- ・ 写真がやや小さい。導入の写真が小さいので、問題の見出しにつながらにくい

○最後に、【教科ごとの選定の観点】について

- ・ 背表紙に各学年の安全指導が紹介されていることで、一目で確かめやすくなっている。

- ・ 巻末に索引があり、キーワードで学びを振り返ることができるようになっている。(辞書引き)
- ・ 活動の内容にタブレットやデジカメなどの ICT を主に活用。取り方のコツも紹介されている。
- ・ 防災の取組について情報が多く載っている。
- ・ コラム、資料のページが少なく、発展的な知識を得にくい。
- ・ ふりこの実験回数、もののとけかたの小数第一位までもとめる必要性はあるのか。
- ・ アサガオ実験は自家受粉で分かりにくい
- ・ ダイコンで導入し、インゲンで実験する連続性に配慮が不足している。
- ・ 4年「季節と生き物」の学習における植物がヘチマなので、北九州市の児童には、ツルレイシの方が馴染みやすい。

【啓林館】

○まず、【内容の範囲及び程度】について

- ・ 特記事項なし

○次に、【内容に関する配慮事項】について

- ・ 「たしかめよう」や「くらしとリンク」、「活用しよう」のコーナーが充実しており日常生活や社会に生かすよう配慮されている。
- ・ まとめノートの例示が子どものふりかえりの参考になるように配慮されている。
- ・ 導入のページで「思い出そう」というコーナーがあり、子どもがこれからの学習の見通しをもつことができるよう配慮されている。
- ・ 他教科との関連が取り上げており、学びに活かしやすくなっている。
- ・ まとめノート→QR コンテンツ「基本のチェック」→たしかめよう→活用しよう→QRコンテンツ「スマート解説」があるので、単元末のまとめ学習を子どもが自分でできるようになっている。また、個別最適な学びの視点から考えると、不登校傾向の子どもが家庭の中で、自分で学習できるようにも配慮されている。
- ・ 数種類の実験を同時に進めているところがあり、混乱しそうである。
→実験方法が複雑になっている単元がある。
- ・ 子どもの吹き出しが最後まで話しているので、詳しく説明しすぎている
- ・ 導入の素材と学習で使用する素材が違っているので、学習の展開がしづらくなっている。
(豆苗からインゲンマメ)
- ・ 学習の流れが縦軸ではなく、サイクルで表されているのでわかりづらい。
- ・ 他社に比して、学年を通した問題解決の視点は抑えとしては弱い
- ・ 単元の中で実験器具や条件制御の考え方を示している
- ・ 「花のつくり」から学習がスタートするが、時期を逃すと観察がしづらくなる。

○次に、【分量】について

- ・ 適量である。

○次に、【使用上の便宜】について

- ・ 巻頭に理科の学習における問題解決の仕方や ICT の活用を具体的に掲載していてわかりやすい。
- ・ ICT を活用する際、どんなときに(場面)、何のために(目的)ICT を使うとよいのかが分かりやすく示されている。
- ・ 5年生単元「花から実」から「人のたんじょう」とつながっており、生命領域のつながりで指導しやすくなっている。
- ・ それぞれの実験に必要な器具の一覧があり、教科書にチェックできるようになっているので準備がしやすい。
- ・ 教科書の表紙に QR コードがあり、ここから、全学年のコンテンツを見ることができるので活用しやすい。
- ・ QR コンテンツが、「操作系、動画、Web サイト、スライドショー、フラッシュカード、音声」の6種類があり、コンテンツ数は3年生87、4年生77、5年生113、6年114あり、充実しているように見えるが、動画について、「スマート解説」の動画が多く、自然の事物・現象の動画は少なく、配慮が不足している。
- ・ 体験的導入だが例示が多くて子供の意識がなえる。
- ・ 導入の写真は大きくてよいが、ほかの写真が小さくわかりにくい。
- ・ 資料によっては、内容が伝わりづらいものがあり、配慮が不足している。
- ・ 理科室の利用方法や実験器具の説明で、情報が不足しているものもある

○次に、【印刷・製本等】について

- ・ 文字は大きく見やすい。文字量もちょうどよい。
- ・ このサイズ感、ちょうどよい

○最後に、【教科ごとの選定の観点】について

- ・ 安全に配慮するため、文字とイラストのアイコン(「けが」「やけど」「強い光」など)になっていてわかりやすくなっている。
- ・ ノートの記述例があり、ノート作りの参考として配慮されている。
- ・ 単元の導入で子どもに興味・関心を持たせる手立ての工夫がされている。
- ・ 「もっと知りたい」によって次の学習へのつながりがもてるようになっている。
- ・ 理科の見方・考え方について、子どもの吹き出しの中の言葉にマーカーを引くようにすることで、子どもが理科の見方・考え方を使うことができるようになっている。
- ・ 考察も書かれているため、子どもの思考を深められない。
- ・ 問題解決の過程で必要な「予想」の場面が無いところが多くなっている。
- ・ 植物単元(特に3・4年)で、導入の資料がイラストになっていて、児童が観察するときの視点をもちにくなっている。
- ・ 4年「空気のあたたまり方」の学習(P149, 150)において、空気の温まり方を調べる実験として、「暗い部屋で、あたためられた空気に光を当て、スクリーンにうつった光のようすを観察する」という方法は、適切ではない
- ・ 教材によっては北九州市の実態(身近さや親しみ)にあっていないものがある。(4年「植物をそだてよう」ヒョウタン)

- ・ 5年生「流れる水のはたらき」が秋～冬の単元になっているので、本市の環境に合っていない。
- ・ 5年生「台風」の学習が一学期のため、まだ来ていない年は学習がしにくい場合がある。

【信州教育出版】

○まず、【内容の範囲及び程度】について

- ・ どの学年にも「やってみよう」という発展的な内容があり、子どもの興味・関心を高められる。
- ・ 中学3年生の学習に関連した内容も扱っていて、難しい。
- ・ 5年「天気の変化」の学習は季節に関連した内容であるため、実施時期に検討の余地がある。

○次に、【内容に関する配慮事項】について

- ・ 巻頭に安全面の指導や理科室の使い方が記載されており、安全を意識して学習に臨むことができる。
- ・ 1年間の学習の流れの下に栽培カレンダーがあってわかりやすい。
- ・ それぞれの実験に必要な器具の一覧があり、教科書にチェックできるようになっているので準備がしやすい。
- ・ 季節に関連した単元であるはずなのに、季節を考慮した時期に実施していないものがある。

○次に、【分量】について

- ・ 学年によっては、1学期の学習内容が多く、配慮が足りない。

○次に、【使用上の便宜】について

- ・ 生き物単元の解説、図と種類が多くわかりやすい。
- ・ ほとんど QR コードがないので、タブレット活用ができにくい。
- ・ 強調部分など、字の大きさを変えているが、一部小さい字があり、読みにくい部分がある。
- ・ 長野県での使用が中心であり、例示が北九州には向かない部分がある。
- ・ 実験器具の使い方のページなどがなく、配慮が不足している。
- ・ 写真資料に注目する視点がわかりにくいものがある

○次に、【印刷・製本等】について

- ・ 写真が全体的に暗く、鮮明でないので古い感じがして使いにくい。
- ・ 使われている多くの写真が信州地域のものであり、地域性に偏りがある。
- ・ 「もくじ」が裏面で分かりにくい。
- ・ 文字は、見やすいが量が多い。

○最後に、【教科ごとの選定の観点】について

- ・ 巻末にインターネットの動画の QR コードがある。また、動画の尺もあるので計画的に使用しやすいようになっている。
- ・ 資料のコーナーがあり、より知識を広げられるようになっている。
- ・ 信州を中心として作成されている部分があり、活動内容が北九州に合いにくいものがある。
- ・ 写真での説明がふさわしい部分が、イラストになっていることがあり、活用しにくい。
- ・ 学んだことが生活のどこで使われているかについての資料が少なく、生活との関連がうすい。
- ・ 同じページに「問題、実験、結果」が記述されており、配慮が不足している。
- ・ 問題が教科書の様々な所に配置されており思考が切られている印象になってしまっている。
- ・ 「問題→実験→結果→わかったこと」という問題解決の過程だけで構成されているので、予想や考察をしなくてもいいようにとらえられる。そのため、全体のページ数も他の教科書に比べて少ない。

○以上で、6者全ての協議が終わりました。報告の整理に入ります。

16:00～ 印刷・確認 → 修正

16:45～ 鑑文に押印、諸連絡、片付け

17:00～ 終了

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究部会（生活）

議事録

【令和5年6月 2日(金) 教育センター301室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月19日(月) 教育センター205室】

- 9:00～ 全体会(部長挨拶、出席確認、確認事項、選定基準の読み合わせ)
- 9:10～ 個人調査研究・資料作成及びデータ集約
- 10:00～ 協議

○協議内容

10:40～12:15 協議(1東京書籍)

- ・今集約した中から、○を3つ～4つくらいになるように内容を絞っていく。
- ・下から3つめと4つ目を、下の(2)内容に関する配慮事項に移す。
- ・(1)の観点を確認する。選定の観点に沿って、残すものを考える。
- ・QRコードについては、(2)か(4)にもっていく。内容については(2)、便宜上のことについては(4)にする。
- ・1つ目と2つ目の○は一文にまとめるとよい。
- ・「問題解決」に係る内容について、整理する。
- ・左から右に思考の流れが記述されている。
- ・問題解決の流れが、見開き1ページにまとめられている。
- ・「かんさつずかん(上34ページ)」評価の仕方についても記載されている。
- ・「○○ずかん」としてシリーズにしているので、初めて教える先生にも分かりやすい。
- ・かんさつずかんには、評価の仕方が載せてあるので、見通しが持たせやすい。
- ・分量は適切である。一方、「少し情報量が多い」という意見についてはいかがか。他者と比べても文字数等についてはそこまで感じないが、どうか。
- ・よい。ある程度は情報量も必要。
- ・では、分量は適切で統一する。
- ・QRコードの場所が内側にある場合は、読み込みが難しい。
- ・QRコードについては、「内容はよい」が、「場所によって読み込みが難しい」として●にする。
- ・「本物の大きさ」が取り外せなくなっている。
- ・最近、紙の図鑑よりも、タブレットを基本として考えている。
- ・東書は、タブレットの活用が多い。
- ・「ほんとうのおおきさ いきものずかん」は、リード線があり、実物がわかりやすい。
- ・A4サイズについては、他者や他教科でもA4のものがある。
- ・「かつどうべんりてちょう」については、手順がわかりやすく示されている。

- ・教科書上p.34「かんきつずかん」には、「かあどのかきかた」「かんきつのしかた」「だいじなこ
と」や評価の仕方も例示してあり見通しがもちやすい。の部分を、「学習の仕方や評価の仕
方」にまとめてはどうか。○一つにつき、3行以上にならないようにする。

13:15～14:05協議(2大日本図書)

- ・書き込みのワークシートがあるのが、特徴的だった。
- ・野菜を育てる過程がきちんと書かれていない。いちごを取り扱っているが、あまり一般的では
ない。
- ・栽培活動として、1年から2年につなげるねらいはあるのでは。
- ・イラストが多い。2パターンあるのでわかりにくい。
- ・おもちゃの単元が、飾りつけに目が行くとあるが、許容範囲である。
- ・振り返りカードの絵が、1年生の子どもの発達段階に合っていない。
- ・上巻の見開きページ右下の「きもちマーク」や子どものふき出しが学習のまとめのようになって
いるものがあり、児童の思いや言語表現を引き出す工夫がやや不足しており、児童の思いを
表現する自由度が少ない。
- ・「がくしゅうどうぐぼこ」の内容が、児童の発達段階に合っていない。あっても良い情報である
が、相殺して上げない。
- ・紙質がざらざらしていて、薄い。紙質が悪い。
- ・わた毛のアップ写真1枚では、導入dとして厳しいのでは。子どものイラストなどもない。
- ・上巻p.10、下巻p.2などで生活科で育てたい力を具体的に示しており、教師にも視点として
捉えやすい。

14:05～14:45協議(3学校図書)

- ・76ページだけが、膨大な量の虫の数が出てくる。聞いたこともないような虫がいる。
- ・2年生「生きものともだち」では、飼育の様子的事例が「ダンゴムシ」中心で、範囲が狭い。
- ・家族の単元では、感謝の思いが前面に取り上げられすぎており、「自分ができるようになった
こと」に気づくことができるような内容が少ない。
- ・QRコードを使うと、「NHK for School」(遊び方)や「政府インターネットテレビ」(注意喚起)
等専門機関のネットにつながり、多様に学習できる。
- ・QRコードに、「かあどのかきかた」もあるが、教科書に載っていた方が参考にしやすいものも
ある。
- ・イラストのタッチが薄いというのは、印刷が暗いということか。
- ・イラストがぼんやりしている。

14:50～ 協議(4教育出版)

- ・「わくわくスイッチ」によって、児童の実態を把握しながら、学習をスタートさせることができる。
- ・「ヒント」の見方を変える・予想するについては残す。
- ・板書の中身に、思考ツールが示されている。
- ・分量は適切でよい。バランスと合わせて示す。
- ・QRコードが他社より若干大きく、教科書の端にあり、QRコードを読み取りやすい。
- ・野菜の断面写真がリアルで見やすい。

- ・1年生と2年生で紙質が違うようだが、紙質によって写真の発色がよくないところがある。
- ・「はっけんロード」で思考の流れを示そうとしているが、ページのまとめ方に一貫性、統一感が欠けており、逆にわかりにくくなっている。

15:30～ 協議(5信州)

- ・ある特定の地域の実態や季節の行事を中心とした内容構成になっている。
- ・飼育不可能な動物(ヤギなど)がある。
- ・内容の構成や展開が、季節の行事中心となっていて、児童の思いをつなぐ単元のつながりになっていない。
- ・観音開きのページ(上)がある。1年生には使いにくい。
- ・分量は適切。
- ・本市の実態に合っておらず、自分と地域の人々、社会及び自然との関わりが具体的に把握できるような学習活動になっていない。

15:43～ 協議(6光村)

- ・上下巻の「ひろがる せいかつ じてん」花や野菜の種類が多く、収穫までの課程も載っていて、充実している。
- ・下巻p.48どうしたら動くか(「はじく」「ころがす」等)が言葉で示してあるので、他のものもやってみたい、子どもにとって試してみたいものとなっている。
- ・子どもの思考を促す「こんなこともあるかもね」は、印刷の文字ではなく、絵本風の文字なので、親しみやすさはあるが、読みにくい児童もいるだろう。
- ・分量が多く、1ページ内の情報量も多い。
- ・「ひろがるせいかつじてん」が別冊で取り外し可能になっている。
- ・「書くこと」に力を入れているが、国語に偏っているまとめになっている。成果物に多様性が無い。ペープサートや劇など。
- ・子どもの思いや願いが大切にされず、書くことの技能面に偏っている傾向にある。日記を書いているみたいになっている。
- ・「ひろがるせいかつじてん」が別冊で取り外し可能になっている。植物の成長(つながり)が見やすい。
- ・写真は子どもの表情がよいものが多い。
- ・紙質が弱く、本が重い。児童が扱いにくい。
- ・活動の最後の振り返りのコーナー(教科書の右下)の吹き出しのセリフが、全て「～どんな気持ちになったかな。」という文末になっていることに、違和感がある。もう少し多様性があっても良い。「違和感」⇒個々の思いを引き出し…

16:27～ 協議(7啓林館)

- ・「すたあと ぶっく」が巻頭に付いており、保幼小の関連を意識した内容になっている。「あんぜんにすごそう」の中で、交通安全の動画が充実している。
 - ・「できるかな できたかな？」のコーナーで、単元の振り返りに結びつく構成になっている。
 - ・栽培活動における花や野菜の種類が多く、個に応じた内容になっている。
- 下巻、おもちゃづくりの単元が「うごくおもちゃ」から「世界で一つのわたしのおもちゃ」になり、

教師によって「何を作ってもいい。」と勘違いされないか、単元のねらいが捉えにくい。

- ・各領域の内容バランスがよく、調和がとれている。
- ・分量は、おおむね適切だが、少し情報量が多い。
- ・リード文、吹き出し、写真などが、学習を進める上で、関連をもたせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配慮されている。
- ・上巻p.34・35では、1つの種子からいくつの種子がとれたかが視覚的に分かりやすい。
- ・「わくわく」の部分を導入として、「いきいき」で具体的な活動内容、「ぐんぐん」の部分では全体で学んでまとめる、発展というようになっているので学習の見通しがもてて、分かりやすい。
- ・板書がついているが、内容が指導書のようにになっている。
- ・小さなサイズで、ランドセルや引き出しに入れやすい。
- ・写真や絵は色味がきれいで、見やすく、紙質もよい。
- ・イラスト(全体的なキャラクター)のタッチにやわらかさが欲しい。
- ・多様な表現方法を使った、子ども同士の交流の様子が掲載されており、授業づくりのヒントになる。
- ・下巻p.41に北九州市立図書館のカード・北九州市立子ども図書館の建物の写真が掲載されており、北九州市の子どもにとって学習意欲が湧くものとなっている。
- ・子ども自ら気付いたり、見付けたりしてほしいことが、吹き出しの中に記入しているため、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの活動が見えにくい。
- ・学習場面で「どことなくふうができるかな」という問いかけが、1年生には難しい。
- ・QRコードで「デジタルたんけんブック」が付いているが、情報量もあり、子どもにとってはやや使いにくい。

16:30～ 最終確認、各自記名・押印

16:45～ 諸連絡、片付け

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（音楽）

議 事 録

専門調査研究部会(小学校 音楽)議事録

記録者(湯浅)

【令和5年6月 2日(金) 教育センター304室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター205室】

- 9:00～ 専門調査研究部会長あいさつ・湯浅から時程確認等
- 9:05～ 調査研究・討議 (司会:井上)

★ 「教育出版」と「教育芸術社」の研究事項を読み比べながら、討議が進む。

★ 「各教科共通の選定の観点」における各観点1項目ごとに研究・討議を進める。

- ・ 本日は、前回の専門調査研究部会で、それぞれの先生方が気づいてメモされたことをまとめたものを見比べながら進めていこうと考えている。それでよろしいか。

全員 (合意)

- ・ では、話し合いながら、まとめたものを画面で共有しながら、内容に加除修正を加えたいと思う。
- ・ 加除修正を加えるのは、合意の後、井上先生にお願いする。湯浅は議事録を作成するという役割分担で行いたいと考えている。

全員 (合意)

- ・ では、メモの順に従って見ていく。教育出版の内容について、見ていく。まず「音楽が得意で専門性のある先生方の先生にとっては授業の自由度が高くて指導しやすい」というご意見を頂いている。
- ・ 教育芸術社に比べて 専門の先生が料理しやすい題材構成となっている。
- ・ 「指導しやすい」ではなく、「工夫しやすい」のでは。

全員 (同意)

- ・ 「若年や不得意な先生」という記述の表現についてはどう思うか。
- ・ 「専門性」で統一した表現がよいのでは。
- ・ 「不得意」のほうがすっきりする。

全員 (同意)

- ・ 「音楽教材としてあがっている～」の部分はどうか。
- ・ 教材曲と関連させて音楽づくりをさせているが、広がりすぎて、難易度も高い。6年生の和声のところが特に、難易度が高い。
- ・ 循環コードは、教師が一読してもわからないのではないか。
- ・ 1年生の「きらきら星」(p.58,59)の後の音楽づくりは、旋律づくりだけでなく、リズムの変化までである。
- ・ 3年生雪の踊り(p.50)ではすることが3つある。授業の準備が大変。授業時数が増えそう
- ・ 面白そうだが、学級担任では難しい。

- ・ 内容が広がりすぎている感じがする。
- ・ いろいろな学習活動があることで、重点項目をしぼりにくいと思われる。

全員（合意）

- ・ 「学習マップ」が簡潔である、ということについてはいかがか。
- ・ これはすごくわかりやすい。
- ・ ねらいと活動が簡潔に示されている。年間の流れがわかりやすい。

全員（合意）

- ・ 「楽器の奏法が写真で示されていてよい。」という点についてはいかがか。
- ・ 1年生の23ページなど、タンバリンのたたき方がわかりやすい。最後には大太鼓と小太鼓のたたき方も掲載されている。
- ・ 楽器図鑑は各学年ともある。
- ・ 6年生でもマレットやバチの持ち方が示されている。
- ・ QRコードの動画はよい。
- ・ QRコードの大きさが小さく、GIGA 端末で読み取りづらい。
- ・ GIGA 端末で読み取りづらい点については、「製本」の項目に入れるということによりか。

全員（合意）

- ・ 共通教材の表示について、わかりやすいとある点についてはいかがか。
- ・ 目次にある。冊と別に記載があり、教師にとってどれが共通教材なのかがわかりやすいと思う。
- ・ 確かに、目次を見たときに、ぱっとわかりやすいと思う。

全員（合意）

- ・ 「楽譜がはっきりと大きくて見やすい」という点については、いかがか。
- ・ 音符が見やすい、というよりも、印刷や製本のことではないだろうか。
- ・ 「見やすい」とはどういうことなのか、書かれた方にもお尋ねしたい。
- ・ 情報量が少ないのですっきり見えるという意味である。歌唱共通教材のページで特にそのような感じがする。
- ・ 確かに、強弱記号が入っていない楽曲がある。
- ・ 何を基準に強弱記号が入っていないのかがわからない。
- ・ 強弱記号がないことで、自由に表現の工夫ができるようにしているのではないか。
- ・ 強弱記号がないと、子どもたちが「答え合わせ」できない。自分と作曲者の思いや意図の表現の仕方を比較することも勉強になると思う。

全員（合意）

- ・ 「学年末の学習の振り返り」がない、という点についてはいかがか。
- ・ 教育芸術社にはていねいな記載があるので、そう感じる。

全員（合意）

- ・ 内容の難しさの割には、巻末のまとめがぎっくりしすぎている。
- ・ イラストが知識理解に結び付きにくいように感じる。きれいだが、楽曲との関連性が分からない部分もある。

全員（合意）

- ・「巻末にある音楽を表す色々な言葉」についてはどのように思われるか。
- ・ 思いを「言語化」するのに役立つと思う。
- ・ 楽曲から離れた位置にあるので、見づらい点もあると思う。

全員（合意）

（10分間の休憩）

- ・ 「内容に関する配慮事項」にある、常時活動についてはどのようになっているか。
- ・ 学年の最初に「スキルアップ」のコーナーがある。
- ・ わらべうたや早口言葉が掲載されている部分も常時活動であると思う。
- ・ では、常時活動に関する記載については、残しておくということでよろしいか。

全員（合意）

- ・ 「音楽のもと」として共通事項の中から重点を示しているページと、情景と歌詞だけで曲を味わうページという記載があるが、これは具体的にどのような内容の部分なのか。
- ・ 共通教材で取り扱いに軽重がある、ということではないか。
- ・ 6年生13ページと7ページの違いのことである。13ページは重点になる内容が中心に示されているが、7ページは楽曲だけである。
- ・ 実際にこのような記載がある、ということで、報告書には残しておく方針でよろしいか。

全員（合意）

- ・ 題材のタイトルに「音楽を形づくっている要素」が含まれている点はどうか。
- ・ いいところなので、残しておく方がいいと思う。

全員（合意）

- ・ 「歌詞に合ったイラスト」という記載について、表現はこのままでよろしいか。
- ・ イラストは確かに良い。ただ、音楽科の学習との関連として「想像力をかきたてるもの」であることがわかる文言に修正した方がよいと思う。

全員（合意）

- ・ 「活動を音楽活動として成立させるには困難」と書かれた部分については、どのような内容か。
- ・ 活動は示されているが、共通事項との関連が、専門性の高くない教員の視点で見ると、音楽的な視点でのねらいが明確に伝わらないのではないかと思う。

全員（合意）

- ・ 歌唱共通教材について、主体的・対話的で深い学びが限定的である、という記載についてはいかがか。

（以下、部員が口々に意見した内容）

- ・ 教えて終わりになりそう。
- ・ 授業づくりがしにくい。教育出版は、楽譜がポンとある感じなので、めあてをつくりにくい。
- ・ 活動させたり工夫させたりしにくい。

- ・ 自由度は高いが、若年の先生には何を教えたらよいのかわからないと思う。
- ・ 共通教材はもっと味わわせるような工夫がほしい。
- ・ ヒントが少ないため、対話的な学びが引き出しづらい。
- ・ では、この記載を残しておくということではよろしいか。

全員（合意）

- ・ 「君が代」は各学年の教科書に、別々のさざれ石の写真が掲載されている。すごい工夫だと思う。

全員（教科書を見比べて合意）

- ・ リコーダー指導の運指について挙げている人が数名いるようである。実際にはどのような点に気になるか。
- ・ 運指の記載は一部しかない。教育芸術社はどの楽曲でも全部ついている。
- ・ 指番号とイラストで示しているのがわかりやすいと思う。

全員（合意）

- ・ 「さくら さくら」の楽譜について、歌詞が書いてある点については、どのようなところがよいのか。

- ・ 箏の楽譜(縦書き)の中に歌詞がある。歌詞があるとリズムもイメージしやすいため、指導しやすいと思う。

全員（合意）

- ・ リコーダーの曲の難易度が高いという点については、どのような内容を受けて書かれたのか。
- ・ 5年生の教科書では、拍子が8分の6のものが多い。6段あって上と下のパートがそれぞれ違って難しい。
- ・ 4年生までは学年相応だと思うが、5年生で飛躍的に難しくなっている。
- ・ リズムも難しい。6拍子で、付点四分音符と四分音符がタイでつながっている。5拍分伸ばすのは、技術的にも難しいのではないかと思う。

全員（合意）

- ・ 「鑑賞曲の楽譜がみづらい」という点についてはいかがか。
- ・ スコア(総譜)を見せるのは、小学生にとっては難しいと思い、そのように記述した。
- ・ 「指揮者の解釈の違いによって表現が変わる」、というような記載もある。
- ・ 情報量が多く、重点が見取りづらい。

- ・ では、各教科共通の選定の観点の内、分量について確認していく。
- ・ 量的には適切だと思う。
- ・ だが、1曲の長さが長いと思う。習得するのに時間がかかると思われる。
- ・ 1題材あたりの教材曲が少ないように思う。ばらつきが見られる。

- ・ 題材によって楽曲数が違うと、どう困るのか。
- ・ 題材によって楽曲数が違うと、指導計画を立てにくい。若手の先生方は受け入れづらいかもしれない。
- ・ この内容は、分量という観点では適切ではないのでは。「使用上の便宜」にもっていつてはどうか。

全員（合意）

- ・ 「音楽ランド」の楽曲の豊富さについては、「内容に関する配慮事項」に移動させて良いか。

全員（合意）

- ・ では、次に「使用上の便宜」について見ていく。楽譜の見やすさはどうか。
- ・ どちらの会社も共通している。歌詞の見やすさも同様である。

全員（合意）

- ・ 「目次の書き方が教師向け」という意見についてはどう思われるか。
- ・ 何をするのか、児童にはわかりづらいのではないかと思った。

全員（合意）

- ・ QRコードから音源データがダウンロードできない、と書かれた内容についてはいかがか。
- ・ ダウンロードできる方がとよいと思ったので書いた。
- ・ ダウンロードすることは、著作権上難しいのではないか。

全員（合意）

- ・ では、音源の件については削除するという方針でよろしいか。また、ワークシートは残す、ということではいかがか。

全員（合意）

- ・ 「児童に音名を記載させるのであれば楽譜が小さく・・・」という記述については、どのようなことか。

- ・ 五線譜の間が狭く、子どもが書き込みづらいと思う。

全員（合意）

- ・ 折込みのページの使いづらさについて書かれた意見が数点出ている。
- ・ 自分のクラスの子どもを思い浮かべると、机上の整理が難しい。
- ・ 「こいのぼり」も同じ。折込ページだけ破れて、紛失する子どもが出てきそうである。

全員（合意）

- ・ それでは、「印刷・製本」に移る。紙のざらつきについての記載があるが、いかがか
- ・ 鍵盤ハーモニカの黒鍵の部分がざらざらしていたので書いた。意図的かもしれないと思った。
- ・ インクの乗り方によって違うのではないか。

全員（合意）

- ・ 鍵盤ハーモニカの写真は、忘れた子でも練習しやすいようになっている。大ききや、インクのざ

らつきも、子どもへの支援になるのではないか。

- ・ それでは、鍵盤ハーモニカの部分は「使用上の便宜」に入れてはどうか。

全員（合意）

- ・ それでは、「教科ごとの選定の観点」に移る。「即興表現をする活動が多いが…」という部分についてはどうか。
- ・ 音楽づくりについて、専科でない先生にとっては、授業づくりのヒントが少ないように感じる。
- ・ 前の教材の学習をもとに音楽づくりに入る題材配列になっているが、何時間ずつ指導すればよいか、など、専門性の高くない教員にとっては指導計画を立てることが難しいのではないか。

全員（合意）

- ・ 長い間親しまれてきた唱歌が比較的少ないことについてはどう思うか。
- ・ 新曲が多く、なじみが少ないように感じる。

全員（合意）

- ・ 巻末のリコーダーの運指表の記載については、この項目でよいか。
- ・ 「内容に関する配慮事項」の部分ではないか。
- ・ それでは、「内容に関する配慮事項」の項目に移動するがよろしいか。

全員（合意）

- ・ 「とんび」のリズムが原曲通りであることについては、なぜ該当学年の発達段階にそぐわないと考えたのか。
- ・ この学年で教えない複付点のリズムを教えることが、音楽を専門的に学んでいない教員にとっては難しいと考える。
- ・ リズムに注視してしまうと、選定の観点6の、「思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けるため」という観点からは、ふさわしいと言えないと思う。

全員(合意)

- ・ 目次について、「1つの題材に対して1曲としてあること」については、良い点と言えるのかについて確認したい。
- ・ 観点5で見たら、課題になるのではないかと思う。
- ・ 観点2については、一つの良い点、観点5については良くない点を一点あげた。
- ・ 木管楽器・金管楽器の紹介についての記載は、どの観点で書かれたものか。
- ・ 紹介がわかりやすいと思ったため書いたが、「教科ごとの選定の観点」に書くことではなかったかもしれない。
- ・ わかりやすい表現にするために、文言を修正した方がよいのではないか。
- ・ 楽器ごとの音源を聴ける、という点はよい。

（QRコードから各自音源を聴いたり、良い点を話し合う）

- ・ では、「使用上の便宜」に移動させ、「楽器の音色の違いを比較しやすい」という文言に変更してはどうか。

全員(合意)

- ・ これで教育出版については内容の確認を終了する。昼食後に教育芸術社の内容を加筆修正

して、比較するところまでです。(12:20)

(12:20~13:20の昼食休憩)

- ・ それでは、教育芸術社の内容検討を始める。教育出版と同様、「各教科共通の選定の観点」に沿って、見ていく。では、初めに「内容の範囲及び程度」についてである。「教科書を教える指導」でもできるとある点についてはいかがか。
- ・ 内容的に、「教科ごとの選定の観点」に書いた方がいいかもしれない。
- ・ 指導のヒントが掲載されているため、「教科書を教える指導」という表現にした。
- ・ 「学習の」ヒントではないのか。
- ・ 記載されている言葉は、指導者にとっても子どもにとってもヒントであることには変わりないと思う。
- ・ それでは、「ガイド」という表現を使ってはどうか。

全員(合意)

- ・ 「発想ができない児童への支援」という点についてはどう思われるか。
- ・ 発想が「苦手な」という表現がよいと思う。

全員(合意)

- ・ 特にどの部分が、発想の手がかりとなっているのか。部員：音楽づくりの題材である。挿絵の内容が子ども同士の会話となっており、学習を進める上で参考となる。

全員(同意)

- ・ 「学習マップが見にくい」という点についてはどう思われるか。
- ・ 配色もあまり・・・児童にとって、見やすいと言えないのではないか。
- ・ 学習内容が領域別に示されている点はよいと思う。

全員(同意)

- ・ 初めに歌唱教材が多い、という点についてはいかがか。
- ・ リコーダーが出てくる時期が遅い。歌の時期が続きすぎるように感じる。
- ・ 教育出版については、歌の次はボディパーカッションなど、バランスがよい。
- ・ 教科書通りの進み方でいくと、リコーダーの学習に入るタイミングが遅くなる。
- ・ 教育芸術社の傾向として、歌が最初に配置されていることが多いように感じる。
- ・ 4年生の教科書ではやや早い感じもある。
- ・ 特にどの学年について、ということがあるか。
- ・ 高学年で、その傾向があるのではないか。
- ・ では、そのように記載する。

全員(合意)

- ・ 次に、「1つの曲の中で、どのような活動を仕組んでいけばよいのかが明確である」という点については、どのようになっているか。
- ・ 全ての題材に、活動の流れやまとめが明記されているので、どのような活動を仕組めばよい

かが明確になっているため、評価しやすい。

全員（合意）

- ・ ボイスアンサンブルについての記載があるが、これについてはいかがか。
- ・ 教育出版はボイスアンサンブルの教材がなかった。
- ・ 同様の箇所は、教育出版は「循環コード」の創作だった。
- ・ 循環コードは、北九州市の子どもには難しいのではないか。
- ・ 教員の指導力の点から見ても難しいように思う。
- ・ ボイスアンサンブルであれば、楽器等の準備が必要ないため、気軽に取り組めると思う。
- ・ 創作に取り組みやすいようにするためには、ボイスアンサンブルがあるのがよい点であると思う。
- ・ では、この点については記載する。

全員（合意）

- ・ 次は「内容に関する配慮事項」について確認する。「歌詞に合ったイラストの掲載」については、どのような部分が具体例として挙げられるか。
- ・ 4年生の「ごんぎつね」では、歌詞の内容に合わせたイラストが掲載されている。子どもがイメージしやすいと思う。

全員（合意）

- ・ 「系統性が明確である」という点についてはいかがか。
- ・ 既習内容がある部分については、そのページ内に既習内容を示しているため、子どもたち自身が既習内容を振り返りながら学習できるようになっている。

全員（合意）

- ・ 「知的理解だけでなく、体験的活動を重視している」という点についてはいかがか。
- ・ 体験して、実感できる。ということを書いたかった。2拍子や3拍子を、体を動かしながら体験することを言いたい。
- ・ では、そのような内容を入れた文言に修正する。

全員（合意）

- ・ 「専門的指導ができない教員でも指導しやすい」という点についてはいかがか。
- ・ これが教育芸術社のよさだと思う。誰でも指導しやすいようにヒントや題材が配列されている。

全員（合意）

- ・ 「音程感覚を養うための視覚的な工夫」についてはいかがか。
- ・ 1年生は45ページの部分である。ドレミ…が風船で記載されている。
- ・ 視覚的に高さの関係を感じ取りやすい工夫だと思う。

全員（合意）

- ・ 「それぞれのページに音楽を形づくっている要素が示されている」という点についてはいかがか。

- ・ 教育芸術社の方は、すべての曲についている。
- ・ 歌唱共通教材にもついているのが、教育出版とちがうところだと思う。
(両方の教科書を見比べた後)

全員(合意)

- ・ 「音楽活動の内容が、どの教材でも同じように書かれている」という内容についてはいかがか。
- ・ 全ての題材が、「見つける→考える→歌う」の配置になっているため、活動の流れがつかみやすいのでは。
- ・ 全学年で同様になっているので、学習の流れを子どもたちがつかみやすいと思う。
- ・ 専門的指導ができない教師でも、指導計画を立てやすいし、指導しやすいと思う。

全員(合意)

- ・ 「リコーダーの音階譜が併記されている」という点についてはいかがか。
- ・ 教育出版にはなかったものである。
- ・ 指番号についてはいかがか。
- ・ 指番号も教育出版にはなかった。
- ・ このような記載があることは、子どもにとっても指導者にとっても、学習の進めやすさにつながっていると思う。

全員(同意)

- ・ 歌唱共通教材の強弱記号については、どのようになっているか。
- ・ すべての楽曲に入っているわけではない。
- ・ 「こいのぼり」はあるが、「もみじ」にはない。「とんび」は意図的に消しているのでは。
- ・ 「雪げしき」は入れすぎなほどだが。
- ・ 先ほどの教育出版の時にも感じたが、歌唱共通教材にも音楽を形づくっている要素を示すことが、子どもの思考・判断の根拠となると思う。どの教材であれ、音楽を形づくっている要素が示されていることで、根拠をもとに考える、という子どもの思考を深めることにつながると思う。

全員(同意)

- ・ 「分量」についてはどうか。
- ・ 分量そのものは適切だと思う。

全員(同意)

- ・ 学習内容がもりだくさん、と感じる部分はあるのか。
- ・ 4年生の曲数が多いように感じる。
- ・ 基本的には、どの題材も歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞を含んで3～4曲程度にそろっている。そのため、指導計画を立てやすいと思う。

全員(同意)

- ・ では、「使用上の便宜」について確認する。「学習マップ」についてはどうか。
- ・ どんな活動かわかりやすく示されている。領域ごとに色分けされているため、子どもにもわか

りやすいと思う。

全員(合意)

- ・「題材末のふりかえり」についてはどのように考えるか。
- ・子どもが言葉を選択できるようにしてある、等の工夫配慮が見られないため、ふりかえりが限定的になることが予想される。
- ・まとめが長い文章で明記されているため、子どもがこれを見てまとめてしまうと、評価に生かしづらいと思う。

全員(合意)

(15分休憩:各自 QR コードの音源やワークシートの工夫を確認している)

15:00~

- ・ それでは、最後に「教科ごとの選定の観点」について、見ていく。子どもが音楽的な見方・考え方を使って学びを深める、という観点から見て、振り返りのページの内容や構成はいかがか。
- ・ イラストは、学習時の教材に出てくるものなので、適切。
- ・ 学習時の内容が想起されるような記載になっているため、年度末にも振り返りを行いやすいと思う。

全員(合意)

- ・ リコーダーの指導についてはいかがか。
- ・ 内容がスモールステップになっており、北九州市の児童の実態に即している。

全員(合意)

- ・ 他に、挙げておくべき点はあるか。
(以下、全員合意となった内容)
- ・ 思考・判断のよりどころである、音楽を形づくっている要素が、各題材に右側に配置されていて、子どもも指導者もポイントを押さえやすいと思う。
- ・ 音楽づくりの題材では、QR コードを読み込むと、タブレット上で音を出しながら創作活動に取り組むことができる。子どもが主体的に取り組むことができる。
- ・ 教育芸術社は、地域の音楽に関わる題材が必ず配置されている。我が国や郷土の音楽に関わる指導を計画的に行うことができる。

- ・ では、今出た内容を、「教科ごとの選定の観点」に記載することにする。

全員(合意)

16:30~

印刷・確認

16:50~17:00

鑑文に押印・片付け

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会(図画工作)

議事録

【令和5年6月 2日(金) 教育センター304室】

- 14:30～ 全体会(部長挨拶、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 15:00～ 見本本観覧
- 15:30～ 部長挨拶(15:30から参加)
- 15:35～ 見本本観覧
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月19日(月) 教育センター304室】

- 9:00～ 部長あいさつ、時程確認等
- 9:10～ 協議 司会:寺田 調査報告書への入力:愛甲 議事録:鋪田
調査研究についての意見を伺う。
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 協議の内容のまとめ(共通の観点と教科の観点的整合性)
- 16:00～ 調査研究報告書の加筆・修正

1 各教科共通の選定の観点

(1)内容の範囲及び程度について

- ・ 両者とも系統的にしていますが、学年ごとの違いがあるように感じます。
- ・ 開隆堂は、各学年の児童の発達や目標に応じて系統的に編成されていて、適切だと思います。
- ・ 開隆堂は、幼児期とのつながりという視点が明確で、低学年が楽しく活動できるような題材設定がされていると思いますが、どうですか。
- ・ 確かに、児童の主体的な活動が展開できるように構成されていると思います。

◇ 全員 (合意)

- ・ 日本文教はどうですか。
- ・ 本市の児童の実態に応じて系統的に編成されていて、適切ではないでしょうか。
- ・ 学年によっては発展的な作品例の掲載も見受けられるため、本市の児童にとっては、それぞれの児童の実態に応じた学習ができると思います。

◇ 全員 (合意)

(2)内容に関する配慮事項

- ・ 開隆堂の低学年は、初めて絵の具を使うような子どもへの配慮があります。特に1年生は間口が広く、楽しむ感じが伝わってきます。
- ・ 発達の段階に応じた配慮が適切にされていますね。
- ・ 幼児期や中学校への接続ページが設定されていて、キャリア教育へも対応しています。
- ・ 他教科と関連付けた学習が示されていますね。
- ・ 他教科の単元で扱うマイコンボード等のICTを活用した教科横断的な題材も設定されています。
- ・ 開隆堂は「電子ブロックをつかって」でICTを取り扱っていますね。
- ・ 図画工作では、プログラミング的思考が入ればよいので、開隆堂の「表してみよう」が丁度よ

いのではないのでしょうか。

- ・ 開隆堂は、ICTの活用内容が難しすぎず、使い方の例も示されていて、本市の児童が無理なく取り組むことができる内容になっていると感じます。

◇ 全員（合意）

- ・ 日本文教はどうですか。
- ・ 3観点について、各題材の目標が明確に示されているため、本市の児童の資質・能力の育成が実現できると思います。
- ・ 両者ともに、学びが自分たちだけで完結するのではなく、つながりの視点がありますね。
- ・ 日本文教は、生活との関わりを感じられる題材があり、児童が自分の活動と地域が繋がっていることを意識できるようにしていますね。

◇ 全員（合意）

(3)分量

- ・ 両者ともに、各学年の題材数、教科用図書分量(ページ数)は、児童の発達段階に準じ切なものになっています。

◇ 全員（合意）

(4)使用上の便宜

- ・ 開隆堂は、先が見通せるように、同じ構成になっていますね。
- ・ 巻頭に、1年間の活動内容を見通すことができるようにされています。
- ・ 確かに。すべての学年において、巻頭に「もくじ」が掲載されています。内容と目標が観点別に構成されているため、本市の児童が見通しをもって活動することができますね。
- ・ 開隆堂は、巻頭に「みつけたよ」など、プロのアーティストの記載があります。
- ・ 表紙にある各学年の題名にちなんだ内容について芸術家の言葉などと合わせて取り上げられていますね。
- ・ 「合わせて学ぼう」では、他教科との横断的な学びが意識付けされています。
- ・ 二次元コードを用いて、導入の動画「はじめに」、参考作品、鑑賞カードなどが系統的に提示されています。また、用具の使い方を動画で紹介しています。
- ・ 動画や写真で学習内容や道具の使い方などを参照できるため、本市の児童が興味をもって学習活動に取り組むことができると感じます。
- ・ 参考作品を360度回転させながら見ることもできますね。
- ・ 二次元コードを使った「アイデアシート」「かんしょうカード」「ふりかえりシート」をダウンロードして活用できるため、本市の児童が発想や構想を広げたり学習を振り返ったりと、主体的・対話的で深い学びにつなげることができるのではないのでしょうか。

◇ 全員（合意）

- ・ 日本文教はどうですか。
- ・ めあては記載されていますが、説明文が長く感じます。
- ・ そうですね。文字も小さいため、児童が読みにくいのではないのでしょうか。
- ・ そう思います。
- ・ ICTに関してはどうですか。
- ・ 日本文教においても、作品を拡大縮小したり、用具の使い方について動画で紹介したりして

いるため、児童が確認しながら学習を進められるような配慮がありますね。

- ・ 図工の時間の準備として、図工体操を取り上げていますね。新しいアプローチとして紹介されているようです。
- ・ 日本文教は、苦手な児童に配慮して朗読や音声、体操など載せていますが、情報が多すぎではないかと感じます。指導書に記載するとよいのでは。
- ・ 確かに。題材によっては、本市の児童にとって、二次元コードの情報が多すぎると思われます。

◇ 全員（合意）

- ・ 安全指導は適切ですか。
- ・ 両者ともに用具の使い方について動画で紹介し、安全な使い方をイラストで示すなど、安全指導への配慮がありますね。
- ・ 開隆堂は、題材のページと巻末の両方に記載されているため、児童が安全な道具の使い方について、より意識できるのではないかと感じます。

◇ 全員（合意）

(5)印刷・製本等

- ・ 両者とも、ユニバーサルデザインフォントを使用して、見やすい紙面になっています。
- ・ 「風神雷神図屏風」で比べると、日本文教と開隆堂では明るさが違うようです。
- ・ 開隆堂の方が色を抑えて目に優しいと感じます。
- ・ 開隆堂は、児童の発達の段階に応じて、低学年と中・高学年のくくりの中で字体に差がつけられていて、全体的に柔らかい印象があります。
- ・ 日本文教はどうですか。
- ・ 全て同じ字体が使われていて、やや紙面の印象が固い印象があります。

◇ 全員（合意）

2 教科ごとの選定の観点

(1)開隆堂出版について

- ・ 「つながる造形」「みんなのギャラリー」が特設されています。
- ・ 児童が造形的な見方・考え方を働かせて、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることができる内容になっていますね。
- ・ 3観点についてはどうですか。
- ・ キャラクターを使って、分かりやすく提示されていますね。言葉に色を付けたり、下線を付けたりという工夫があり、特にこの題材で大切にしている部分が強調されている。
- ・ 題材ごとに大切にしている部分が強調されているため、本市で育てたい児童の資質・能力を明確にできるのではないのでしょうか。

◇ 全員（合意）

- ・ 開隆堂は、作品以上に子どもたちの写真がいきいきしている感じを受けます。
- ・ 写真に、児童の生き生きとした表情が多く掲載されていて、児童の興味関心を高め、意欲的な活動につなげることがねらわれていると感じます。

◇ 全員（合意）

- ・ SDGsについてはどうですか。
- ・ 開隆堂は、環境だけではなく地域や人、世界とつながるなど幅広く取り上げられているようで

す。

- ・ 5・6年上「地球まるごとたからばこ」などで、自然とともに生きることや世界・社会とつながることなどについて価値付けされていますね。
- ・ ストローがプラスチック製から紙製になるなど、材料への配慮も感じます。
- ・ 造形遊びで使った材料を次の工作の材料になるような配列の工夫もありますね。

◇ 全員（合意）

- ・ 5・6年下「ためして刷って広がる思い」では、スチレン版画に限定した活動にすることで、児童にとって表現の見通しをもちやすい内容となっています。
- ・ 3・4年下の木版画では、初めて彫刻刀をもつ児童の発達の段階に合った作品例が示されています。
- ・ 粘土の題材では、各学年の発達の段階に応じ、段階を追って、具体的なものから抽象的なものに移行していく内容になっています。技能的にも、系統的に編成されています。

◇ 全員（合意）

- ・ 鑑賞の題材はどうか。
- ・ 鑑賞の題材で、二次元コードを用いて提示される作品は鑑賞対象の作品ではなく、そこから発展的な活動で表された児童の作品のようです。
- ・ 鑑賞対象の作品を端末で拡大してみることはできないため、表現や鑑賞の深まりという点では、やや使いづらい面があると感じます。

◇ 全員（合意）

(1) 日本文教出版について

- ・ どのように学習を進めたらよいか分かりやすく提示されています。
- ・ 若年の先生が多いことを考えると、より若い先生を意識した構成になっていますね。最後(裏表紙)の言葉では、子どもへのメッセージとともに、先生へのメッセージになっています。教師がもつべき視点について気付かされるような裏表紙になっていますね。

◇ 全員（合意）

- ・ SDGsについてはどうですか。
- ・ 3・4年下「資源を大切に作る心を育てる」のページで限られた資源を大切に使うことを価値づけています。
- ・ 6学年全体で、プラ材使用を70%削減しています。片付けに関しても、ページに掲載することで、児童が繰り返し材料を使うことを意識できると思われます。

◇ 全員（合意）

- ・ 3・4年下では、光を使った題材について、鑑賞から入り作品化するところまでを意識させる内容になっていますね。
- ・ 児童の発達や目標に応じて系統的に編成されていると感じます。
- ・ 材料や大きさなどが様々な作品の紹介や、体育館などの教室以外の場所での活動が掲載されているため、表現の幅が広がり、児童の意欲がわく工夫がされています。

◇ 全員（合意）

- ・ 5年生でプロジェクションマッピングをやってみようは、ハードルが高いように感じます。
- ・ 5・6年上「光と場所のハーモニー」や「ICTでチャレンジ」を見ると、プログラミングを使った表現が紹介されているなど、ICT活用が重視されているように感じます。

◇ 全員（合意）

- ・ 日本文教は、技能面が丁寧で具体的ですね。のこぎりの切り始めのポイントなどが指導しやすいと感じます。
- ・ のこぎりの使い方については、児童がポイントを押しえやすいように擬音語を使って表現するなどの工夫がされています。
- ・ クランプと万力を並べて紹介するなど、用途に応じてどのような用具を活用すればよいかを捉えやすい内容になっています。その他の用具についても、説明が分かりやすいと感じます。

◇ 全員（合意）

- ・ 5・6年に「思い出そう表し方の工夫」のコーナーを設定し、児童が既習の表現を想起できるようになっていますね。
- ・ 各学年に「図工の見方」というページが設定され、色や形に目を向けて味わうことができるようになっています。学年に応じて、見るときの視点を系統立てて提示しています。
- ・ 「広がる図工」を特設しているが、題材の途中に出てくるので、本市の児童には、やや扱いにくさを感じられますが、どうでしょうか。
- ・ 確かに。巻末にまとめるなどの方が扱いやすくなりますね。

◇ 全員（合意）

- ・ 釘打ちの題材では、立体に表す活動を個人で行うことで、釘打ちに慣れ親しみながら技能を身に付けられるよう配慮されています
- ・ しかし、本市児童の発達の段階を考えると、活動の意欲に個人差が出る可能性があると思われますが、いかがですか。

◇ 全員（合意）

- ・ 3・4年下の木版画の題材では、初めて取り扱う彫刻刀で面彫りを多用している作品も紹介されていますね。
- ・ ただ、本市の児童の実態を考えると、取扱いが難しく時間もかかるため、ゆとりをもって活動することが困難になることが予想されます。

◇ 全員（合意）

16:30～ 調査研究法報告書の最終確認

- ・ 協議内容を発行者別にまとめたものを確認していきたいと思います。訂正があれば発言してください。
- ・ 開隆堂出版について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「教科ごとの選定の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、開隆堂出版についてはこれで確定します。

全員（合意）

・日本文教出版について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「教科ごとの選定の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、日本文教出版についてはこれで確定します。

全員（合意）

・以上で記載内容の確認を終わります。

16:45～ 部長確認
署名・捺印

16:55～ 片付け・教科書・配布物等回収

17:00 解散

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究部会（家庭）

議 事 録

専門調査研究部会(小学校 家庭)議事録

記録者(渡辺)

【令和5年6月 2日(金) 教育センター202室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター211室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 調査研究・討議
 - ・各自報告書への入力
 - ・各社の「教科共通の選定の観点」と「教科ごとの選定の観点」をまとめる
 - ・各社、記録した内容を読み上げ、全員で確認する。
 - ・加筆・修正

協議〈観点別〉 司会(白井) 記録(渡辺)

<東京書籍>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

- ・ 目標達成を目指すために学習の流れが、全ての題材の初めに「1・2・3ステップ」で示されていて、繰り返されているので達成を目指しやすいです。
 - ・ 児童の発達段階を考慮していて、題材最初の導入写真が、児童の学習意欲を高められるものになっています。
 - ・ 「いつも確かめよう」の資料3「身支度の仕方」の写真については安全、衛生を十分に満たしていますね。
- 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はどうですか。

- ・ 各教科との関連を表紙の裏面にわかりやすく示されています。
 - ・ 全体的に学習課題やねらいがぶれないように明確に把握させるための発問が工夫されています。
 - ・ 「成長の記録」が見開き1ページになっています。書き込み式だから、自分がどんなことを書いているか振り返れるようになっています。
 - ・ 開隆堂はこんな風に見開きで記入するところありますか？
 - ・ ないです。
 - ・ 確かに東京書籍の「成長の記録」なら一目でわかるし自分の成長がわかるかも。
 - ・ 題材のおわりに見開きのページにとぶようにページが示されているから記入忘れがなさそう。
- 全員(合意)
- ・ アレルギーに対する安全・衛生面での配慮があります。
 - ・ アレルギーをもっている子は増えてきているからこういう記述は大事。

- ・「整理・整とん」「掃除の仕方」など、同一題材でまとめて指導することで、児童の思考が途切れないようにする工夫があります。
- ・開隆堂より作品例が魅力的です。児童が「作りたい」という気持ちになって、関心意欲を高めてくれそう。
- ・開隆堂は絵のタッチが懐かしい感じがするというか・・・温もりのようなものはあるけど・・・。
- ・それが今の子たちに合っているかという点と難しいですね。
- ・包丁の持ち方とかは、右利き左利きどちらも写真があるから指導しやすいです。
- ・写真だけじゃなくて動画もあるから、個に応じた指導がしやすそう。裁縫の玉止めとか玉結びはできない子が多いから動画があると助かりますね。
- ・「旬」や「色どり」「地産地消」などの説明が大きく取り上げられていますよ。
- ・「青菜の茎がしんなりしたら」って手順に書いているけど、茎のしんなりした状態は分かりにくいのでは。
- ・確かに「しんなり」捉え方は人によって違うかもしれませんね。
- 全員(合意)
- ・問題発見を促す問いかけが焦点化されているから教師としては指導しやすいけど、子どもたちが自ら課題を発見させるという意味では子どもが考えなくて済んでしまう可能性かなと思います。
- 全員(合意)

1(3):分量についてはどうですか。

- ・さっきも言っていたけど、題材を組み合わせるなどして、コンパクトな題材構成になっていませんか。
- ・その分1ページあたりの内容量が多いような気が・・・。
- 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうですか。

- ・内容の部分と重なりますが、ガイダンスで目次と一緒に見開きで確認できているので分かりやすいです。
- ・いつ、何を学習するのか先生も見通しがもてそうですね。
- ・安全・衛生など、教科書のはじめの方に家庭科を学ぶ上でのポイントが載っているから実習の直前とかに活用できそうです。
- ・何度も繰り返して試しているうちに自然の頭に入りそう。学習が深まりやすいかも。
- ・ICTについてはどうですか。
- ・ICTや防災、環境などの配慮事項があちらこちらに載っていますね。
- ・これなら自分の家との違いに気付いたり、発見したりしやすそうですね。
- ・学習が深まるように、有効になるよう配慮されています。
- ・デジタルコンテンツが多いから、子どもたちがわからない時とかにすぐに見ることができそう。
- ・何回も見たら学習が深まるかもしれませんね。
- ・発展的な項目の記載が多くないですか。
- ・でも、「発展マーク」の説明で、児童が学習しなくてもよい内容であると明示されているので、先生も全部教えなきゃ、触れてなきゃっていう負担や混乱をしなくていいように配慮がされているから安心します。
- 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうですか。

- ・ 資料ページの写真や挿絵がきれいです。
 - ・ 安全面の注意などは紙面にゆとりがあって、色使いがよいので目立ちやすいです。
 - ・ でも、全体的にバラバラと色がついているので、学習の流れのまとまりが掴みにくいです。
 - ・ 調理手順の写真のページをみてもらっていいですか。「沸騰」の様子が分かりやすいですよ。
 - ・ 青菜をゆでた後のゆで汁の色が無色透明で不自然じゃないですか。
 - ・ 確かにゆでた後なのでゆで汁は緑色ですよ。
 - ・ 一連の流れで撮影しているわけではなく、別撮りしたものだということが明らかにわかります。
 - ・ ではこれらの点について表記します。
- 全員(合意)

2:教科ごとの選定の観点についてはどうですか。

- ・ 学習の進め方が3つのステップで表示されており、「評価・改善」から新しい課題の発見につながるイメージをもちやすいですね。
 - ・ 題材の終わりに「成長の記録」に戻れるようP6・P7へのリンクをさせていることで、児童が自分の学びを振り返りやすくされています。
 - ・ 新しい課題を家庭で実践しようという意欲につながると思います。
 - ・ 「生活を変えるチャンス」(生活の課題と実践)を大きく取り上げることで、「家庭での実践」につなげる意識を高めることもできます。
 - ・ 地下(根菜類)と地上(葉物)の野菜の育つ場所による違いがやや分かりにくくないですか。
 - ・ 本当ですね。開隆堂の方は育つ場所の違いがわかるようにイラストで示されています。
 - ・ 防災の視点に「地震が起こった時」があるのがいいですね。
 - ・ 裁縫の1本どり、2本どりの仕方や、説明が分かりやすいです。
 - ・ 5年生のまとめがガイダンスと対応しているので学びが深まりやすい。
 - ・ 巻末資料にリンクをさせることで、写真等を活用して確認しやすい。
- 全員(合意)

<開隆堂>

1(1):内容の範囲及び程度についてはどうですか。

- ・ 持続可能な社会、SDGsの視点が巻頭に明示され、関連ページを示しているので分かりやすいです。
- ・ 目次が見開きになっているので分かりやすいです。
- ・ ソーイングの課題を最初のページに載せているのがいいですね。
- ・ 東京書籍と違って整理・整とんと掃除が別の題材になっているため、より詳しく丁寧になっています。
- ・ 確かにそうですね。整理・整とんの学習で、重いものは下に置くなど、より生活に即した防災の視点が明示してあり、学びが深まりやすくなっています。
- ・ SDGs17の目標が題材に割り振られています。でも指定されたページを開いた時に、目標が表示されていないと意識を継続しにくいですね。
- ・ 巻末の「安全と衛生に気を付けて実習しよう」は巻頭、または題材初めに挿入している方が、

指導で押しやすいのでは。

- ・ 全体的に内容や補足が多くて、45分間での授業が難しい気がします。
- ・ 他にありますか。
- ・ では今挙げられた点について表記します。
→ 全員(合意)

1(2):内容に関する配慮事項はどうですか。

- ・ 学習の進め方では、主体的・自発的な学び方を大切に提示の仕方をしてしています。児童が自ら課題発見をしたり学びを深めたりする仕組みになっているので、問題解決的な学習につながりやすくなると思います。
- ・ 材料の量感を捉えやすいですね。
- ・ じゃがいもの取り扱いについて「日光が苦手であること」「保存方法の留意点」を写真付きで明記しています。
- ・ 写真があると分かりやすね。安全・衛生面での配慮がされています。
- ・ 上糸を青、下糸を赤にするなど、ミシンの仕組みが視覚的に捉えやすく、一貫性をもってユニバーサルデザインを意識しています。
- ・ 「旬」や「色どり」などの説明が、ステップ3(生かす・深める)に出ています。
- ・ 今後の実生活で起こりそうな問題について提示があります。児童がより自分事として捉え、問題解決できるように配慮されていませんか。
→ 全員(合意)
- ・ 作品例が実寸大の写真で分かりやすく、児童がイメージをもちやすく作りたくなるような工夫や配慮がされています。
- ・ 裁縫の糸を引っ張るときの手と針の向きの写真は示されているけど、安全への配慮が不足していて明確に伝わりにくいと思います。
→ 全員(合意)

1(3):分量についてどうですか。

- ・ 1ページあたりに記載する事項が多く、資料集のように分量が多い。
 - ・ 題材途中から次の課題として「考えよう」が出ていて内容がやや多すぎる。
 - ・ これらの点を表記しますがいいですか。
- 全員(合意)

1(4):使用上の便宜はどうですか。

- ・ 包丁の渡し方など題材に必要な技能や、安全面に対する配慮事項が、そのページに示されているので指導に生かしやすいです。
- ・ 児童が考えて書き込みができる枠があり、指導しやすいと思います。
- ・ 発展的な項目について、「発展マーク」で児童が一律に学習するものではないと明示しているので、指導者が混乱しない配慮がされていますね。
- ・ デジタルコンテンツが多いですね。触って動かす動作コンテンツが、学習活動の各要所に細かくあり、直接確認しやすくなっています。
- ・ 全ページに「豆知識」が掲載されており、「なぜ実なのか」「なぜ、米を研ぐのか」「ほつれるとは」など、児童の興味関心が広がりやすい工夫がされています。
- ・ 題材の数の多さを感じさせない紙面上の見やすさ、題材で使用する色の一貫性・構成の丁

寧さがあります。

- ・ 巻末にある「用語」と「資料」の索引が載っています。
 - ・ 一覧になっていて便利ですね。
- 全員(合意)

1(5):印刷・製本等についてはどうですか。

- ・ レイアウトや配色が見やすいので、実習の流れが分かりやすいです。
 - ・ 食品分類表が見やすく、製本の仕方の工夫がされています。
 - ・ ページによって人物のイラストのタッチが違いますよ。
 - ・ いくつかの業者に描いてもらっているようです。統一感が感じられない。
- 全員(合意)
- ・ 再生紙なのか肌触りがザラザラしており、感覚過剰等の児童が集中できない可能性がある。
- 全員(合意)

2:教科ごとの選定の観点についてはどうですか。

- ・ 青菜のおひたしは根元を切りすぎないように写真と言葉で丁寧に説明しており、環境の視点に十分に留意しています。
 - ・ 地下(根菜類)と地上(葉物)の野菜の育つ場所による違いが分かるようになっている。
 - ・ これは東京書籍にはない配慮でしたね。
 - ・ 玉結び・玉止めを用いた作品例が多くて、児童の作りたいと意欲がわきますね。
 - ・ 生活の課題と実践の具体例が多く、児童の実践意欲が高まりやすくなるように工夫されています。
 - ・ 生活の中のプログラミングの紹介がされています。
 - ・ 裏表紙に切り方と大きさの目安に物差しが目盛りがあるのはよい。
 - ・ 子どもたちの参考になりますね。
 - ・ 各題材の学習のめあてが具体的に3ステップ・4観点で示されている。
 - ・ 各ステップのアイコンがステップアップしたものになっていて自分がどの段階にいるのかがわかりやすい。
 - ・ これらの点を表記していいですか。
- 全員(合意)

・ 協議内容を発行者別にまとめたものを確認していきたいと思います。訂正があれば発言してください。

- ・ はじめに東京書籍について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「3 分量」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員 (合意)

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「教科ごとの選定の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・ では、東京書籍についてはこれで確定します。

全員（合意）

・ 次に開隆堂について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「教科ごとの選定の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・ 開隆堂についてはこれで確定します。

全員（合意）

・ 以上で記載内容の確認を終わります。

16:45～ 部長確認
署名・捺印

16:55～ 片付け・教科書・配布物等回収

17:00 解散

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究部会（保健）

議事録

専門調査研究部会(小学校 保健)議事録

記録者(竹治)

【令和5年6月 2日(金) 教育センター208室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター210室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 調査研究・討議
 - ・各自報告書への入力
 - ・各社の「教科共通の選定の観点」と「教科ごとの選定の観点」をまとめる
 - ・各社、記録した内容を読み上げ、全員で確認する。
 - ・加筆・修正

協議〈観点別〉 司会(浦橋) 記録(竹治)

<東京書籍>

- ・東京書籍についての発言をお願いします。
- ・内容の範囲及び程度については妥当だと思います。
- ・考えや理由を記述する設問が多いため、児童によっては負担が大きくなるかもしれません。
- ・この点は記載してよいですか。

全員(合意)

- ・内容に関する配慮事項についてはどうですか。
- ・課題提示の前にステップ1「気づく・見つける」があるので、課題意識が高まります。
- ・学習の進め方が4段階のステップで示されており、系統的・発展的な指導ができるように配慮されています。
- ・「スキルマーク」により、日常生活へのつながりが意識されています
- ・SDGsとの関連性を明記しており、児童の興味・関心を生かしやすいです。
- ・記入スペースが多く、教科書のみで学習を進めることができます。
- ・他教科、他学年の関連性が記載されています。
- ・グラフや表の掲載が、やや少ないです。
- ・この点についても表記してよいですか。

全員(合意)

- ・分量についてはいかがですか。
- ・ページ数は適切だと思います。
- ・全体の分量も適切で、内容に偏りなく調和がとれています。
- ・書き込み式が多く、一単位時間の中で書く活動が多いので、児童の負担が大きいと思われる。
- ・一単位時間に取り扱うページ数は多いと思います。
- ・この点は、掲載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはどうですか。
- ・ 章のはじめに学習の進め方が明記されているとともに、他教科との関連が示されています。
- ・ 多様性のあるキャラクターを使用しており、ユニバーサルデザインや配色などにも配慮されています。
- ・ 資料が多く掲載されており、発展的な学習へと活用しやすくなっています。
- ・ 文節改行で文章が読み取りやすくなるよう配慮されています。
- ・ 各学年の学習したことのまとめとなるページがありません。
- ・ 表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 印刷・製本等についてどうですか。
- ・ 大切な言葉・用語が太字で強調されています。
- ・ 印刷が鮮明で、イラストの色も工夫されていて適切です。
- ・ 二次元コードがページの境目に配置されており、読み取りづらさを感じる児童もいると思われます。
- ・ この点は掲載してもよいですか。

全員(合意)

- ・ 教科ごとの選定の観点についてはどうですか。
- ・ ステップ3「深める・伝える」によって意図的に主体的・対話的で深い学びを促すようになっています。
- ・ 身近な生活の例が多く取り上げられており、自身の健康・安全について考え行動する資質や能力を育成することに適している教材です。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」の軽い運動の解消例が一人で行う運動のみで、複数で対話しながらできる体ほぐしの例など、仲間と豊かに関わり合うというねらいに資する運動の例示が見られません。
- ・ 5年「けがの防止」、6年「生活習慣病の予防」では、1単位時間完結型ではなく2単位時間扱いなので、使いづらさを感じます。
- ・ この点については、表記してよいですか。

全員(合意)

<大日本図書>

- ・ 続いて大日本図書について発言をお願いします。
- ・ 内容の範囲及び程度については妥当だと思います。
- ・ 内容に関する配慮事項についてはどうですか。
- ・ SDGs との関連性を明記しており、児童の興味・関心を生かしやすいです。
- ・ 「つかもう」が児童の問いを引き出すような内容となっており、自主的・自発的な学習が促されるように配慮されています。
- ・ 単元ごとに振り返りのページがあり、学習のまとめができます。
- ・ 他教科、他学年の関連性が記載されています。
- ・ この点は記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 分量についてはどうですか。
- ・ ページ数は適切です。
- ・ 1時間の学習の流れが見開きで構成されており、見通しをもって学習しやすいです。
- ・ では、表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはどうですか。
- ・ 健康に関する課題を見付けて、解決する構成になっており、主体的な学びが深まるように工夫されています。
- ・ 学習の構成が「つかもう」「話し合おう」「活かそう」などの流れではっきり示されており、学習を深めやすいです。
- ・ 折り込みカードは、扱いづらさを感じる事が予想されます。
- ・ この点については表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 印刷・製本等についてはどうですか。
- ・ 文字が大きくて見やすいです。
- ・ 一つ一つのイラストが小さいです。
- ・ 大切な言葉・用語が下線、ゴシック等で強調されていません。
- ・ 1ページあたりの紙が厚く、使用上扱いづらさを感じる事が予想されます。
- ・ このことに関して記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 教科ごとの選定の観点についてはどうですか。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」では、解消法として軽い運動を集団で行う例示があり、対話しながら活動できる点はいいと思います。
- ・ 視覚的に学習させたい内容が、「ウェブ」として一つの二次元コードでまとめられており、活用しやすいです。
- ・ 「課題をつかむ」、「話し合う」、「活かす」などの流れが見開きで構成されており、1時間の見通しをもって学習しやすいです。
- ・ 児童がつまづきそうな単語に対して、丁寧な解説、説明がある点がよいです。
- ・ 5年「心の健康」「けがの防止」・6年「病気の予防」での「活かそう」の場面ではイラストがなく、書くことの難しさを感じる児童がいることが予想されます。
- ・ これらの点は掲載してよいですか。

全員(合意)

<大修館書店>

- ・ 続いて大修館書店についての発言をお願いします。
- ・ 内容の範囲及び程度については妥当だと思います。
- ・ 内容に関する配慮事項についてはどうですか。
- ・ 多様性・個性が尊重されるようなイラストが使用されています。
- ・ 単元ごとに振り返りのページがあり、学習のまとめができます。
- ・ 「課題をつかもう」では、身近な生活体験を例に、健康・安全について考えることから始まっており問題解決的な学習を促しやすいです。
- ・ 他教科、他学年との関連性が記載され、系統性や発展性がわかりやすいです。
- ・ 記入スペースが少なく、自分の考えを書いたりまとめたりする手立ての工夫が必要です。
- ・ この点は記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 分量についてはいかがですか。
- ・ ページ数は、5・6年生:73ページ、3・4年生:49ページで適切です。
- ・ 図の挿入が多く、文章の量がやや少ないです。

- ・ どうですか。

全員(合意)

- ・ 使用上の便宜についていかがですか。
- ・ グラフや表(数)がわかりやすく表記されていて、データの比較がしやすいです。
- ・ 単元の最終ページに二次元コードでのまとめクイズが知識・技能の定着を図りやすいです。
- ・ 発展的な内容について取り扱っているページが多いです。
- ・ では、表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 印刷・製本等についてはどうですか。
- ・ 大切な言葉が太字などで強調されています。
- ・ 写真が大きく豊富で、見やすいです。
- ・ 目次が大きく、学習の見通しがもちやすいです。
- ・ フォント(字体・大きさ)が混同していて、読みづらさを感じる児童がいることが予想されます。
- ・ これらの点について表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 教科ごとの選定の観点についてどうですか。
- ・ 学習内容は身近な生活における健康・安全について考えることから始まっており、自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し、判断する力を養う内容となっている教材となっています。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」では、まず対処法を実習することで、その方法や効果を実感し、自己の課題解決に生かすことができるようになっています。
- ・ 6年「禁煙の害」肺の資料だけでなく、歯や血液量の変化の写真もあり、分かりやすいです。
- ・ 6年「病気の予防」新型コロナウイルス感染症についての資料では、コロナウイルスの情報だけでなく、感染症に関する差別をなくすという視点も明記されています。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」では、対処方法については、一人でやる運動のみが提示されており、複数人で対話しながらできる体ほぐしの例など、仲間と豊かに関わり合う運動が見られません。
- ・ 掲載してよいですか。

全員(合意)

<文教社>

- ・ 続いて文教社についての発言をお願いします。
- ・ 内容の範囲及び程度については妥当だと思います。
- ・ 内容に関する配慮事項についてはどうですか。
- ・ 体験・活動・実習の方法や注意点などが、図や写真などで分かりやすく示されています。
- ・ 単元ごとに「わたしの〇〇宣言」のページがあり、学習のまとめと自分の取り組みの設定ができるようになっています。
- ・ 発展的な内容に関する記述が少ない。また、デジタルコンテンツが少ないです。
- ・ これらの点に関して表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 分量についていかがですか。
- ・ 5・6年生は83ページ、3・4年生は37ページあり、5・6年生のページ数が特に多いです。
- ・ 資料の分量が一単位時間分には多いです。
- ・ この点は記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはいかがですか。
- ・ 「mission」「stage」「episode」「もっと考えよう課」等の語句は、児童によっては難しさを感じる事が想定されます。
- ・ 教科書の使い方がはっきり示されていません。
- ・ 書き込み欄が少なく、資料のみのページもあることから、主体的に課題に取り組みにくい面があります。
- ・ これらの点は表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 印刷・製本等についてはいかがですか。
- ・ 色合いは、鮮やかです。
- ・ 文字が大きく、太字で要点が示されている点がよいです。
- ・ 写真(特に大きなサイズ)は、鮮明さに欠けます。
- ・ 記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 教科ごとの選定の観点についてどうですか。
- ・ 4年「体の発育・発達」においては、エクセルを用いて個々の身長伸びを計算できるようになっています。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」の軽い運動での解消例が集団で行うものが掲載されており、対話しながら活動できる例示がよいです。
- ・ 学習指導要領と異なった表記の箇所があります。(学習指導要領→けがの手当、教科書→けがの手当て)。
- ・ 課題設定の場面では、自分の身近な生活から考えさせる展開ではないため、使いづらい面があります。
- ・ 3年「けんこうによい生活かんきょう」で新型コロナウイルスの対策についての記載があるが、内容が現状に則していません。
- ・ これらの点に関して表記してよいですか。

全員(合意)

<光文書院>

- ・ 続いて光文書院についての発言をお願いします。
- ・ 内容の範囲及び程度については妥当だと思います。
- ・ 内容に関する配慮事項についてはいかがですか。
- ・ SDGsについて学びを深める資料が掲載しています。
- ・ グラフや表の数が、豊富です。
- ・ 他教科・他学年との関連を分かりやすく示しており、系統的・発展的な指導ができるよう配慮されています。
- ・ 単元ごとに振り返りのページがあり、学習のまとめができます。
- ・ 書き込み欄が豊富にあり、言語活動の充実について配慮されています。
- ・ 5つのステップで自主的・自発的な学習を促す構成となっています。
- ・ これらの点を記載してもよいですか。

全員(合意)

- ・ 分量についてはどうですか。
- ・ 5・6年生は、65ページ、3・4年生は41ページと、少ないページ数で、内容がまとめられてい

ます。

- ・ 見開きで内容が完結するので、学習の流れがとらえやすいです。
- ・ 表記してもよいですか。

全員(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはどうですか。
- ・ イラスト等がふんだんに使われており、親しみやすいです。
- ・ 章ごとに4コマ漫画が掲載されており、ねらいをつかませやすくなっています。
- ・ 見開きで1時間の学習内容がまとめられており、学習の流れがとらえやすくなっています。
- ・ デジタルコンテンツの二次元コードにアクセス先の情報が明記されていません。
- ・ これらの点に関して表記してもよいですか。

全員(合意)

- ・ 印刷・製本等についてどうですか。
- ・ 文字や挿絵が鮮明で見やすいです。
- ・ 文章や写真等の資料の配置も適切で見やすいです。
- ・ 文字や写真のサイズが小さい部分があります。
- ・ この点は記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 教科ごとの選定の観点についてはどうですか。
- ・ 児童が健康について振り返り、課題を見付けて、その解決に向けて思考できるように構成されている。また、「広げよう、深めよう」では、発展的な内容についても、学習内容と関連して活用できるように配慮されている。
- ・ 3年「けんこうな1日の生活」のイラストなどで、ジェンダーバイアスに配慮がみられます。
- ・ 4年「体の発育と健康」では、「性についての悩み」に相談窓口への二次元コードが具体的に記載されています。また、二次元コードで、補足資料として、性について正しく理解して適切な行動がとれるように、「生命の安全教育」についても記載しています。
- ・ 5年「心の健康」において、「自分と人との距離感」についても記載があるなど、より身近な生活に生かせる内容となっています。
- ・ 6年「病気の予防」の新型コロナウイルス感染症についての資料では、感染症に関する差別をなくすという視点も明記されています。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」では、一人で行う運動の解消例のみで、仲間と豊かに関わら合う「体ほぐし」の運動の例示が教科書には示されていない。二次元コードでの紹介となっています。
- ・ 5年「交通事故の防止」危険な状況を探す挿絵がもう少し大きいとさらに、課題意識をもたせることにつながります。
- ・ これらの点について表記してもよいですか。

全員(合意)

<Gakken>

- ・ 最後にGakkenについての発言をお願いします。
- ・ 内容の範囲及び程度については妥当だと思います。
- ・ 内容に関する配慮事項についてはいかがですか。
- ・ 学習の進め方が3段階のステップでまとめられており、系統的・発展的な指導が充実できるように配慮されています。
- ・ 単元ごとに振り返りのページがあり、学習のまとめができます。

- ・ 記入スペースが適切に配置されているので、考えの変容や学びの成果を自覚することができます。
- ・ 学習の流れが図示されており、学習の流れが分かりやすいです。
- ・ 思考の過程が残る記入スペースがあるので学習の足跡が残り、考えの変容や学びの成果を自覚することができます。
- ・ 他教科との発展が、章の扉部分にしか記載がありません。
- ・ グラフや表の数がもう少しあればよいです。
- ・ これらの点を表記してよいですか。

全員(合意)

- ・ 分量についてどうですか。
- ・ 記入スペースが豊富です。
- ・ ページ数は、5・6年は89ページ、3・4年は49ページで、若干多いです。
- ・ 記載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはどうですか。
- ・ 写真や図のサイズが大きく見やすいです。
- ・ 3・4年の巻末にある安全な生活の仕方についてSNSの正しい使い方について詳しく触れており、実態に応じて活用しやすいです。
- ・ 適宜、具体例や資料が掲載されていて、それらを活用しながら学びを深めることができます。
- ・ イラストや写真等の資料が少なく、詳細が記載されていないため、教師側からの情報提供が必要な箇所があります。
- ・ 印刷・製本等についてはどうですか。
- ・ フォントが統一されており、見やすいです。
- ・ ユニバーサルデザインの配色について、より意識されています。
- ・ 大切な語句を強調している部分が少ないため、用語の理解や定着に向けての配慮が必要です。
- ・ これらの点は掲載してよいですか。

全員(合意)

- ・ 教科ごとの選定の観点はどうですか。
- ・ 「予想しよう」や「チェックしよう」で子どもの興味・関心を高め、学習を深めていくための配慮が行き届いています。
- ・ 3年「1日の生活のしかた」運動、休養、睡眠の内容が充実しており、心身の健康の保持増進につながります。
- ・ 4年「大人に近づく体」で発育の男女差について、イラストで表現しており配慮されています。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」では、自分の不安や悩みを記入する欄に「人に見せる必要はない」など、プライバシーに配慮した記述があります。
- ・ 5年「不安やなやみへの対処」の軽い運動の解消例がペアで行うものがあり、対話しながら活動できる例示がよいです。
- ・ 5年「心と体のつながり」「不安や悩みへの対処」の導入の写真や問いかけは、自分事として課題意識をもつことができるように工夫されています。
- ・ 写真がコロナ対応のマスク姿のものが多く取り入れられています。
- ・ 4年「変化してきたわたしの体」で両親がそろった絵を使用している。家族の形も多様化している中で、配慮が少し必要だと感じます。

12:00～ 昼食・休憩

13:00～ 討議

・修正箇所がないか全員で確認。

・それでは、協議内容を発行者別にまとめたものを確認していきたいと思います。訂正があれば発言してください。

・東京書籍について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「保健の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、東京書籍についてはこれで確定します。

全員（合意）

・大日本図書について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「保健の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、大日本図書についてはこれで確定します。

全員（合意）

・大修館書店について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「保健の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、大修館書店についてはこれで確定します。

全員（合意）

・文教社について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「保健の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、文教社についてはこれで確定します。

全員（合意）

・光文書院について確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「保健の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、光文書院についてはこれで確定します。

全員（合意）

・Gakkenについて確認します。

「1 内容の範囲及び程度」はこれでよいですか。

全員（合意）

「2 内容に関する配慮事項」はこれでよいですか。

全員（合意）

「3 分量」はこれでよいですか。

全員（合意）

「4 使用上の便宜」はこれでよいですか。

全員（合意）

「5 印刷・製本等」はこれでよいですか。

全員（合意）

「保健の観点」はこれでよいですか。

全員（合意）

・では、Gakkenについてはこれで確定します。

全員（合意）

・以上で記載内容の確認を終わります。

16:00～ 最終確認、各自記名・押印

16:45～ 諸連絡、片付け

16:00～16:45 印刷・確認・鑑文に押印

16:45～17:00 片付け

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究部会（外国語）

議 事 録

専門調査研究部会(小学校 外国語)議事録

記録者(高城)

【令和5年6月 2日(金) 教育センター209室】

- 14:30～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:40～ 選定基準の読み合わせ
- 14:50～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月21日(水) 教育センター304室】

- 9:00～ 全体会(部長あいさつ、時程確認等)
- 9:10～ 個別に各社の教科書等について調査研究
- 10:30～ 休憩
- 10:40～ 個別に各社の教科書等について調査研究
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 調査研究に関する討議
 - ・特徴について
 - ・各委員の調査研究結果の共通点・相違点の明確化
 - ・相違点を協議し、部会としての結論を出す。

<東京書籍>

- ・「系統的・発展的な」はよい
- ・言語活動、アワーゴール等が配慮されている
- ・いままでの系統とかわらないということ。
- ・内容項目のところを消して系統的な指導ができているにしては？

全員(合意)

- ・内容に関する配慮事項のところでは、「設定されている」など、言語活動の充実についての配慮がされている。
- ・書くことの領域に重きがおかれている。
- ・書くことをこなすことになりそうな印象。あるから書かなければいけない。
- ・分量については、「書く活動が多い」とまとめていいか。

全員(合意)

- ・辞書が別冊になっており、使いやすい。
- ・2年で1冊なので、なくすと困る。
- ・別冊になっていると5年の既習事項がみられない。
- ・6年生で転入してきたときどうなるのか。
- ・2年分まとまると、6年生になっても5年生の既習内容を探することができる。
- ・一長一端ある。
- ・教科書のサイズがA4で、大きい。
- ・書き写しだけでなく、書き込みが多い。
- ・製本・印刷のところ、2時間で見開き1ページ。
- ・書かなくてよいと思うところも書くようになっている印象。
- ・授業する方からみると、ワークシートを準備しなくてよいことにはなっている。

- ・印刷・製本のところは、どうか？
- ・今、北九州の先生方がする授業にはそぐわない。
- ・●にしてよいか。

全員(合意)

- ・「情報量が多い」はのこしてよいか。
- ・「書き込みが多い」にする。
- ・「話すこと」の活動の印象がうすい。
- ・「話すこと」に行きつくまでに、準備して準備して、インプット、インプット、書いて書いて、最後にアウトプットのような構成となっている。
- ・何も触れられてない、読むことはユニットの最後に出てくるが、順番としては、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の順だと思うが、逆に感じる。
- ・「読むこと」については、言語習得の順序に沿っていない でよいか。

全員(合意)

- ・読むものが短い。
- ・国語で言ったら、「話す」、「聞く」みたいな感じ。
- ・「セリフを読んでみよう」の感じだと思う。
- ・韻を踏んでいる。
- ・読むことの活動がセリフの読み合いみたいな活動になっている。
- ・5年生には、読むことは、ほとんどでてこない。
- ・88ページにやっと読むことができたのではないか。
- ・「聞いてみよう」なのに、「読む」は何を読むのか。
- ・5年生ではアルファベットをねらいとしているのだから、「読むこと」が軽んじられているのではないか。
- ・その他のところについては、「書く」の項目に書いているので、消してよいか。
- ・全員(同意)

13:25～

<開隆堂出版>

- ・単元のゴールのステップが細かく示されている。一方、細かすぎて単元計画を立てるときの変更の妨げになる。
- ・初心者には優しい。
- ・授業のエキスパートにはここまで必要ないが、大半の先生方にとっては、この通りできるのでよい。
- ・どの先生も落とさず、できる。
- ・光村も同じ感じ。
- ・頭の中で構成ができる。
- ・主体性の面や問題解決的かと言われると、難しい。
- ・進め方が書いていない教科書で十分指導ができないのであれば書いていた方がよい。
- ・子どもに重きをおくのか、先生に重きをおくのか。
- ・それは、後々出てくるので、またその時に話し合う。分量とかはどうか。
- ・1ページが1時間。
- ・すごく丁寧である。
- ・最後7.8のところがある。

- ・導入は見開きで、作っている。
- ・評価の観点がすべての活動について書いているので、とても分かりやすい。
- ・アクティビティなど、関連する評価等しやすい。
- ・これはあまり、他の教科書にはない特徴である。
- ・ただし、子どもの教科書にこれを乗せる必要があるのか。
- ・単元の4時目から、評価規準が掲載されている。
- ・毎時間、トライかアクティビティかなど、書いている。
- ・内容が充実している点では、この教科書はとてもよいと思う。
- ・ただ、絵がぼんやりとしてわかりにくいのが残念。
- ・初めのページの印刷が特にうすい。
- ・レッツチェックは、どう使うかが問題。やらせるだけで評価してしまう先生がいることも不安。話すことを意識していない先生は、これだけで評価するのでは？
- ・今の教科書のワークシート集がこのまま、教科書に入っている感じ。
- ・業者テストを買わなくてよい。
- ・印刷しなくてよいのがいいと思う。
- ・ここを思考判断で使おうなど、切り貼りして使っていたが、それをしなくてよいかも。
- ・ストーリーはお話というよりは、誰かのスピーチを読むような感じがする。
- ・私はよい方にとったが、5年生から男女の登場人物が出てくることは、外国語科の学習経験に合わせて少しずつ量が増えているのでよい。二人の会話を読みながら、たくさん勉強した単語がでてくる。ただ、手でなぞって声のでるなどのデジタルの工夫ができるともっとよい。
- ・絵カードがたくさん出てきて、よい。
- ・横に、絵カードがついているので、なんとなく目にはいる。
- ・ただ、デジタル教材は、本当に文字のみ。
- ・教科書はよいが、デジタルのできばえが残念。
- ・チャンツも文字が、今はでていない。
- ・自分も気になったが、これから開発するのか。
- ・他の会社では、文字の大きさも変えられる。子ども一人一人がどう使うかを考えて選ぶ必要があると考えていたが、文字がでるだけだと分かりにくさもある。
- ・フラッシュカード機能があるのはよい。スピードが変えられるなど、光村はデジタルにかなり力を入れている。
- ・指導書は一番よい。
- ・指導と評価がぴったりと合っている。
- ・薄いので、教員が持って帰れる。
- ・これに加筆、修正ができる。
- ・若年向けなのだと思う。それは、外国語科の授業が誰にでもできるということ。
- ・すべてにおいて、目的・場面・状況がはっきりとしている。
- ・「～ために、～をしましょう。」を教員も子どもも意識して活動することができる。
- ・聞く活動に Let's play. 5年の29ページ。予想して、子どもが言いたいことを生まれさせている。単純に何月何日を聞くのではない。
- ・昔からあったかなどを予想したり、先生のことを聞こうとしたりするなど、単純な Let's play ではない、言語活動が繰り返されている。
- ・54, 55, Let's listen のところ、状況が書いてあって、選ばせる。聞くポイントがわかる。そして聞く。動画も役にたつ。Let's watch and think は中学校学力テストの形式。

- ・言語活動がずっと繰り返される感じはする。
 - ・指導と評価の一体化の資料としてもよい。
 - ・A,B,C の評価例が指導書にある。
 - ・中間評価の CT 反応も書かれている。
 - ・授業をよく見て練られている。
 - ・だれがやってもできるということ。
 - ・ただ、絵が可愛くない。
 - ・紙は他社に比べてややうすが、鉛筆でかきやすい紙にしている。
 - ・1 ページの分量は多いが薄いので経費削減をしているのでは。
 - ・「書くこと」については、たくさん話したり、聞いたりしたことが毎時間少しずつでてくる。そして、最後に書けるように作ってある。
 - ・振り返りのところも「～のために～することができた」となっているのがよい。
 - ・気になるのは、分量的に、1ページに4つずつ活動が出てくるところが多い感じもあり、本市の児童にとっては負担となることもあるかもしれない。
- 全員(合意)

13:55～

<三省堂>

- ・三省堂の製本印刷は、どうか。
- ・写真が小さい。
- ・白い部分大きい(空間が広い)が、文字が小さい。
- ・巻末の絵カードの文字も小さい。
- ・巻末付近の文章のカードの使い方がわからない。
- ・過去形の単元が2つあるが必要か。
- ・現在と過去を比べて、ものの大きさを比べるなどは、子どもの意欲につながらない。
- ・5年の最後にプロミングがある。(try)
- ・ユニットとレッスンがあって構造が見にくい。
- ・構造が複雑、慣れないと使いにくい。
- ・大単元をつくって、それぞれの単元で、学習する。
- ・「分かりやすい」という表現になっているが、「複雑」に変えてよいか。

全員(合意)

- ・使用上の便宜のところを書いてあるものをとる。
- ・使用上の便宜は、「書くこと」が少ないでよいか。

全員(合意)

- ・ヨーロッパや北アメリカ圏に限らず、シンガポールやケニアに行きたいとする例はよい。
- ・アルファベットを「読むために」アルファベットの音でカードが色分けされている。
- ・ストーリータイムは、「読むこと」に入るのか。
- ・世界のお話は、スーホの白い馬などが載っていて児童に馴染みがある。
- ・聞くことは、ほぼ、全単元、線でつなぐ。○△をつけるなど単純な活動になっている。
- ・単元の流れがパターン化されてないので、使いにくい
- ・パノラマのところは、1分半ぐらいあり、絵が動かず、聞くだけで長い。
- ・チャンツは動かない。速度は調整できそうだが、字幕はでない。
- ・デジタル教材といえば、チャンツの活用が多い。

- ・ロードマップというのがあるが、絵のあるところはよいが活動が書いているだけで目標などがない。
- ・巻末に振り返り「～ができた」の多い記載がある。
- ・ストーリータイムが読むマークだが、分かりにくい。
- ・書くのが最後で、自分の書いたものを読むという活動になっている。
- ・間違い探しレベルで、聞く活動がわかりにくい。

14:25～

<教育出版>

- ・We can に似ていて使いやすいと思ったが、研究校にとっては、物足りない。
- ・この通り進めていけば、ゴールが先生たちにとらえやすいと思った。
- ・最初、聞いて、簡単なアクティビティをして、最後に言語活動の流れになっているのは、現在の外国語科の流れに合っていない。
- ・セリフに番号を付けたのがよくない。そこが一番気になる。
- ・「話すこと」のところに書いてある。
- ・セリフを覚える感じである。
- ・構成が、聞く、聞くが多くある。
- ・聞いて終わるような一単位時間がある。
- ・話すことのはじめの一行、これは上の内容のところにあるので、除いてもよいか。

全員(合意)

- ・読むについては、「書くこと」と「読むこと」で、セットになっている。
- ・なぞり書きをしてから、それを読むでは、思考が働かない。
- ・単なるプラクティスですよ。
- ・6年で、「がまくん」のお話がでてくるだけのよう。
- ・他にも、橋の上のおおかみ 1個ありますね。
- ・CD-ROMに大量のワークシートがあり、それを印刷して活用する必要がある。手間がかかる。
- ・知らない先生はつかわないままになる。
- ・書くところは、教科書内にあって、前の単元の書いたところに戻れる方がよい。
- ・「聞く活動が多い」は残してよいか。

全員(合意)

- ・ゴールは示されているが、流れが示されていない。
- ・特徴が薄くなり、雑な作りになっている。
- ・単元のゴールは示されている。
- ・ゴール像に近づくために、Think を組み込んできたのだと思うが、これは、消して、「単元のゴールが示されている。」にする。

全員(合意)

- ・単元名が英語表記のみになっているので、タイトル名だけが示されている感じで子どもにわかりにくい。
- ・別冊になっていないことについて、理由がいるが使い勝手の面だけではないか。
- ・では、このことは消すでよいか。

全員(合意)

- ・ピクチャーdictionary が東書だけと思ったが、どこもついている。

- ・赤は、主語、青は動詞、黄色は目的とカードの枠が色分けになっている。
- ・語順が意識しやすい。
- ・それを並び替えることもできる。
- ・その気づきのために、このカードを使える。
- ・書くことのところで、4線の幅が等間隔に近くなり、中学校につながやすい。
- ・前は大文字が書きにくかった。
- ・単元の終わりに、SDGsがのっている。
- ・SDGsは、最後のその他のところに入れておくでよいか。

全員(合意)

14:50~

<光村図書>

- ・〇が多いので、まとめられるものはまとめる。
 - ・登場人物が共通しているのは全社なので消すでよいか。
- 全員(合意)
- ・見やすい。
 - ・多すぎず、少なすぎず。
 - ・ワンワールドをレベルアップさせた感じ。
 - ・入りやすい絵。
 - ・開隆堂の絵が薄かったので見やすい。
 - ・絵は大事。
 - ・Small talk は、トピックが毎回書いてあるが、困る先生にとっては、活用できてよいのではないか。
 - ・ゴールの示し方は、~するために、という書き方がしてあり、よい。
 - ・必要なものが網羅されている。
 - ・目的・場面・状況の説明が書いてある。
 - ・学期に1回程度、You can do itがある。これはパフォーマンステスト。年間3時間確保している。
 - ・ストーリータイム的なものはあるか？
 - ・二つしか載っていないと思う。
 - ・ワンワールドのバージョンアップ版のような気はする。
 - ・本当の「外国の方」が動画に登場するなど、デジタルの出来がよい。
 - ・巻末のカードは、あるとできる活動等があり、掲示用にはよい。
 - ・音声8段階はすごい。
 - ・デジタル教科書が断然よい。
 - ・単元構成は、開隆堂よりやや丁寧さにかける。
 - ・うるし塗的な言語活動と言いつけるまでではない。
 - ・レッツトライが単元の真ん中あたりから入っている。
 - ・自分が読んだり、聞いたりする時の活動が少ないように感じる。
 - ・線つながが多い。
 - ・外国語活動の延長のようなどころもある。
 - ・既習表現が、各単元でつかえるようになっている。
 - ・自分が考えたこと思ったことについて、状況が分かって話すようになっている。

- ・初めから思ったことを言わせることが大切だということが、先生方が分かっていたらと思う。
- ・単元構成がやや気になる。
- ・6年のL3では、「たずね合おう」が続いている。
- ・聞かせ方の工夫はより目的・場面・状況が分かりやすい方がよい。
- ・「～するために」という表記は、活動の目的が分かってよい。
- ・動物の気持ちを伝えるという内容は必要かどうか。
- ・デジタル教科書はチャンツ、文字をハイライトでずっと自分の好みにカスタマイズできる。
- ・文字の大きさなどは、個に応じたものになっている。
- ・デジタル教科書の出来がとてもよい。
- ・これまでの教科書と似ているので、先生たちは、授業が流しやすい。
- ・書くことをどこまで求めているかから考えると、そこまで求められてはいない。
- ・小中の連携がやりやすい、学習の進め方がそろそろ。6年と中1がつながっている。3, 4年の外国語活動ともつながっている。
- ・CAN-Doがつながっている。
- ・5, 6年と中学校で「登場人物のつながり」がある。(ストーリー)
- ・評価規準等からみても、中学校と同じだと連携が図りやすい。

15:20～

<啓林館>

- ・～のところの分量がとても多いですね。
- ・6年生の書くところの割合が多い。
- ・アクティビティが、少ない。
- ・各ユニットの一番上に単元ゴールは一応書いてはあるが小さい。
- ・アクティビティが少ないので、時間を持て余す。
- ・活動の掲載は多くはない。
- ・学習活動の掲載がやや少ない。
- ・Watch and do, Listen and do で違いはわからないがそういう活動が設定されている。
- ・do は、どのように考えるかという、思考を働かせるところなのでしょう。
- ・「文字が小さい」ことについては、文字の大きさのところに、移動させて記載してよいか。

全員(合意)

光村をもう少し、整理しましょう。

15:35～

- ・印刷製本のところは、光村は、一つ目と二つ目がまとめられる。
- ・「巻頭にCAN-DOリストが示されている」とつけてもらってよいか。他者は、巻末だった。

全員(合意)

- ・毎回作ったものをもって発表している。
- ・語順の違いについて示されている。
- ・「言葉について考えよう」のところでは、英語と日本語の違いが掲載されている。
- ・5年生の真ん中あたりのところで、初めて小文字をかくところが出てくるので無理はない。
- ・大文字や小文字のところで青い帯が入っている。
- ・他者で見にくいUDフォントではない教科書があった。

- ・子どもにとっても、文字が見やすい。
- ・話す活動と聞く活動が結びついている。
- ・デジタルがよいので個別最適な学びがしやすいと思う。
- ・SDGSについては、マークがついているところが同じ。
- ・グッドパフォーマンスの発表場面のところの内容を短く記載してよいか。

全員(合意)

- ・音声のスピード(8段階)という記載にしては。

全員(合意)

16:07～1回目の印刷

16:22～

- ・誤字脱字等、構成作業。
- ・6名が一人ずつで、確認。

16:33～

- ・全員での最終読み合わせ
- ・山口先生による修正(全員大画面を見ながら)

17:15～2回目の印刷

- ・全員による最終確認
- ・押印

17:40 解散

令和六年度使用小学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究部会（道徳）

議 事 録

【令和5年6月 2日(金) 教育センター210室】

- 14:00～ 全体会(部長あいさつ、自己紹介、時程確認等)
- 14:20～ 選定基準の読み合わせ
- 14:30～ 各自調査研究
- 16:45～ 諸連絡、片付け

【令和5年6月19日(月) 教育センター210室】

- 9:00～ 専門調査研究部会部長あいさつ・指導主事による日程説明
- 9:10～ 各自の調査研究の入力
- 10:10～ 協議開始(司会:島)

《東京書籍》

- ・ まずは東京書籍について発言をお願いします。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全 員 (合意)

- ・ 次に内容に関する配慮事項ですがいかがですか。「つながる・広がる」のコラム(1学年10～12か所)が設けてあり、情報リテラシーや SDGs など現代的な課題について取り上げてあるとありますが、間違いありませんか。
- ・ はい、間違いありません。
- ・ 「問題を見つけて考えよう」や「演じて考えよう」があり、問題解決的な学習や体験的な学習ができるようになっているとありますが、実際にそのような構成になっていますか。
- ・ なっていますね。
- ・ また、教材の後ろにある「つながる・広がる」では、本の紹介がされているものもあり、家庭や地域で活用することが可能になっているようですが間違いありませんか。
- ・ 各学年、1～4教材程度は掲載されています。
- ・ 紹介の仕方は、学年によって異なっています。例えば4年生の68ページにあるように、1ページ使って紹介している学年もありますし、6年生の39ページのように左隅で小さく紹介している学年もあります。
- ・ とはいえ、どの学年でも本の紹介はされていますので、どの学年であっても、家庭や地域での学習につなげることは可能です。
- ・ では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全 員 (合意)

- ・ ただ、一教材が長いものが多いので、教材理解に時間がかかるとは思います。
- ・ 確かに高学年の教材は、教材文が長い印象をもちました。

全 員:(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはいかがですか。
- ・ 全ての教材にQRコードがあり、教材文の朗読や紙芝居、デジタルノートなどが充実しています。また、字幕があるので、視覚的にも分かりやすいものになっています。

全 員:(合意)

- ・ 他の教科書にもQRコードは掲載されていますが、全ての教材に対してQRコードが載っているのは東京書籍と日本文教出版だけですね。
- ・ コンテンツもとても充実しています。
- ・ 他にも心情円盤が付録でついているので、作成する必要がなく、授業ですぐに活用できます。
- ・ 全学年に付いていますか。
- ・ 4～6年生だけですね。ただ、考えるためのツールとして「心のものさし」「心のメーター」「心の地図」は紹介されています。
- ・ 他にもありますか。
- ・ 表紙に短い言葉が載っているのですが、これはどういう意図があるのでしょうか。
- ・ 表紙裏にその短い言葉の詩が載っているので、こちらと関連させているのだと思います。
- ・ この詩は、道徳開きのオリエンテーションに活用できそうですね。
- ・ 気になる点などはありませんか。
- ・ 若干目次が見にくいかと。SDGs やいじめ等に関する教材を探しにくいのでは。
- ・ 確かに SDGs は探しにくいですね。他の教科書は高学年では目次に SDGs の標記がありますが、東京書籍には記載がないですね。
- ・ 6年生の190～191ページの「教材一覧」の中には SDGs が標記されています。
- ・ ここだけだと分かりづらいですね。
- ・ では、この点は●でよいですか。

全 員:(合意)

- ・ あと、高学年では、文字が小さく、行間が少しせまく読みにくい感じもします。

全 員:(合意)

- ・ 他にありますか。
- ・ 教材の初めにリード文がないので、教材に興味・関心をもたせにくい点もありますね。
- ・ 現行の日本文教出版にはありますね。この点も●になりますか。

全 員:(合意)

- ・ 印刷・製本についてはいかがですか。
- ・ 印刷は鮮明で、字体等も適切だと思います。
- ・ ただ、奇数ページからスタートしている教材があり、見開きになっていないので児童は使いにくいと思います。

全 員:(合意)

- ・ その他で何かありますか。
- ・ 福岡県出身「中村哲」さんを取り上げた教材があります。郷土の偉人を取り上げることでシビックプライドの醸成につなげることができると考えます。
- ・ 何年生にありますか。
- ・ 6年生の教材ですね。「砂漠を緑の緑地に」という教材です。
- ・ 中村哲さんを扱っているのは、東京書籍だけですか。
- ・ 他の教科書会社でも扱っているところはありますが、全てではありません。
- ・ わかりました。東京書籍については以上でよろしいですか。

全 員:(合意)

《教育出版》

- ・ 次は教育出版です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。5年生の「B 人との関わりに関すること」の教材が少ないとのことですが、いかがでしょうか。特に問題はありますか。
- ・ Bの項目は5項目あるのですが、6教材しかないの、少し少ない気がします。
- ・ 確かに、少ないと思います。
- ・ では、この点は●でよいですか。

全 員：(合意)

- ・ その他は特にありませんか。

全 員：(合意)

- ・ 内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
- ・ 巻末の「資料」は、学年の発達段階に応じた内容になっており、教材からつないだり、他教科との関連を図ったりするなど、発展的な学習ができると考えられます。
- ・ 全学年にありますか。
- ・ そうですね、全学年にあります。例えば、6年生では「世界人権宣言」3年生では「コミュニケーション能力」など、発達段階に応じた内容になっていると思います。
- ・ 巻末の「学習内容一覧」では、SDGsとの関連等が示されているので、SDGsを意識した指導ができると思います。
- ・ それも、全学年にありますか。
- ・ 全学年にあります。1年生から SDGs を意識して学習ができるのは良いと思います。

全 員：(合意)

- ・ あと、教材末には「考えよう」「深めよう」「つなげよう」があり、「つなげよう」は、生活を振り返ったり、学習後の活動につなげたりすることができる発問になっていますね。

全 員：(合意)

- ・ では、分量についてはいかがですか。特に問題はありますか。

全 員：(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはいかがですか。
- ・ 教材名の横や下に主題名やリード文があるので、教材に興味・関心をもたせやすいと思います。

全 員：(合意)

- ・ 体験的な活動、例えば役割演技や問題解決的な学習の学び方が各学年に入っているので多様な学び方ができると思います。
- ・ 学年の発達段階に応じた内容になっているのでしょうか。
- ・ 例えば1年生39ページでは「やってみよう」としてイラストと吹き出しで分かりやすく役割演技が例示されています。反対に高学年では、6年生32ページでは「問題を解決しよう」でいじめ問題についての問題解決的な学習が示されています。
- ・ 1年生でも、問題解決的な学習は提示されていて、低学年でも問題解決的な学習が進められるようになっていきますね。これはとてもよいと思います。

全 員：(合意)

- ・ また、現代的な課題についても、「いじめ」「情報」「いのち」に関する教材が各学年に位置づ

けられ、教材のページ上部で色付けされていて、分かりやすくユニットが組まれていますね。
このように色付けされているのは教育出版だけです。

全 員:(合意)

- ・ 他にありますか。
- ・ 例えば6年生7ページで、「タブレットを学習に生かそう」のページがあり、GIGA 端末の活用の仕方が明記されているが、道徳科としては内容が薄いように感じます。
- ・ また、教材のはじめにあるQRコードは、あらすじや補足説明が書かれてあるだけなので、それだけでは活用しづらいですね。
- ・ では、これらの点は●でよいですか。

全 員:(合意)

- ・ 自然愛護に関するページなどイラストが小さく、活用しづらいページがある、ともありますがいかがでしょうか。
- ・ 写真やイラストがないわけではないのですが、他の教科書会社に比べると、視覚的なインパクトが弱い気がします。例えば花さき山でも、イラストが小さいので、花さき山に花が咲き誇っている場面のインパクトは、同じ教材を扱っている光文書院と比べると、子どもが感じる印象としては弱いと思います。
- ・ あと、小さいことですが、目次の数字が小さくて、教材名から離れているためわかりづらいと思います。

全 員:(合意)

- ・ では、これらの点も●でよいですか。

全 員:(合意)

- ・ 印刷・製本についてはいかがですか。
- ・ こちらも奇数ページから始まっている教材があり、右側の教材文が目に入り、使いにくいと思われる。

全 員:(合意)

- ・ また、どうしてかは分かりませんが、全ての教材名がフォントの形や色がバラバラになっています。
- ・ 全てですか。
- ・ 全てですね。学年をまたいだり、教材別に見ていったりしていけば同じものもあるかもしれませんが。
- ・ 趣意書によると「児童の興味関心を高めるタイトルデザイン」となっていますね。
- ・ 興味関心につながる前に、内容項目の4つの視点の色と混乱してしまいそうな気がしますね。

全 員:(合意)

- ・ あと、上下の空白部分や挿絵が切れている部分があり、イラスト掲載に一貫性がないと思います。
- ・ 具体的にはどの部分ですか。
- ・ 例えば、1年生かぼちゃのつるは上下左右のどこかの部分が切れていたり、イラスト上に文章がかかったりしています。教科書全体を通して、何かこう、イラストに一貫性が感じられません。

全 員:(合意)

- ・ 例えば4年生で、教材ごとに文字の大きさが異なっている点も、私は違和感を感じてしまい

ます。

全 員:(合意)

- ・ その他何かありますか。
- ・ 教材毎に「学びチェック」があり、毎時間の道徳科の振り返りができるのはよいと思います。しかし、巻末の「学習を振り返ろう」のページでは、児童が記述式の振り返りを書く回数が少ないので、自己の成長を実感しづらい、とも感じます。
- ・ いくつくらいありますか。
- ・ 4年生だと1ページに2つで3ページ、合計6か所ですね。その後ろに1年間の振り返りのページがあります。
- ・ 全学年同じ回数ですね。つまり、学期に1回の振り返りと、1年間の振り返り、という形ですね。
- ・ 毎時間の振り返りを大切にしている本市としては物足りないですね。

全 員:(合意)

- ・ その他何かありますか。
- ・ 教育出版にも福岡県出身「中村哲」さんを取り上げた教材があります。
- ・ 何年生にありますか。
- ・ 5年生の教材です。「百の診療所よりも1本の用水路を」という教材で、内容項目は国際理解,国際親善です。
- ・ 教育出版はこれでよいですか。

全 員:(合意)

《光村図書》

- ・ 次は光村図書です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありますか。
- ・ 5年生では、「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の教材が少ないと思います。7項目で9教材ですから。

全 員:(合意)

- ・ 内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
- ・ 学年最初の教材は、QRコードで動画が閲覧でき、道徳で学ぶ内容項目について詳しく説明してありますし、学年に応じた紹介の仕方がしてあります。また、3年生以上の学年では、2つ目の教材で「道徳の学び方」が示されていて、児童や若年教員も使いやすいと思います。
- ・ そうですね。これがあれば、どの教室でも道徳科の特質を踏まえた学習ができるのではないのでしょうか。
- ・ そうだと思います。ただ、主題名がわかりにくく道徳的価値への方向付けに生かしくいという点もあります。本書が示している「とびら」と主題名との違いがわかりにくいと思います。巻末の一覧表には主題名が書かれているのですが、実際の教材には主題名がないです。巻末には、主題名や教材、現代的な課題との関わりや他教科・領域との関わりが一覧表として示してあるので他教科等との関連を図りやすいのですが…。

全 員:(合意)

- ・ 他にありますか。

- ・挿絵の中に、外国籍の児童も掲載があるので、ダイバーシティの視点も取り入れられていてよいと思います。
- ・全ての学年でそうなっていますか。
- ・全学年で、どこかのイラスト、キャラクターで多様な人物が設定されています。
- ・では、分量についてはいかがですか。特に問題はありますか。

全 員:(合意)

- ・使用上の便宜についてはいかがですか。
- ・教材名の下に導入の発問のようなリード文があるので、教材に興味・関心をもたせやすいと思います。

- ・全学年ですか。
- ・全学年ですね。
- ・どの教材も発問が4つ程度掲載されているため、若年の先生にとっては1単位時間の授業構成がしづらい、とありますが、この点についてはいかがでしょうか。
- ・発問が設定されているのは、若年にとってもベテランにとっても使いやすいもので間違いはないと思うのですが、教科書や指導書に頼った授業になる可能性も考えられます。
- ・あとこれだけ発問が多いと、若年の先生ほど、教科書でこのように発問が設定されていれば、「この発問もしなくちゃ」と、全ての発問を行うことに縛られてしまいそうですね。

全 員:(合意)

- ・他にはありますか。
- ・光村図書のQRコードは、教材を音声で聞いたり、資料の補足説明が見られたりするのよいと思うのですが、全ての教材にあるわけではないのもったいないですね。

全 員:(合意)

- ・印刷・製本についてはいかがですか。
- ・こちらも奇数ページから始まっている教材があり、右側の教材文が目に入り、使いにくいと思われま。ただ、写真等の資料が大きく、鮮明なので視覚的に配慮されているとも感じます。

全 員:(合意)

- ・その他で何かありますか。
- ・巻末には「学びの記録」があり、児童がシールや一言感想で学習を振り返ることができたり、教師が児童の成長の姿を評価できたりします。シールなどは、低学年でも活用しやすいと思います。
- ・そうですね。ただ、振り返りを書く場所が小さくて、書きにくいのでは、とも思います。

全 員:(合意)

- ・光村図書についてはこれでよいですか。

全 員:(合意)

《日本文教出版》

- ・次に日本文教出版です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありますか。

全 員:(合意)

- ・内容に関する配慮事項ですがいかがですか。「ぐっと深める」では、問題解決的な学習や体

験的な学習ができるようになっており、多様な学び方ができる、とありますがいかがでしょうか。

- ・ 全ての学年で設定されているので良いと思います。
- ・ 教材末の「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」で示した発問を、更にぐっと深めて考えられるように、知らない人とのやり取りを演じさせ、実際にやってみて気付くことに目を向けられるようにしていたり、「自分の安全のために心がけてきたことは何か」という発問に対してグループで話し合い活動を行いながら深めていく学習方法を提示したりしているので、とても活用しやすいと思います。

全 員:(合意)

- ・ では、分量についてはいかがですか。特に問題はありますか。
- ・ 教材数・一教材の分量ともに適切だと思います。また、付録として3つの教材が追加されているので児童の実態に応じた活用ができると思います。

全 員:(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはいかがですか。
- ・ 教材名の横や下に主題名とリード文があるので、教材に興味・関心をもたせやすいですね。
- ・ また、道徳ノートがあることで、書く活動に取り組みやすいです。また、本採択分では、ノートに発問が記載されていないので、多様な場面で活用しやすいと思います。ただ、若年の先生方には、発問の記載があったほうが授業で活用しやすいのでは、とも思いますが。
- ・ 実際、現場の先生方はどうでしょうか。
- ・ 児童の実態に合わせて発問を変えたい時、発問が記載されていると、ノート自体が使用しにくくなるがありました。その場合は、付属の ROM でノートを作り直して貼る、という手間がかかっていました。ですので、発問の記載がないのは、とても助かります。
- ・ 若年の先生にとっては発問があった方がよいという面もあるとは思いますが、教科書には発問が掲載されていますし、「ノートに発問がないから困ります」とはならないと思います。

全 員:(合意)

- ・ 今回の採択分では、道徳ノートは日本文教出版のみが付録としてついていきますよね。
- ・ その通りです。他の出版社では扱わなくなりました。
- ・ ただ、1年生の道徳ノートが、相変わらず「マス目」なのが気になります。字数の制限があると、書ける子にとっては、使いにくいものになってしまいます。

全 員:(合意)

- ・ 全ての教材にQRコードの掲載がある、とありますが間違いはないですか。
- ・ 間違いありません。QRコードを読み込むと朗読やワークシート、関連動画があり、デジタルコンテンツはとても充実しています。
- ・ 「工具箱」というアイコンでは、心情メーターやシンキングツール、ワークシートなどに飛ぶことができるようになっていて、とても充実していますね。

全 員:(合意)

- ・ 印刷・製本についてはいかがですか。
- ・ 見開き2・4ページで構成されていて読みやすいです。偶数ページで始まっているのが良いですね。
- ・ その他で何かありますか。
- ・ 教材末に「考えてみよう」「見つめよう・生かそう」の掲載があることで、自己を見つめ、自己

の生き方について考えやすい発問を設定しているので、授業展開しやすい構成になっていると思います。

- ・ また、北九州市出身「藤田哲也」さんを取り上げた教材があります。郷土の偉人を取り上げることでシビックプライドの醸成につなげることができる。こちらは「北九州道徳郷土資料」に掲載されている作品が引用されているものです。児童にとっては普段目にしていない「北九州道徳郷土資料」の中の教材が教科書に載っているというだけでも、「北九州すごい！」となるかもしれませんね。
- ・ 日本文教出版についてはこれでよいですか。

全 員：(合意)

《光文書院》

・ 次に光文書院です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありませんか。

全 員：(合意)

- ・ 内容に関する配慮事項ですがいかがですか。
- ・ 「へこんでもたちなおる」のページでは、レジリエンスコラムを設けています。レジリエンスを取り上げて扱っているのは、光文書院だけです。児童自身が自分の「心の力」について考えられるように工夫されているので、今の本市の子どもたちにとっては効果的な学びにつながると思います。

全 員：(合意)

- ・ 全学年にありますか。
- ・ 各学年に1つずつですね。学年に応じた内容になっているので、無理なくレジリエンスについて学べると思います。
- ・ ただ、レジリエンスコラムがあるためなのか、問題解決的な学習のページがありません。体験的な学習ができるページは1教材あるのですが。
- ・ 体験的な学習ができるページは、全学年ですか。
- ・ はい。「みんなでやってみよう！」という名前で設定してあります。
- ・ 他にありますか。
- ・ 3年「安藤百福」4年「バスの停留所」などは漫画で構成しているので親しみやすいと思います。ただ、教師としては範読しづらく、必ずしも読みやすさが、児童の教材理解につながっているとは言えないとも感じます。
- ・ では、これは○●にしますか。

全 員：(合意)

- ・ では、分量についてはいかがですか。特に問題はありませんか。
- ・ 全体の分量が適切であり、付録教材が5つついており、児童の実態に応じて選択することが可能であると考えます。

全 員：(合意)

・ 使用上の便宜についてはいかがですか。

・ こちらも教材名の横や下に主題名とリード文があるので、教材に興味・関心をもたせやすいと思います。

- ・ こちらも教材末に、発問が4つ設定されているので、全ての発問を行うことに縛られてしま

いそうですね。

全 員:(合意)

- ・ ただ、全学年の巻頭で、フローチャートやウェビングなど絵や図を使って考える方法やノートの使い方を紹介しているので学習に活用しやすいと思います。
- ・ 確かに、この「いろいろなやりかたで考えてみよう」は、自分の考えを整理したり、友達の考えと比べながら考えたりする方法が分かりやすく示されていていいと思います。

全 員:(合意)

- ・ 印刷・製本についてはいかがですか。
- ・ 見開き2・4ページで構成されていて読みやすいと思います。
- ・ その他で何かありますか。
- ・ 先ほどもありましたが、福岡県出身の「中村哲」さんを取り上げた教材があります。また、北九州市にある教会での取組を取り上げた教材や、久留米市出身の「田中久重」さんを取り上げた教材を掲載しており、シビックプライドの醸成につなげることができると考えられます。
- ・ 北九州市にある教会とはどこの教会でどのように取り上げられていますか。
- ・ 小倉南区の教会のようです。コロナ禍での「みんなのつくえ」という活動が取り上げられています。
- ・ それは、シビックプライドにつながりそうですね。

全 員:(合意)

- ・ 光文書院についてはこれでよいですか。

全 員:(合意)

《Gakken》

・ 次に Gakken です。内容の範囲及び程度についてはいかがですか。特に問題はありますか。

全 員:(合意)

- ・ 内容に関する配慮事項ですが、いかがですか。
- ・ 「心のパスポート」や「深めよう」のページが設けてあり、体験的な学習や問題解決的な学習もできそうです。発展的な学習や他教科との関連で様々な活用ができると思います。
- ・ 挿絵の中に、外国籍の児童や職業の性差の偏りがないように配慮された教材もあるのも、多様性の視点が盛り込まれていて良いと思います。
- ・ では、分量についてはいかがですか。特に問題はありますか。
- ・ 教材数や一教材の分量ともに適切だと思います。

全 員:(合意)

- ・ 使用上の便宜についてはいかがですか。
- ・ 教材名の下に Gakken が設定した現代的課題を示すマークが示されており、身の回りの課題とつなげやすくなっていると思います。ただ、反対にマークが多すぎて分かりにくいとも捉えられます。
- ・ 全ての教材であるのですか。
- ・ 全ての学年、全ての教材に記してあります。

全 員:(合意)

- ・ また、このリード文なのか何かが書かれているのですが、よく意図が分かりません。

- ・ 趣意書では、問題意識を高め、教材へと誘う「キーフレーズ」とされていますね。ただこのキーフレーズでは、Gakkenのねらいとは裏腹に、子ども達にとっては分かりにくいものになっているのではないのでしょうか…。

全 員:(合意)

- ・ QRコードのコンテンツも、他者に比べ少ない感じがします。
- ・ 皆さんはどうですか。少ないと思われませんか。

全 員:(合意)

- ・ では、印刷・製本についてはいかがですか。
- ・ 印刷や字体等は、適切であると考えます。また、全ての教材が偶数ページから始まっており、使いやすいです。
- ・ その他で何かありますか。
- ・ 教材末に「考えよう」の掲載があることで自己を見つめ、自己の生き方について考えやすい発問を設定してあります。これは、どの先生にも授業展開しやすい構成になっていると思います。
- ・ 巻末の「つなげよう広げよう」のページで、1年間の道徳科学習の振り返りを書くことができますが、たった1回年度末だけで、記入欄も小さいので、児童の振り返りや評価にはつなげにくいと考えます。

全 員:(合意)

- ・ Gakkenについてはこれでよいですか。

全 員:(合意)

16:20~16:40 印刷・確認

16:40~17:00 鏡文に押印・片付け